

# 台東区高齢者実態調査報告書

## 概要版

令和2年2月  
台東区 福祉部



# 目 次

第1章 調査の概要	1
I 調査の目的	1
II 調査の概要	1
1 調査の設計	1
2 調査方法	1
3 調査期間	1
4 回収状況	1
III 調査結果の見方	2
IV 日常生活圏域及び地域包括支援センター区域	3
V 台東区の高齢者の状況	4
1 高齢者人口と高齢化率の推移	4
2 年齢別人口構成	4
3 特別区の高齢化率比較	5
4 高齢化率の推移（台東区・東京都・全国）	5
5 地域包括支援センター区域別高齢者人口と高齢化率	6
VI 台東区の介護保険の状況	7
1 第1号被保険者数と要介護認定者数の推移	7
2 要介護度別の認定者数の推移	7
3 介護保険の保険給付の状況	8
4 利用者数の推移	8
第2章 調査結果の概要	9
I 調査結果の概要	9
1 主な共通項目の比較	9
(1) 家族構成と住まいの状況	9
(2) 医療と介護保険制度	9
(3) 地域とのかかわり・地域住民によるサービス	10
(4) 認知症と成年後見制度	10
(5) 生きがいについて	10
(6) 区の高齢者福祉施策	10
2 その他のテーマ別にみた調査結果	11
(1) 健康状態	11
(2) 社会参加と地域活動	11
(3) 就労状況	11
(4) 生活状況	11
(5) 日頃の生活で不安に感じる点	11
(6) 介護予防	12
(7) 介護保険サービスの利用状況・利用意向	12
(8) 介護者の状況	12

<b>II 共通調査項目</b> .....	<b>13</b>
1 回答者の属性 .....	13
2 かかりつけ医等について .....	15
3 住まいについて .....	16
4 生きがいについて .....	17
5 地域とのかかわり・地域住民によるサービスについて .....	18
6 暮らし向きについて .....	20
7 認知症について .....	20
8 成年後見制度について .....	21
9 在宅療養について .....	22
10 介護保険制度について .....	23
11 区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策 .....	24
<b>III 一般高齢者調査</b> .....	<b>25</b>
<b>IV 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査</b> .....	<b>32</b>
<b>V 要支援・要介護認定者調査</b> .....	<b>45</b>
<b>VI 介護サービス事業者調査</b> .....	<b>52</b>

# 第1章 調査の概要

## I 調査の目的

本調査は、区内在住の高齢者の生活実態や保健・福祉への要望等を把握し、「第8期台東区高齢者保健福祉計画・台東区介護保険事業計画」のための基礎資料を得ることを目的として実施した。

## II 調査の概要

### 1 調査の設計

調査名	調査対象者	調査数
①一般高齢者調査	65歳以上の区民 (要支援・要介護認定者を除く)	2,000人 (住民基本台帳から無作為抽出)
②介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	65歳以上の区民 (要介護認定者及び施設入所者を除く)	2,000人 (住民基本台帳及び要支援・要介護認定者台帳から無作為抽出)
③要支援・要介護認定者調査	要支援・要介護認定を受けている区民(施設入所者を除く)	2,000人 (要支援・要介護認定者台帳から無作為抽出)
④介護サービス事業者調査	区内にあるすべての介護サービス提供事業者	260事業所

### 2 調査方法

調査票を対象者に送付し、郵送により回収

### 3 調査期間

- (1) 令和元年9月26日～10月16日(調査①、③、④)
- (2) 令和元年11月5日～11月22日(調査②)

### 4 回収状況

調査名	発送数(通)	回収数(通)	回収率(%)	集計に活用した回答数※(通)
①一般高齢者調査	2,000	1,350	67.5	1,345
②介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	2,000	1,430	71.5	1,428
③要支援・要介護認定者調査	2,000	1,188	59.4	1,169
④介護サービス事業者調査	260	216	83.1	216
計	6,260	4,184	66.8	4,158

※名宛人が長期入院や施設入所などで不在である旨の回答があった場合は、「回収数」には含むが、「集計に活用した回答数」には含まれない。

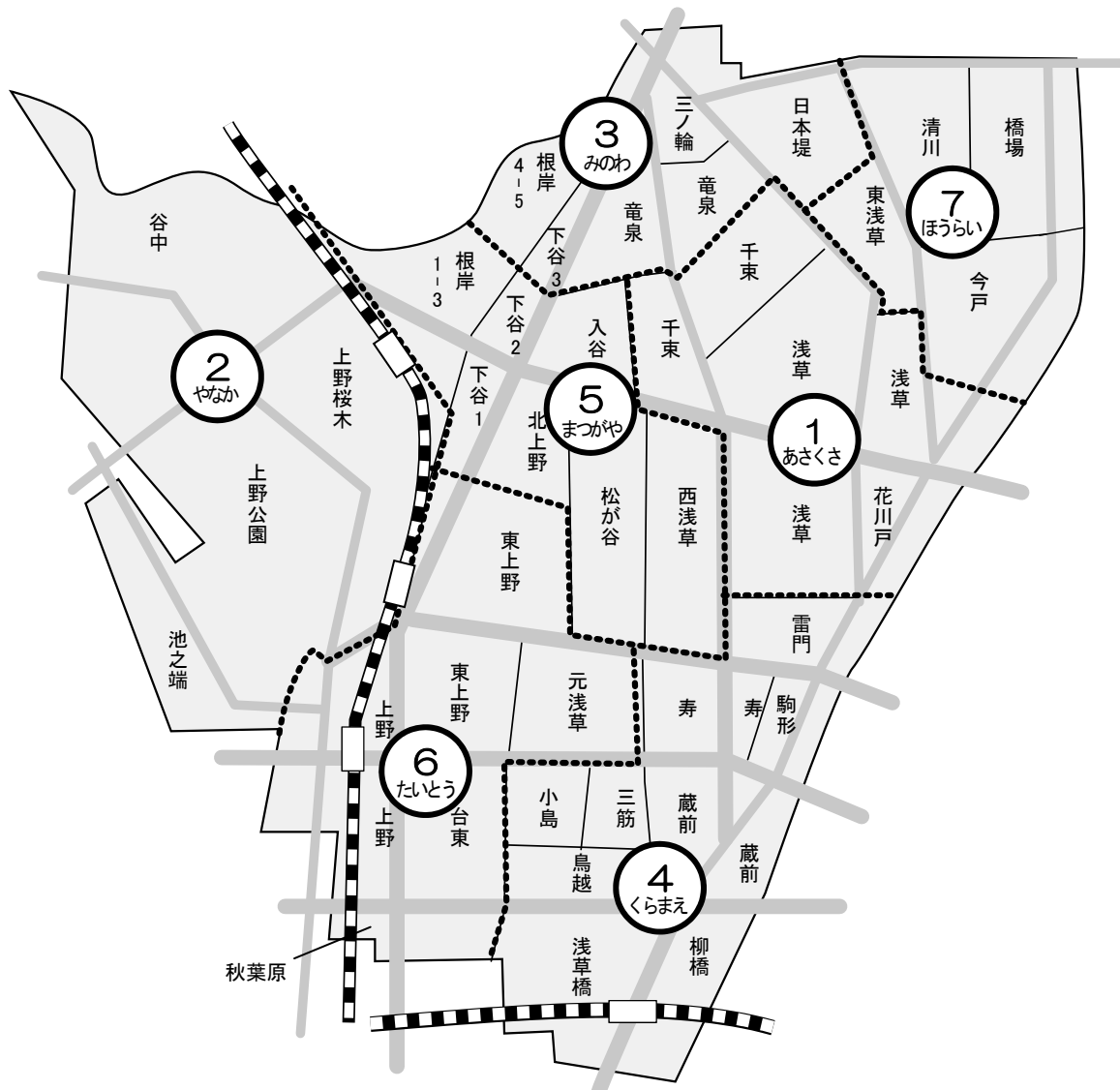
### Ⅲ 調査結果の見方

---

- ・調査名を省略して記載している場合がある。
  - 一般高齢者調査 : [一般調査]
  - 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 : [ニーズ調査]
  - 要支援・要介護認定者調査 : [認定者調査]
  - 介護サービス事業者調査 : [事業者調査]
- ・調査結果中、「地域包括支援センター」は「包括」と表記している。
- ・図表中の「n」は各設問に該当する回答者の総数であり、回答率（%）の母数をあらわしている。
- ・回答率は小数点第2位を四捨五入して掲載しているため、合計が100%にならないことがある。また、回答者が2つ以上回答することができる質問（複数回答）の場合、その回答率の合計は100%を超えることがある。
- ・クロス集計については、分析の柱となる項目（属性）の「無回答」は掲載を省略している。ただし、「全体」は集計対象の全数を表示しているため、分析の柱となる選択肢の回答者数を合計しても必ずしも全体の数値とは一致しない。

## IV 日常生活圏域及び地域包括支援センター区域

台東区では区全域を1つの日常生活圏域としており、7か所の地域包括支援センターの担当区域を小圏域として位置づけている。



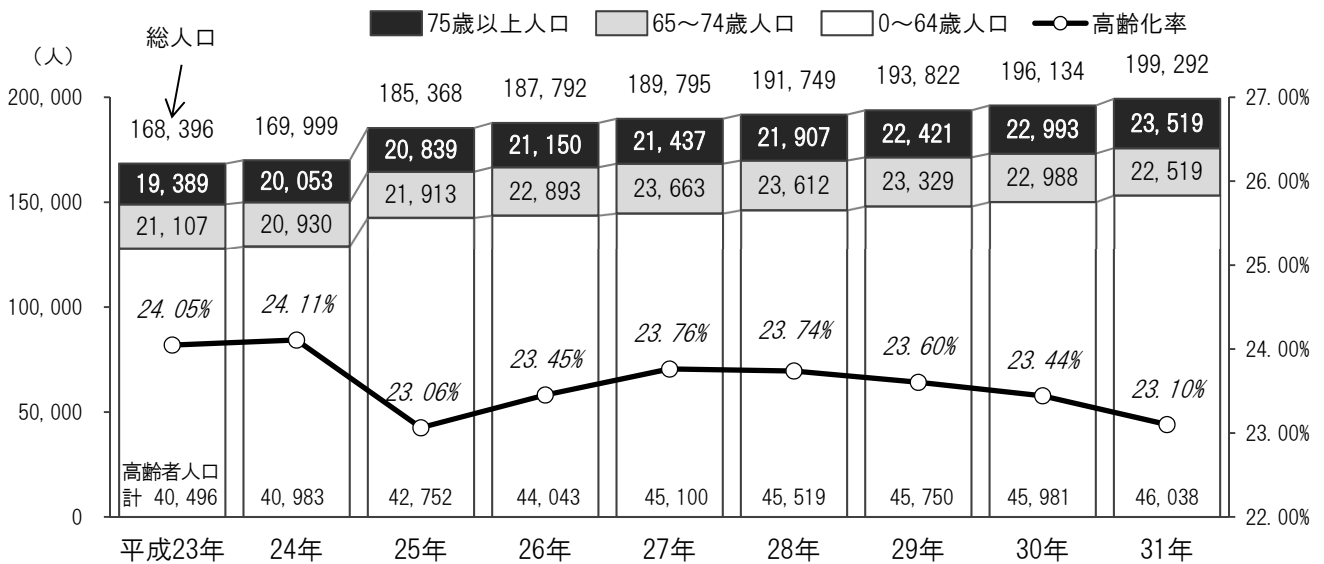
	地域包括支援センター名称	担当区域
1	あさくさ	浅草、千束、花川戸
2	やなか	谷中、上野桜木、上野公園、池之端
3	みのわ	下谷3丁目、根岸4・5丁目、三ノ輪、竜泉、日本堤
4	くらまえ	雷門、駒形、寿、蔵前、三筋、小島、鳥越、浅草橋、柳橋
5	まつがや	根岸1～3丁目、下谷1・2丁目、入谷、北上野、松が谷、西浅草
6	たいとう	東上野、上野、元浅草、台東、秋葉原
7	ほうらい	今戸、東浅草、清川、橋場

## V 台東区の高齢者の状況

### 1 高齢者人口と高齢化率の推移

台東区の総人口は平成31年1月1日時点で199,292人となり増加傾向にあるなか、高齢者人口は、前期高齢者（65～74歳人口）が22,519人、後期高齢者（75歳以上人口）が23,519人となっている。一方、高齢化率は23.10%となり、平成28年から減少傾向となっている。

図表1-1 台東区の高齢者人口と高齢化率の推移

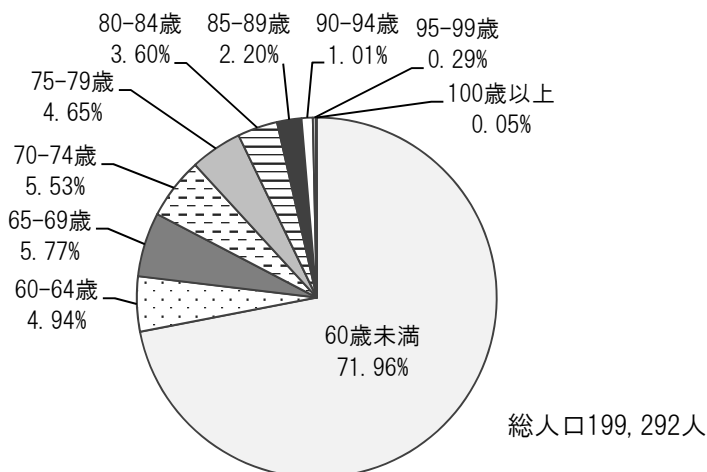


資料：台東区住民基本台帳人口 各年1月1日現在（平成25年以降は外国人を含む）

### 2 年齢別人口構成

年齢別人口構成は「65歳未満」が全体の76.90%、「65歳以上」の高齢者人口が全体の23.10%となっている。高齢者人口の構成では団塊の世代を含む「65～69歳」、「70～74歳」がそれぞれ5.77%、5.53%で高くなっている。

図表1-2 台東区の年齢別人口構成（平成31年1月1日現在）



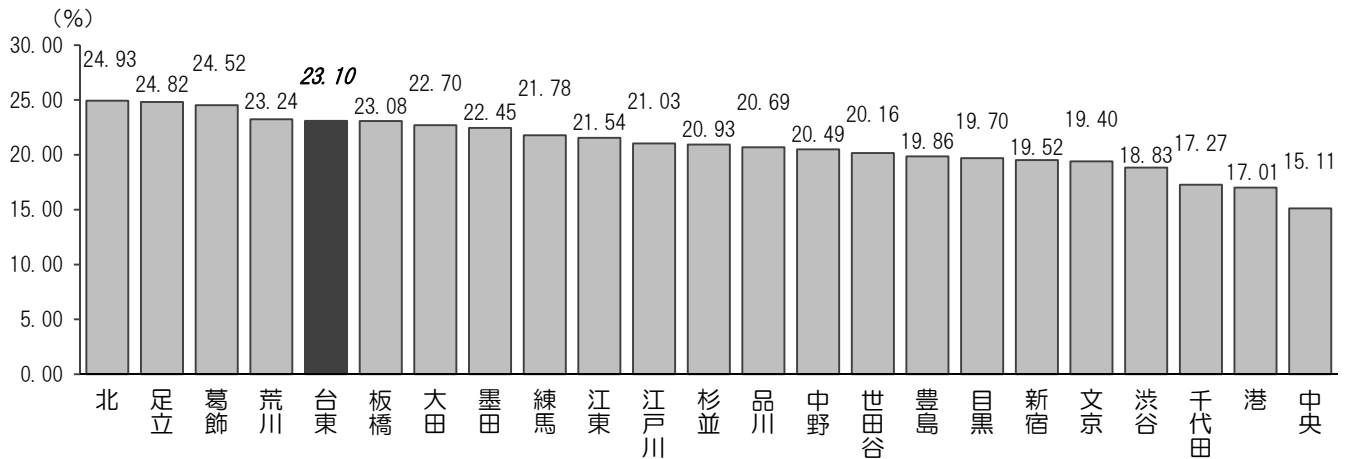
資料：台東区住民基本台帳人口 平成31年1月1日現在



### 3 特別区の高齢化率比較

特別区の高齢化率比較は、北区 24.93%、足立区 24.82%、葛飾区 24.52%、荒川区 23.24% に次いで、台東区 23.10%は 23 区中 5 番目に高い割合となっている。

図表 1-3 特別区の高齢化率（平成 31 年 1 月 1 日現在）

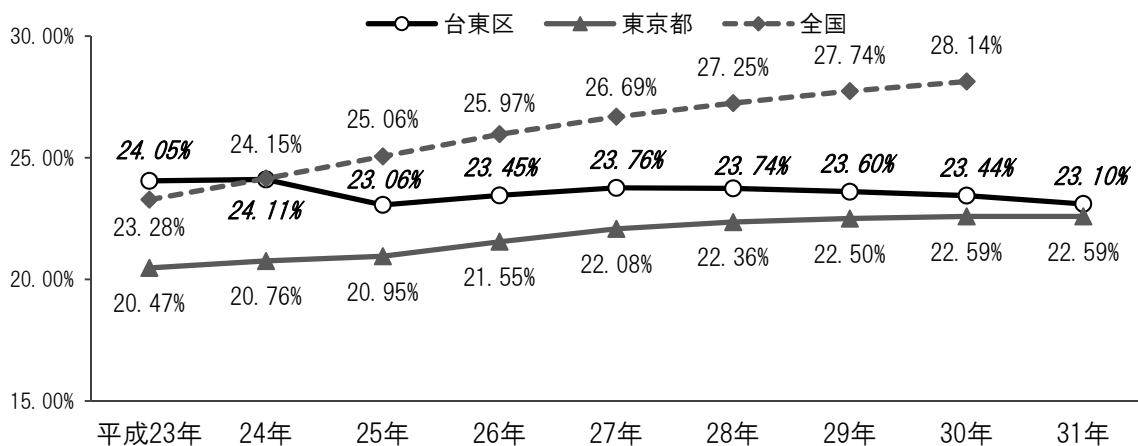


資料：東京都ホームページ「東京都の統計」住民基本台帳による東京都の世帯と人口 平成 31 年 1 月 1 日現在

### 4 高齢化率の推移（台東区・東京都・全国）

高齢化率は、全国、東京都が上昇傾向にあるのに比べ、台東区は平成 28 年から減少傾向となっている。平成 24 年からは全国を下回って推移しているが、23%程度と東京都より高く推移している。

図表 1-4 高齢化率の推移

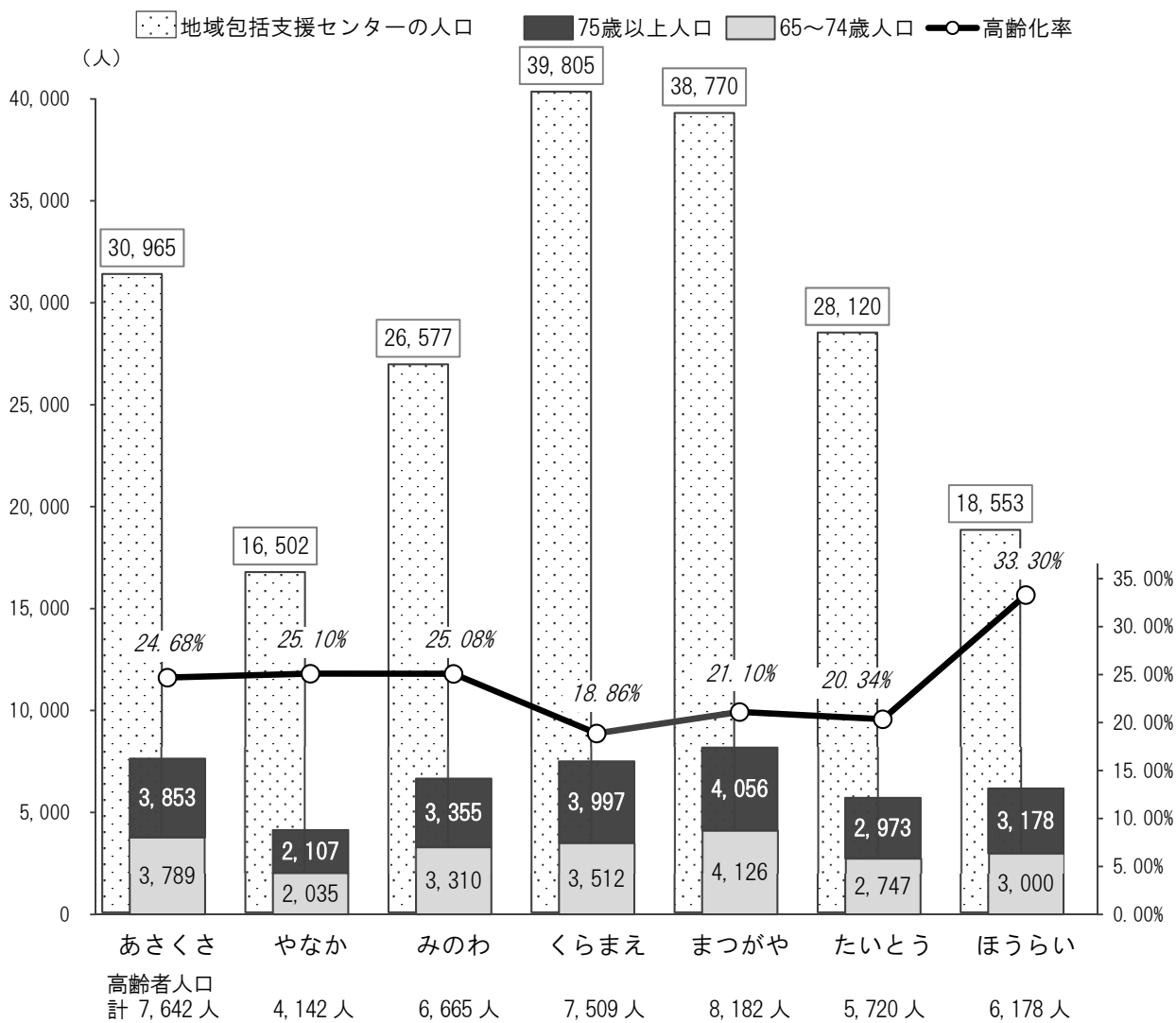


資料：東京都ホームページ「東京都の統計」住民基本台帳による東京都の世帯と人口 各年 1 月 1 日現在（平成 25 年以降は外国人を含む）  
 全国値は総務省統計局の人口推計 各年 10 月 1 日現在（平成 24 年以降は外国人を含む）

### 5 地域包括支援センター区域別高齢者人口と高齢化率

地域包括支援センターの区域別高齢者人口は、「まつがや」の8,182人が最も多く、次いで「あさくさ」の7,642人、「くらまえ」の7,509人となっている。高齢化率は「ほうらい」の33.30%が最も高く、区全体の23.10%を10.20ポイント上回っている。

図表 1-5 地域包括支援センター区域別高齢者人口と高齢化率（平成31年1月1日現在）



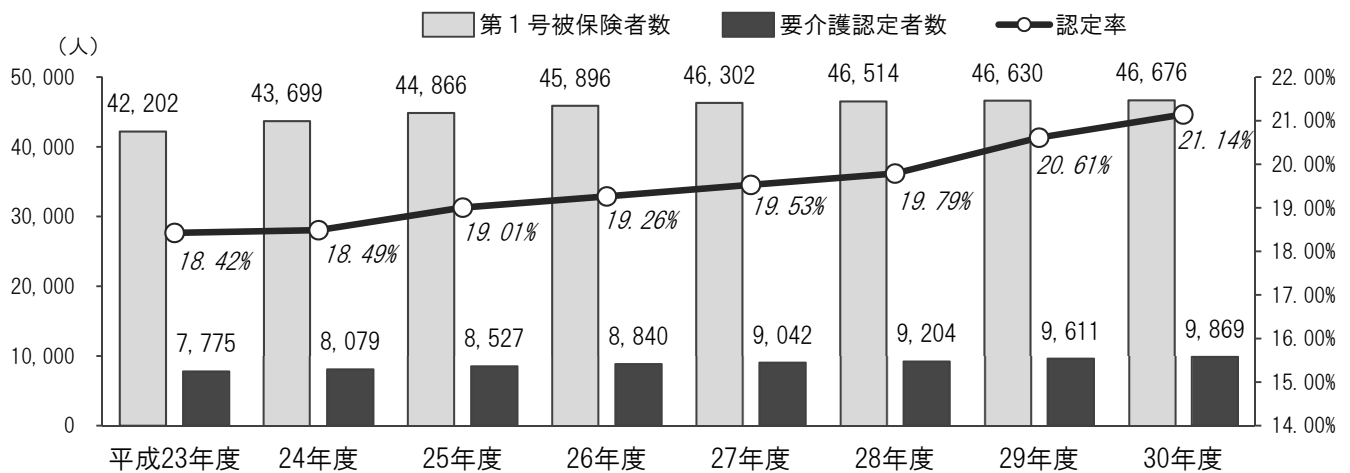
資料：台東区住民基本台帳人口 平成31年1月1日現在

## VI 台東区の介護保険の状況

### 1 第1号被保険者数と要介護認定者数の推移

第1号被保険者数は、平成30年度末現在46,676人で平成23年度の42,202人から増加傾向で推移しているが、要介護認定者数は7,775人から9,869人と、それを上回る増加率となっている。認定率は21.14%で、平成23年度から2.72ポイント上昇している。

図表1-6 第1号被保険者数と要介護認定者数の推移（各年度末現在）

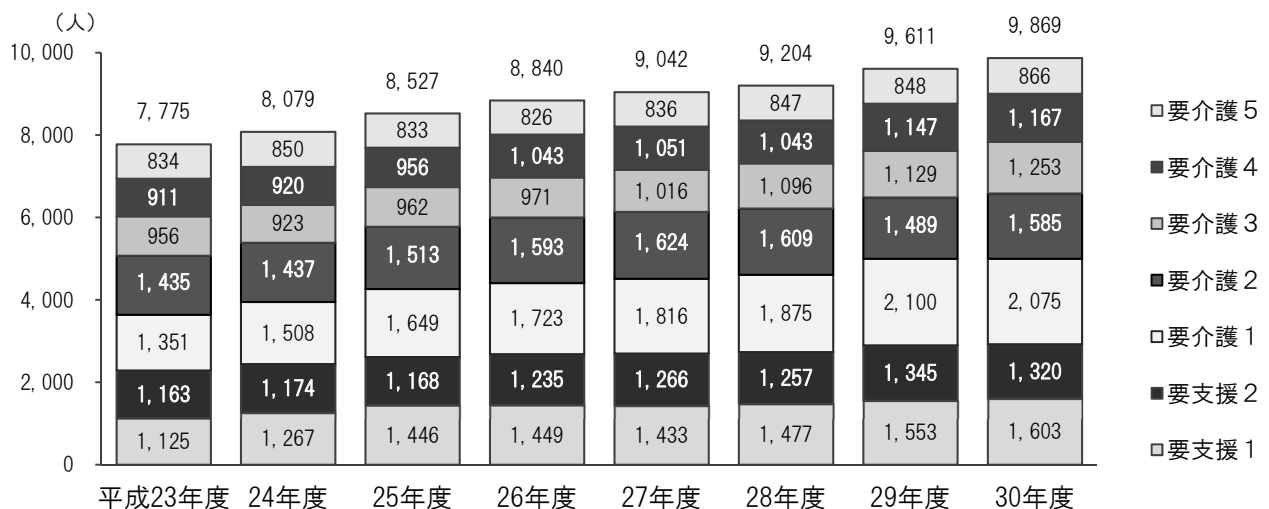


資料：台東区介護保険課

### 2 要介護度別の認定者数の推移

認定者数を要介護度別にみると、第1号被保険者数の増加に伴い、平成23年度と30年度の比較では、どの区分の認定者数も増加傾向にあるが、特に要介護1、要支援1の認定者数が増加している。

図表1-7 要介護度別の認定者数の推移（第1号被保険者）（各年度末現在）

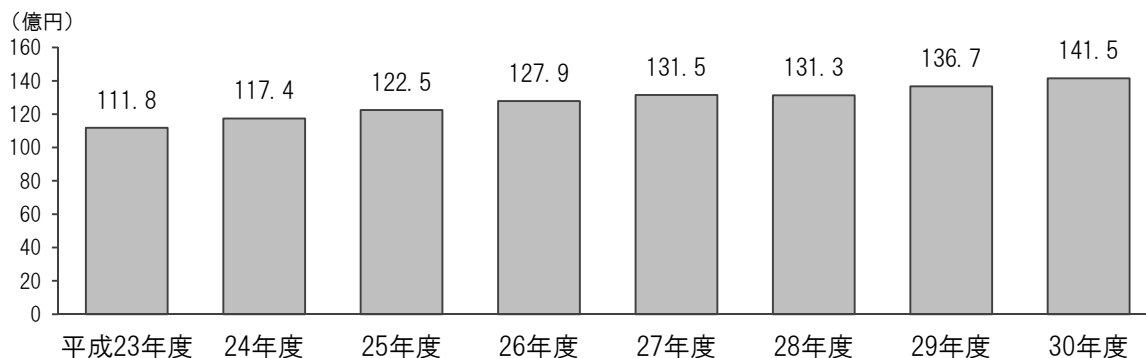


資料：台東区介護保険課

### 3 介護保険の保険給付の状況

介護保険の保険給付費は増加傾向にあり、平成30年度では141.5億円で、平成23年度111.8億円の約1.3倍となっている。

図表 1-8 保険給付費の推移

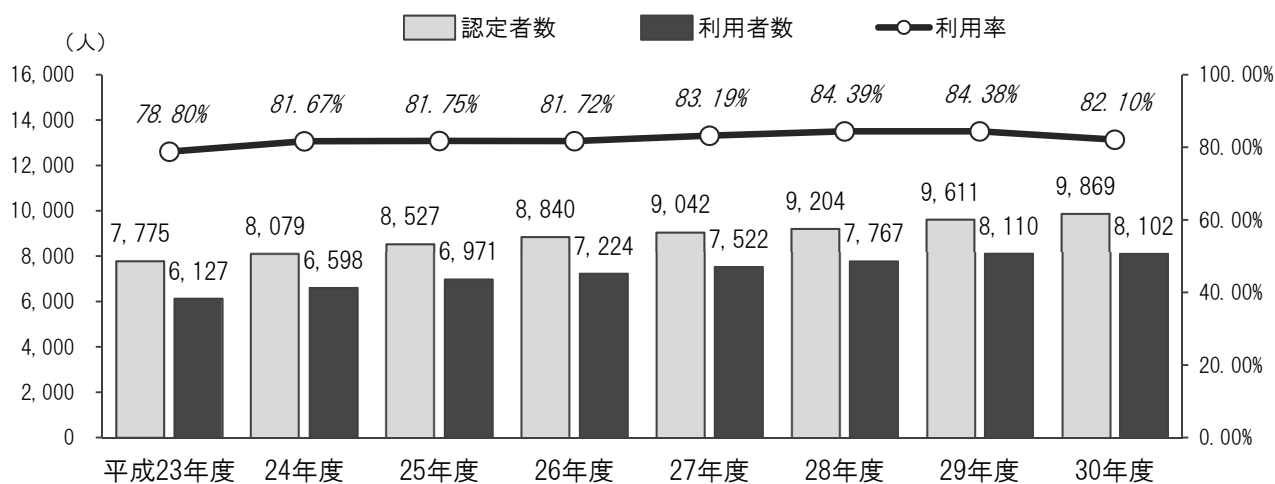


資料：台東区介護保険課

### 4 利用者数の推移

介護サービス等の利用者数は認定者数の増加に伴い、同様に増加傾向にある。一方、利用率は平成30年度82.10%で、平成24年度の81.67%から大きな変化はみられない。

図表 1-9 利用者数の推移



資料：台東区介護保険課

## 第2章 調査結果の概要

### I 調査結果の概要

#### 1 主な共通項目の比較

一般調査、ニーズ調査、認定者調査の各調査において、同様の質問をしているものを抜粋し、共通項目として比較したうえで、テーマ別にまとめた。

調査票の回答者について、「本人」の回答は、一般調査では85.7%、ニーズ調査では88.2%、認定者調査では50.7%となっている。

##### (1) 家族構成と住まいの状況

「ひとり暮らし」は、一般調査では26.5%、ニーズ調査では27.7%、認定者調査では30.5%となっている。

日中独居の状況について、「一人で過ごすことはあまりない」は、一般調査では51.2%、認定者調査では40.0%となっている。また、「昼夜とも一人で過ごすことが多い」は、一般調査では19.3%、認定者調査では28.7%となっている。

「災害時や緊急時に一人で避難することができる」は、一般調査では83.7%、認定者調査では27.5%となっている。

住まいの形態は、「持ち家（一戸建て）」「持ち家（集合住宅）」を合わせると、一般調査では75.6%、認定者調査では73.3%となっている。また、住宅で「特に困っていることはない」は一般調査では63.6%、認定者調査では54.1%となっている。

##### (2) 医療と介護保険制度

かかりつけ医は、「区内にある」が一般調査では66.1%、認定者調査では75.8%となっており、かかりつけ歯科医は、一般調査では64.8%、認定者調査では62.2%となっている。また、かかりつけ薬剤師（薬局）は、一般調査では63.4%、認定者調査では77.2%となっている。

病気やけがで長期の療養が必要となり、通院が困難になった場合に、在宅療養を「希望する」は、一般調査では28.3%、認定者調査では27.5%となっている。また、「希望するが、難しいと思う」「希望しない」と回答した人の理由は、「家族に負担をかけるから」が最も高く、一般調査では67.0%、認定者調査では70.2%となっている。

介護保険制度について、介護保険料とサービスは、一般調査、認定者調査ともに「施設や在宅サービスの量は現状維持とし、保険料も現状程度とするのがよい」が最も高く、一般調査では31.2%、認定者調査では35.7%となっている。

介護保険料の額は、「かなりの負担である」「やや負担である」を合わせると、一般調査では57.1%、認定者調査では44.6%となっている。また、「妥当な額である」「負担には感じない」を合わせると、一般調査では20.8%、認定者調査では26.4%となっている。

今後希望する暮らし方は、一般調査、認定者調査ともに「介護サービスを利用して自宅」が最も高く、一般調査では32.1%、認定者調査では39.5%となっている。認定者調査では、「家族の介護を受けて自宅」の21.0%を合わせると、「自宅」での介護を希望する人が60.5%となっている。

### (3) 地域とのかかわり・地域住民によるサービス

一般調査では、地域で支援を必要とする高齢者の支え手として「すでに活動している」「(活動したいと)思う」を合わせると25.2%となっている。一方、「わからない」「思わない」を合わせると68.3%となっている。さらに、高齢者の支え手としてできることは、「話し相手」「見守り」「買い物」といった支援が上位となっている。

認定者調査では、地域住民による生活支援のサービスを「利用したい」が28.3%で、利用したいものは、「部屋の掃除、風呂の掃除」「買い物」「通院の付添・介助」が上位となっている。

### (4) 認知症と成年後見制度

認知症になった(かもしれない)ときの家族以外への相談意向は、「相談したい」が一般調査では67.7%、認定者調査では60.1%となっており、相談先としては、「かかりつけ医、近所の医院」が最も高くなっている。

認知症に「関心がある」は、一般調査では82.5%、認定者調査では76.7%となっており、そのうち関心があることは、「予防に効果的な方法」が最も高くなっている。

成年後見制度の認知度は、「名前も内容も知っている」が、一般調査では30.4%、認定者調査では20.6%で、利用意向については、「利用したい」が一般調査では25.0%、認定者調査では23.4%となっている。

### (5) 生きがいについて

「生きがい」を感じていることは、一般調査では「旅行や買い物などの外出」が43.6%で最も高く、次いで「働くこと(自営・家事などを含む)」「テレビやラジオの視聴」の順となっている。ニーズ調査では「テレビやラジオの視聴」が54.8%で最も高く、次いで「食事をする事」「旅行や買い物などの外出」の順となっている。

### (6) 区の高齢者福祉施策

区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策は、一般調査、認定者調査ともに、「介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供」「介護している家族の負担の軽減」が上位となっている。また、一般調査では「健康づくりや介護が必要にならないための支援」、認定者調査では「デイサービスやショートステイなどを実施する施設の充実」がそれに続いている。

## 2 その他のテーマ別にみた調査結果

その他、一般調査、ニーズ調査、認定者調査の各調査において、主要な結果を抜粋し、テーマ別にまとめた。

### (1) 健康状態

健康状態について、一般調査では、「よい」「まあよい」「ふつう」を合わせると80.8%、ニーズ調査では、「とてもよい」「まあよい」を合わせると74.1%となっている。

どの程度幸せかを聞いた幸福感(10点満点)については、ニーズ調査では「4～7点」と「8～10点」がともに42.2%となっている。

### (2) 社会参加と地域活動

一般調査では、この1年間で地域活動等に「参加した」が47.5%で、活動内容は、「趣味や教養活動」「健康づくり・スポーツ活動」が上位となっている。

ニーズ調査では、地域での活動で参加している会・グループ等のそれぞれの参加率は、「趣味関係のグループ」が25.6%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が20.9%、「町内会・自治会」が18.7%となっている。地域活動への参加者としての参加意向は、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると54.7%となっており、企画・運営(世話役)としての参加意向は、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると36.1%となっている。

### (3) 就労状況

一般調査では、「仕事をしている」が44.7%となっており、年齢別では、「仕事をしている」が『65～69歳』は60.5%、『70～74歳』は50.8%となっている。また、今後の就労意向は、「自営業」「正規の職員・従業員」「会社等の役員」「契約・派遣・臨時・パート」「シルバー人材センターを通じた仕事」「その他」を合わせると48.9%で、年齢別にみると、高齢になるにつれて仕事をしたい割合は少なくなる傾向にあるが、『85歳以上』は「仕事をしたい」との回答が29.0%となっている。

### (4) 生活状況

一般調査では、ふだんの食事の用意は「自分が調理」が53.2%となっている。家族・親族・知人等との会話は「ほぼ毎日」が全体では78.7%となっているが、ひとり暮らしでは48.6%となっている。1週間の外出の頻度は、「ほぼ毎日」が全体で56.7%となっており、65～69歳では66.1%、75～79歳では60.5%となっている。

また、ニーズ調査では、「自分で食品・日用品の買い物をする」は84.0%、「週5回以上外出している」は47.9%となっている。

### (5) 日頃の生活で不安に感じる点

一般調査では、日頃の生活で不安に感じる点は、「ご自身や家族の健康や病気のこと」が56.7%で最も高く、次いで「ご自身や家族が寝たきりや身体が不自由になり、介護が必要な状態になること」「自然災害(台風、地震等)や火災などの緊急事態が発生すること」の順となっている。

## (6) 介護予防

一般調査では、介護が必要にならないために「心がけていることがある」は90.9%で、そのうち「1日3食食べる、栄養バランスに気をつけている」が最も高く、次いで「散歩や体操など定期的に身体を動かす」「かかりつけ医に定期的に診てもらう」の順となっている。

介護予防教室に「参加してみたい」は63.5%で、そのうち参加してみたい教室は「膝痛や腰痛の対策・予防」「運動機能向上」「認知症予防やうつ予防」が上位となっている。

## (7) 介護保険サービスの利用状況・利用意向

認定者調査では、介護保険サービスの利用状況は、「利用している」が67.7%で、利用している場合のケアプランの満足度は、「満足している」「ほぼ満足している」を合わせると76.4%となっている。希望どおりにサービスが利用できているかどうかについては、「ほぼ希望どおりに利用できている」が72.8%となっている。

また、利用していない場合の理由は「自分で何とか生活できるため」が58.0%、次いで「家族が介護してくれるため」が25.8%となっている。

介護者が望む介護の形態では、「自宅で介護保険サービスと家族等の介護を併用する」「自宅で主に介護保険サービスを利用する」「自宅で家族や親族が介護する」を合わせると、「自宅」を望む人が46.0%、「特別養護老人ホームなどの介護保険施設を利用する」が10.9%となっている。

介護者が望む支援やサービスでは、「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急ショートステイ」が30.7%で最も高く、次いで「必要に応じて夜間の利用や宿泊ができるサービスや施設」「介護に関する相談支援の充実」の順となっている。

## (8) 介護者の状況

認定者調査では、介護してくれる家族の有無は「いる」が63.0%、一方、「家族はいるが、介護してもらっていない」「家族はいない」を合わせると26.7%となっている。主な介護者の年齢は「65歳以上」が43.7%、健康状態は「健康」「持病はあるがおおむね健康」を合わせると66.3%となっている。

就労状況では、仕事が「あり」は44.5%となっている。そのうち、働き方の調整については、「特に行っていない」が34.3%、一方、労働時間、休暇取得、在宅勤務など、何らかの「働き方の調整をしている」は、39.8%となっている。

介護のために「仕事を辞めた」「転職した」人は12.0%、離職した理由は、「仕事と介護の両立が難しいから」が最も高くなっている。一方、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」は39.9%となっている。

介護保険サービスの利用による介護者の負担は、「大いに負担が軽くなっている」「多少は負担が軽くなっている」を合わせると45.4%となっている。



## II 共通調査項目

「n」は各設問に該当する回答者の総数（人）であり、回答率（%）の母数をあらわしている。

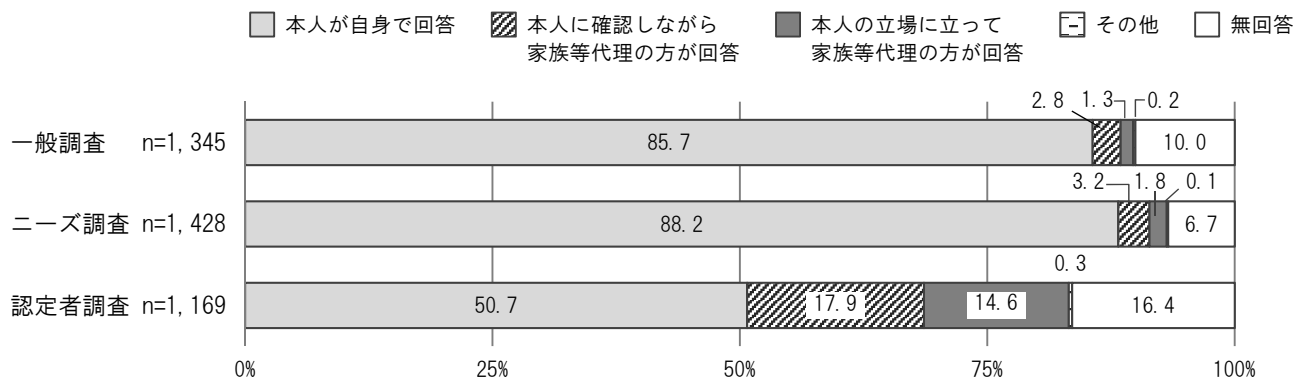
一般調査、ニーズ調査、認定者調査の各調査において、設問が同様である主要な結果を抜粋し、比較を行った。各2,000人を対象に調査を行い、一般調査1,345人、ニーズ調査1,428人、認定者調査1,169人から有効回答を得られた。

### 1 回答者の属性

#### (1) 調査票の回答者

▶ 調査票の回答者は、「本人が自身で回答」が『一般調査』85.7%、『ニーズ調査』88.2%、『認定者調査』50.7%

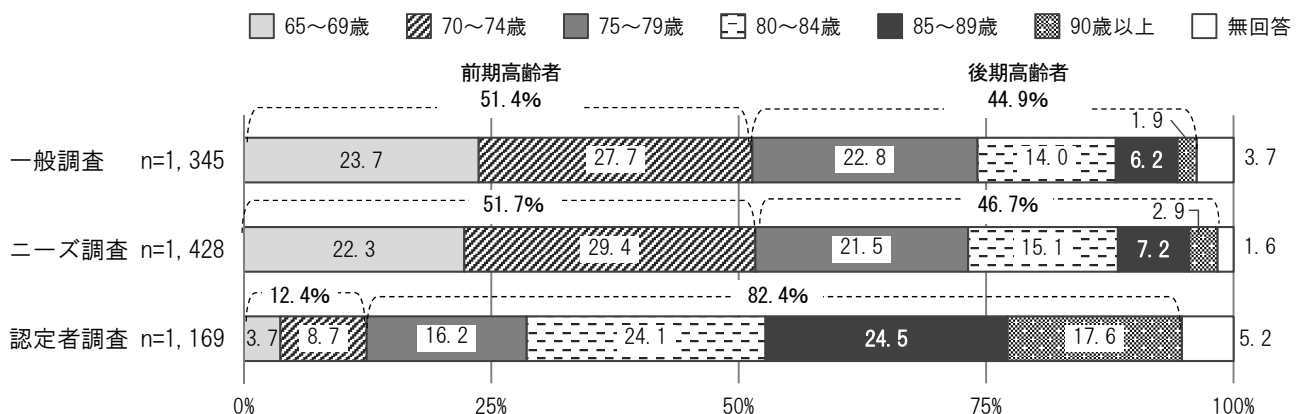
図表 2-1 調査票の回答者



#### (2) 年齢

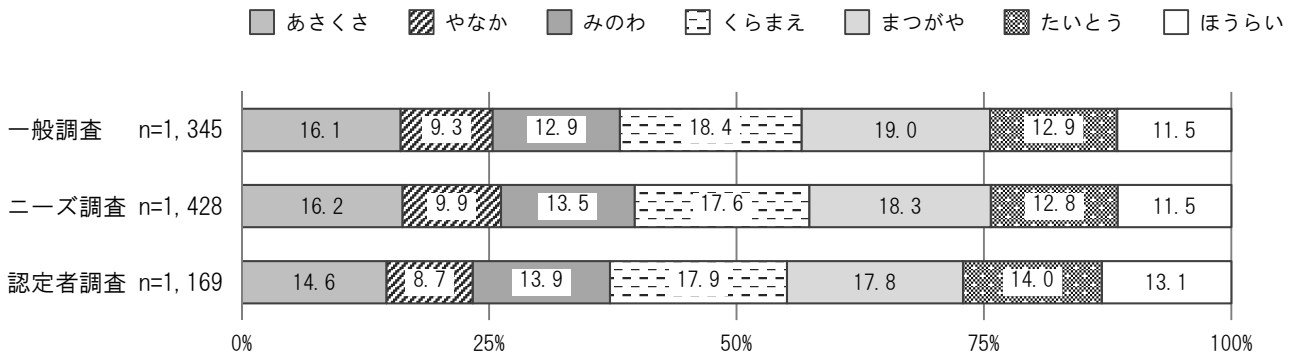
▶ 回答者の年齢は、前期高齢者が『一般調査』51.4%、『ニーズ調査』51.7%、後期高齢者が『認定者調査』82.4%

図表 2-2 年齢



(3) 居住地域

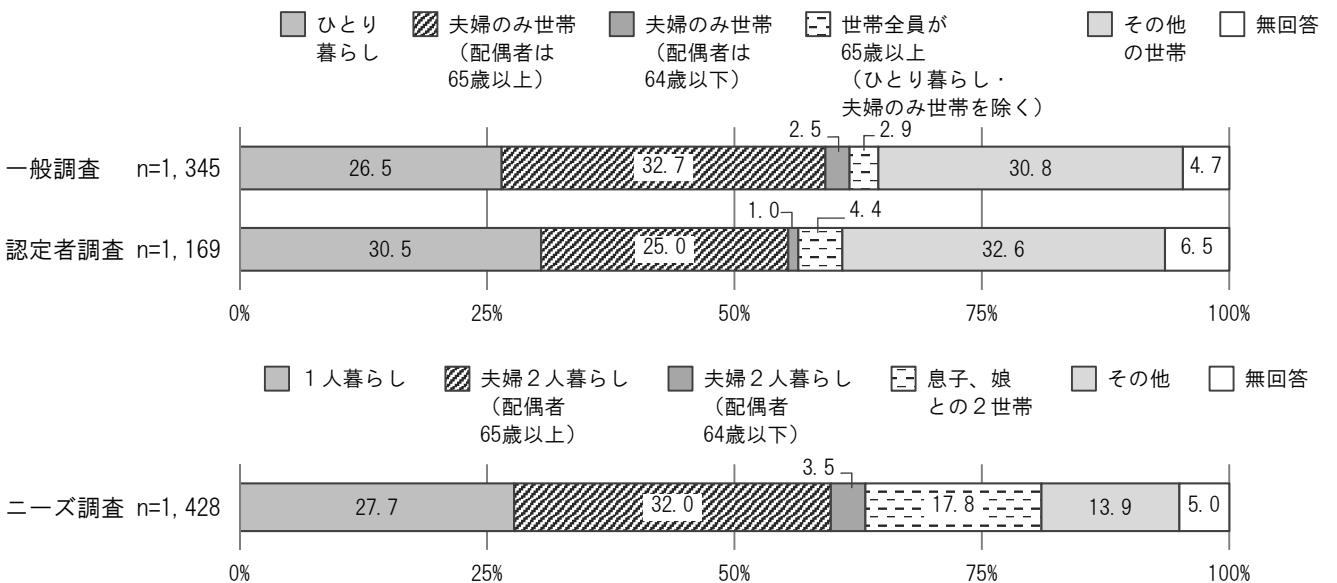
図表 2-3 地域包括支援センター区域



(4) 家族構成

▶ 家族構成は、「ひとり暮らし」が『一般調査』は26.5%、『認定者調査』は30.5%、『ニーズ調査』は27.7%

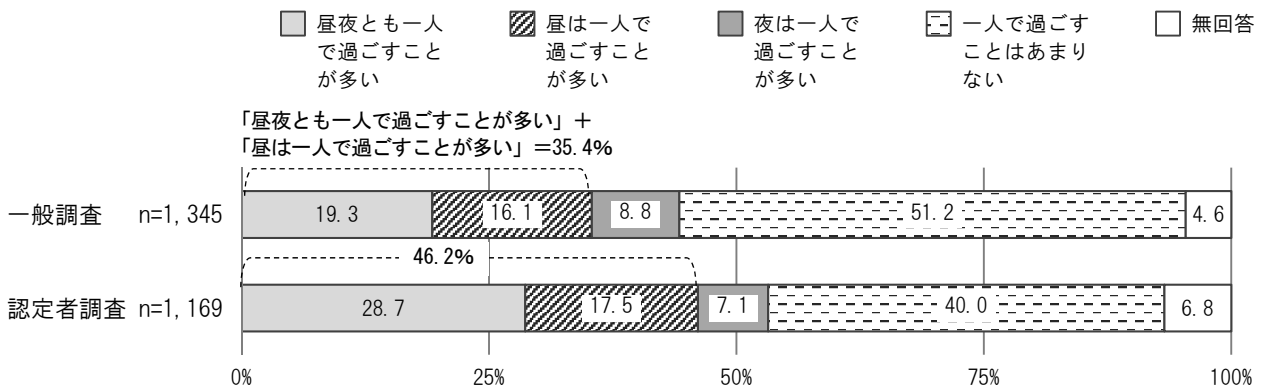
図表 2-4 家族構成



(5) 日中独居の状況

▶ 日中独居の状況は、「昼夜とも一人で過ごすことが多い」「昼は一人で過ごすことが多い」を合わせると『一般調査』が35.4%、『認定者調査』が46.2%

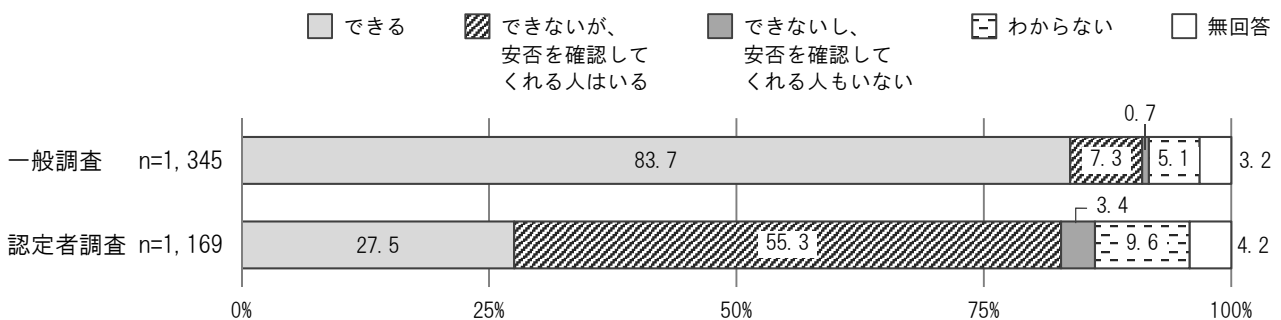
図表 2-5 日中独居の状況



(6) 災害時（台風や地震等）や火災などの緊急時に一人で避難すること

▶ 緊急時に一人で避難できるのは、『一般調査』が83.7%、『認定者調査』は27.5%

図表 2-6 災害時や緊急時に一人で避難すること

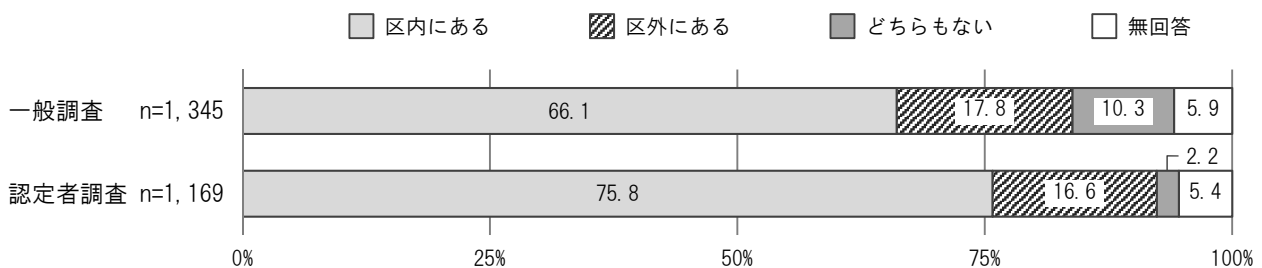


2 かかりつけ医等について

(1) かかりつけ医の有無

▶ かかりつけ医が区内にあるのは、『一般調査』が66.1%、『認定者調査』は75.8%

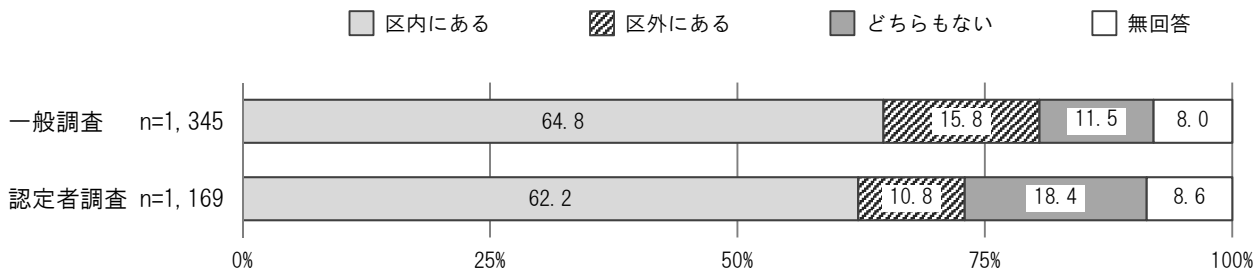
図表 2-7 かかりつけ医の有無



(2) かかりつけ歯科医の有無

▶ かかりつけ歯科医が区内にあるのは、『一般調査』が64.8%、『認定者調査』は62.2%

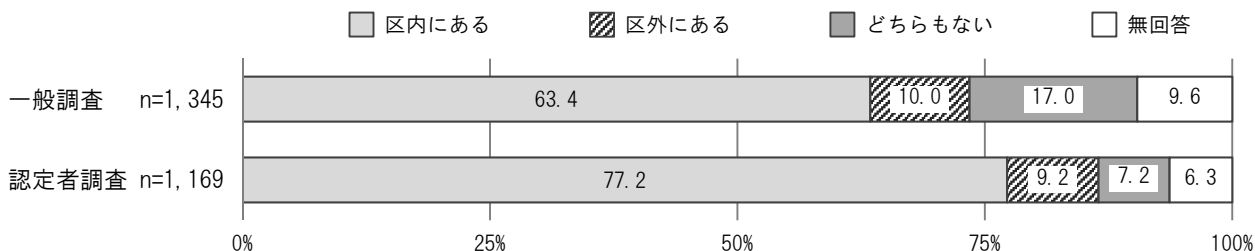
図表 2-8 かかりつけ歯科医の有無



(3) かかりつけ薬剤師（薬局）の有無

▶ かかりつけ薬剤師（薬局）が区内にあるのは、『一般調査』が63.4%、『認定者調査』は77.2%

図表 2-9 かかりつけ薬剤師（薬局）の有無

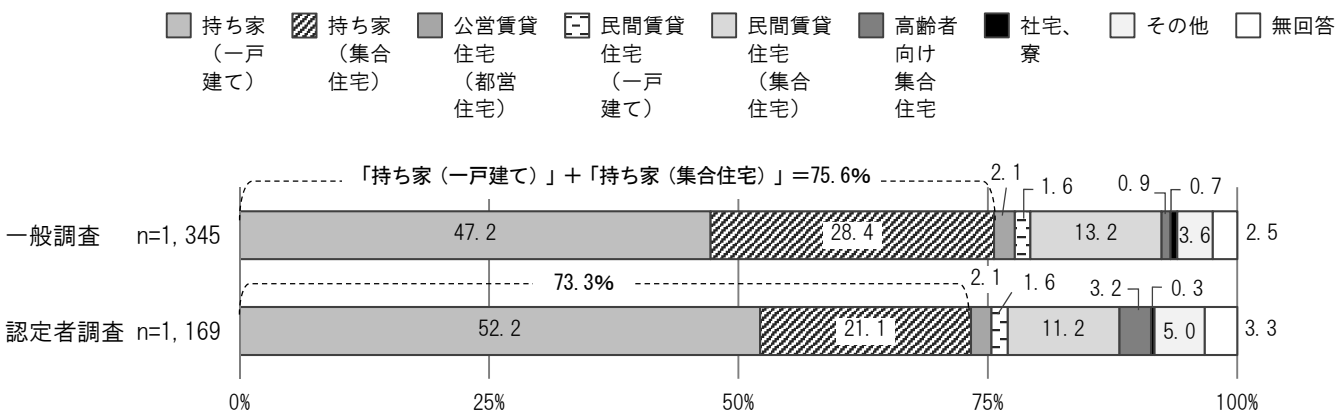


3 住まいについて

(1) 住まいの形態

▶ 住まいの形態は、『一般調査』では「持ち家（一戸建て）」が47.2%、「持ち家（集合住宅）」は28.4%で合わせると75.6%、『認定者調査』では「持ち家（一戸建て）」が52.2%、「持ち家（集合住宅）」は21.1%で合わせると73.3%

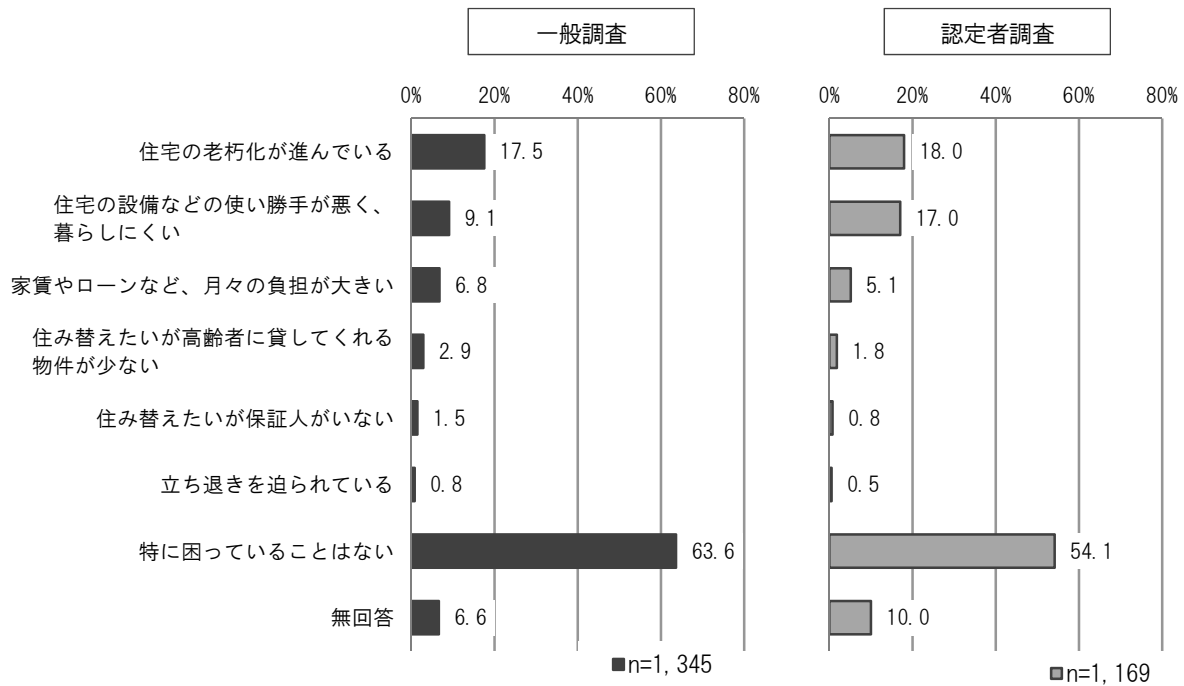
図表 2-10 住まいの形態



(2) 現在の住宅で困っていること

▶住宅で「特に困っていることはない」は、『一般調査』が63.6%、『認定者調査』は54.1%

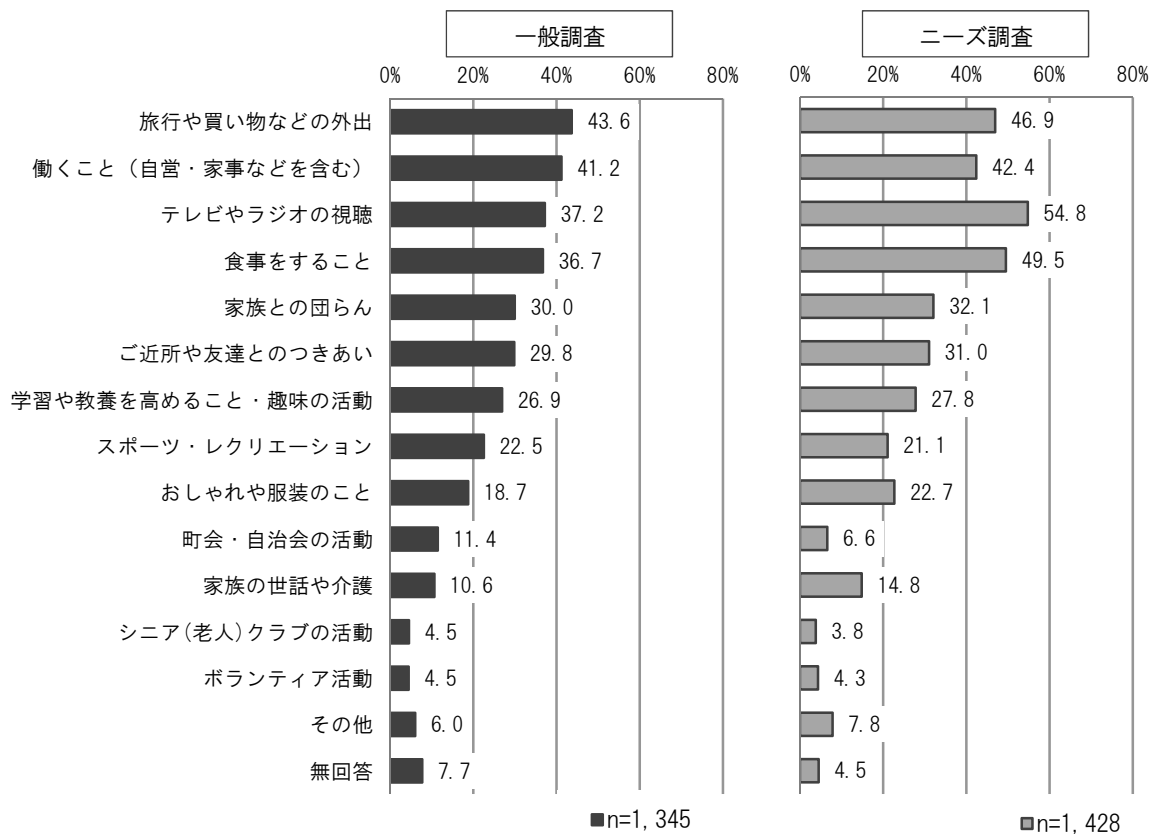
図表 2-11 住宅で困っていること（複数回答）



4 生きがいについて

▶「生きがい」を感じていることは、『一般調査』では「旅行や買い物などの外出」43.6%、「働くこと（自営・家事などを含む）」41.2%、『ニーズ調査』では「テレビやラジオの視聴」54.8%、「食事をする事」49.5%

図表 2-12 「生きがい」を感じていること（複数回答）

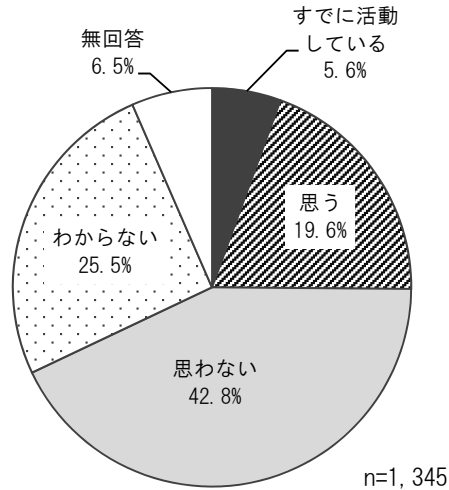


5 地域とのかかわり・地域住民によるサービスについて

一般調査

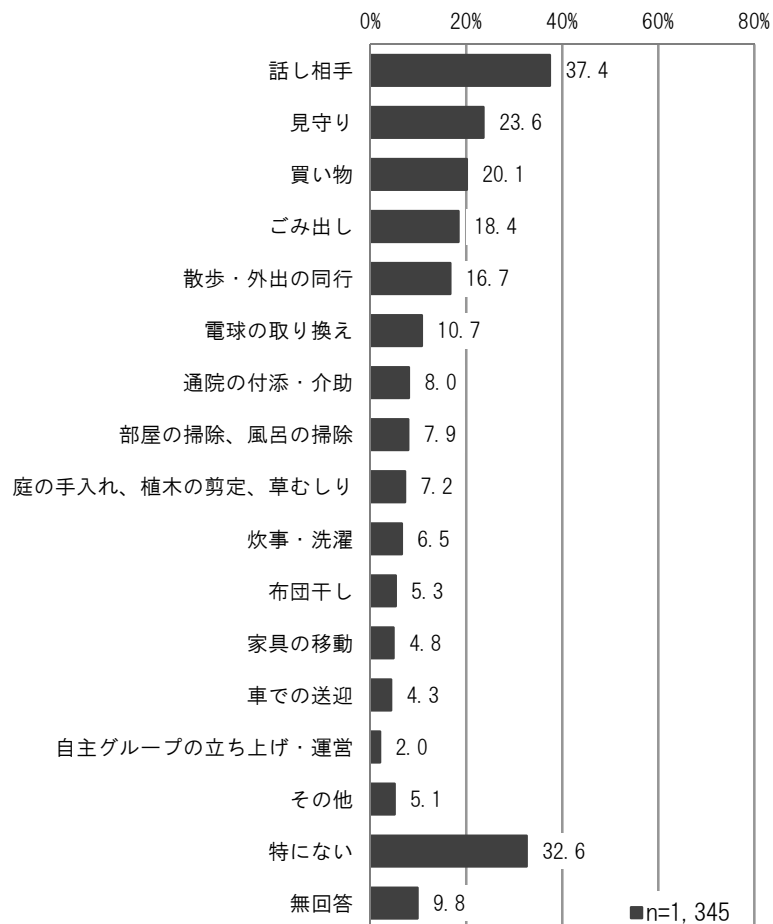
▶地域で支援を必要とする高齢者の支え手としての活動意向は、「すでに活動している」が5.6%、活動したいと「思う」は19.6%、一方、「わからない」が25.5%、「思わない」が42.8%

図表 2-13 高齢者の支え手としての活動意向



▶地域で支援を必要とする高齢者の支え手としてできることは「話し相手」が37.4%、「見守り」が23.6%、「買い物」が20.1%

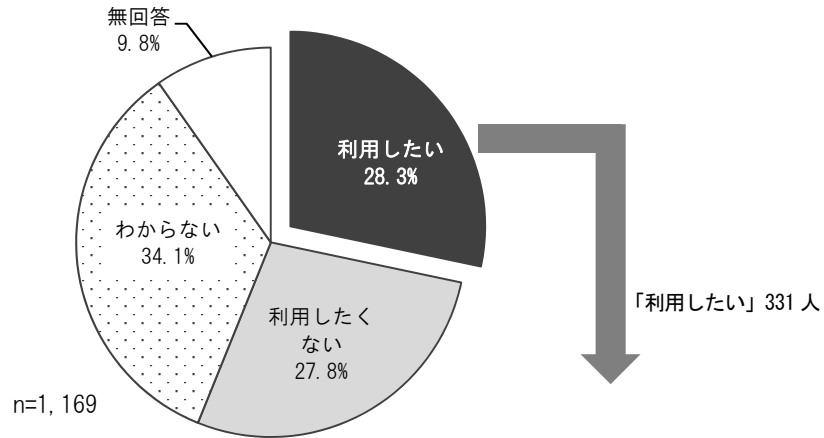
図表 2-14 高齢者の支え手としてできること（複数回答）



認定者調査

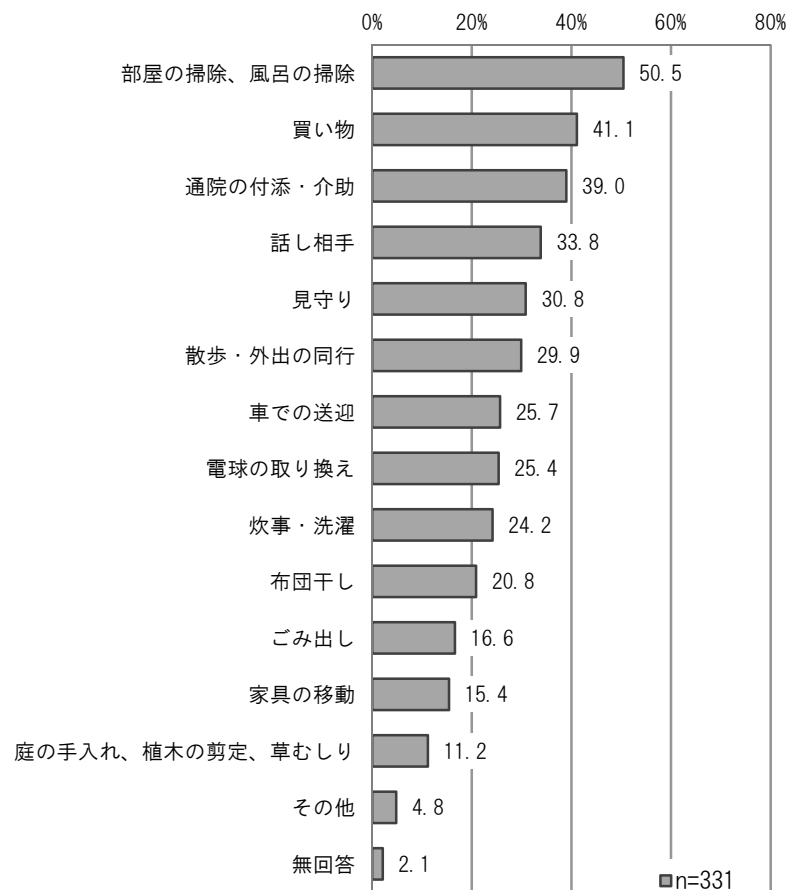
▶地域住民による生活援助のサービスの利用意向は、「利用したい」が28.3%

図表 2-15 地域住民による生活援助のサービスの利用意向



▶地域住民によるサービスを「利用したい」と回答した28.3%（331人）のうち、利用したいものは「部屋の掃除、風呂の掃除」が50.5%、「買い物」が41.1%、「通院の付添・介助」が39.0%

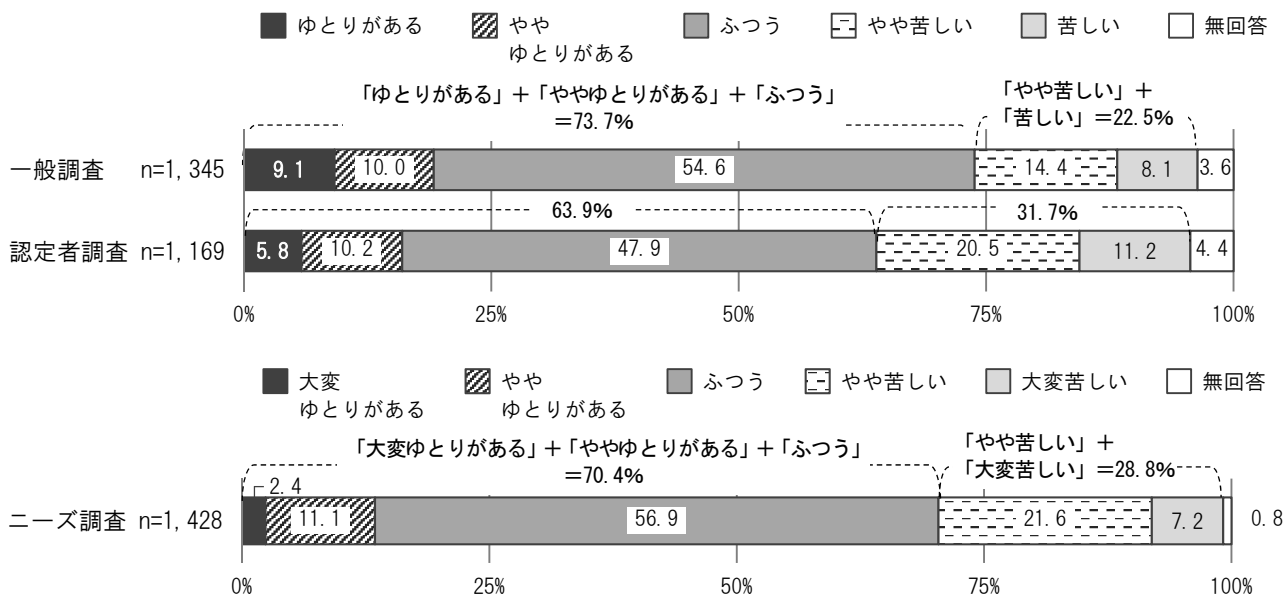
図表 2-16 地域住民によるサービスで利用したいもの（複数回答）



6 暮らし向きについて

▶経済的にみて、現在の暮らしは、「ゆとりがある」「ややゆとりがある」「ふつう」を合わせると『一般調査』が73.7%、『認定者調査』が63.9%、『ニーズ調査』は70.4%

図表 2-17 暮らし向き

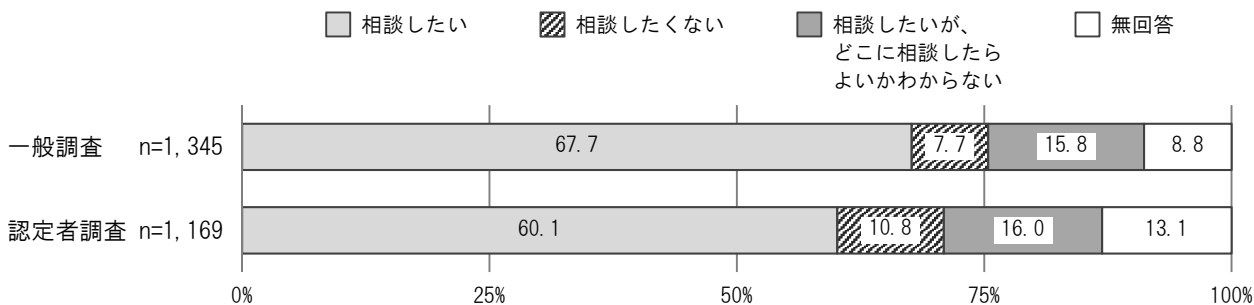


7 認知症について

(1) 認知症について家族以外に相談する意向

▶認知症になった(かもしれない)ときに、家族以外に「相談したい」は、『一般調査』が67.7%、『認定者調査』は60.1%

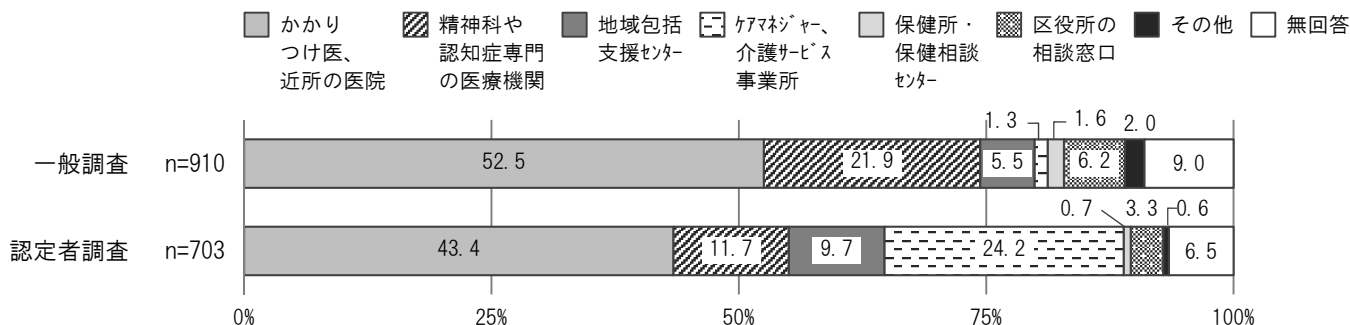
図表 2-18 家族以外への相談意向



(2) 認知症について家族以外に相談する場合の相談先

▶家族以外の相談先で「かかりつけ医、近所の医院」は、『一般調査』が52.5%、『認定者調査』は43.4%

図表 2-19 家族以外に相談する場合の相談先

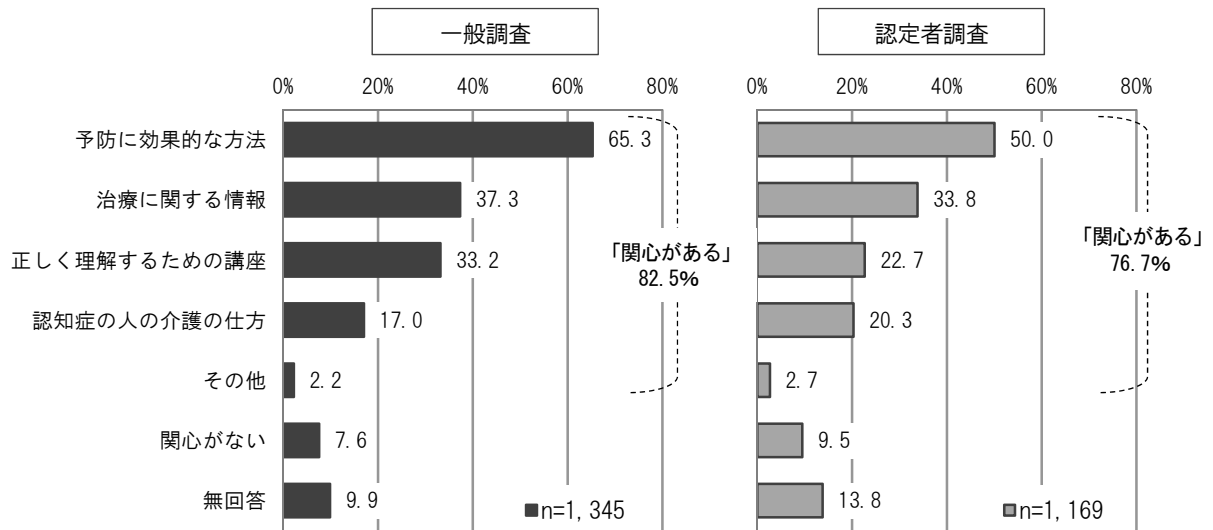




(3) 認知症のどんなことに興味があるか

▶ 認知症について「興味がある」は、『一般調査』が82.5%、『認定者調査』は76.7%

図表 2-20 認知症のどんなことに興味があるか（複数回答）



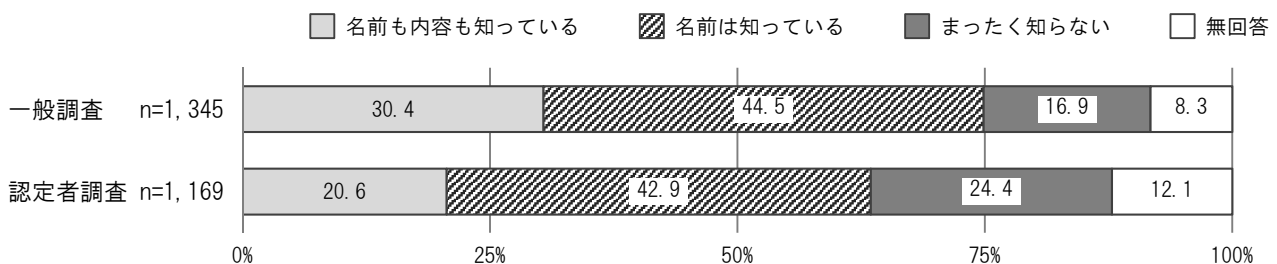
※ 「興味がある」=100% - 「関心がない」 - 「無回答」

8 成年後見制度について

(1) 成年後見制度の認知度

▶ 成年後見制度について「名前も内容も知っている」は、『一般調査』が30.4%、『認定者調査』は20.6%

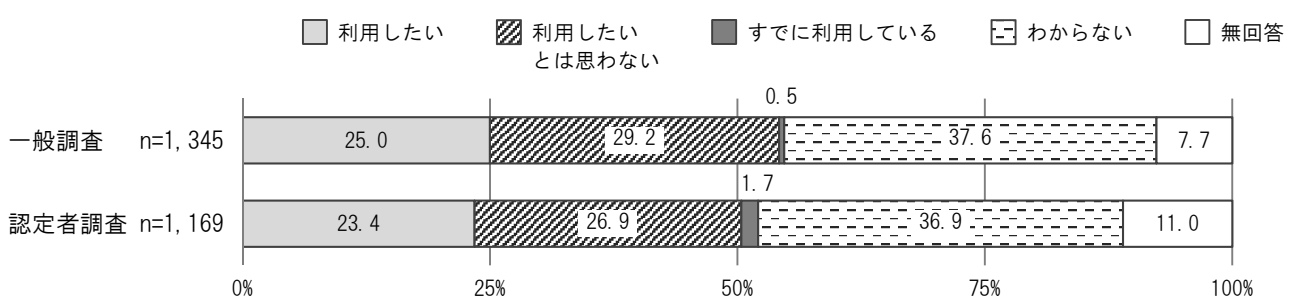
図表 2-21 成年後見制度の認知度



(2) 成年後見制度の利用意向

▶ 認知症などにより判断能力が十分でなくなってきた場合に、成年後見制度を「利用したい」は、『一般調査』が25.0%、『認定者調査』は23.4%

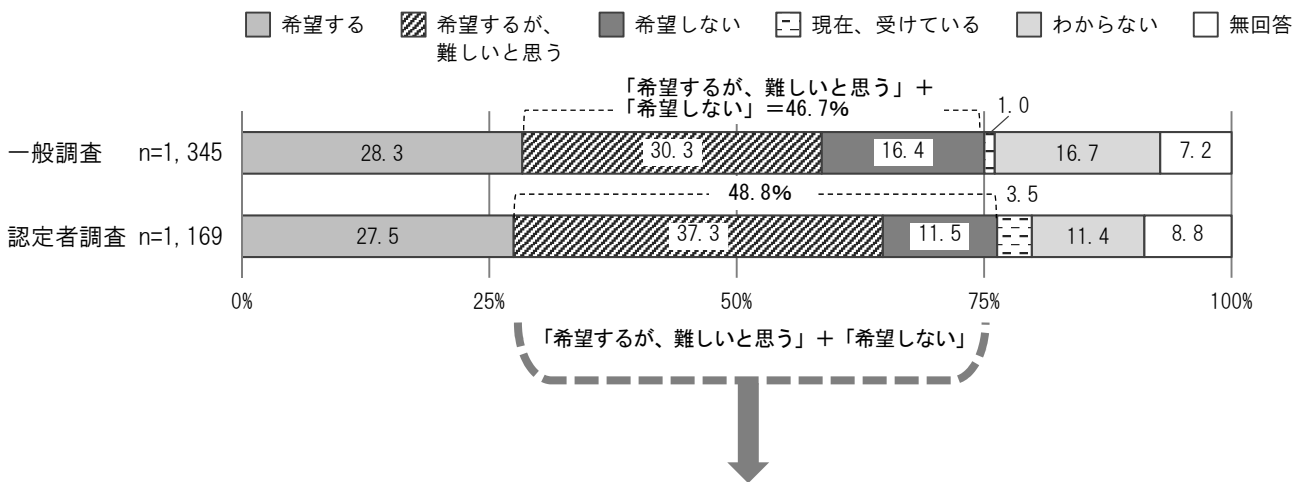
図表 2-22 成年後見制度の利用意向



9 在宅療養について

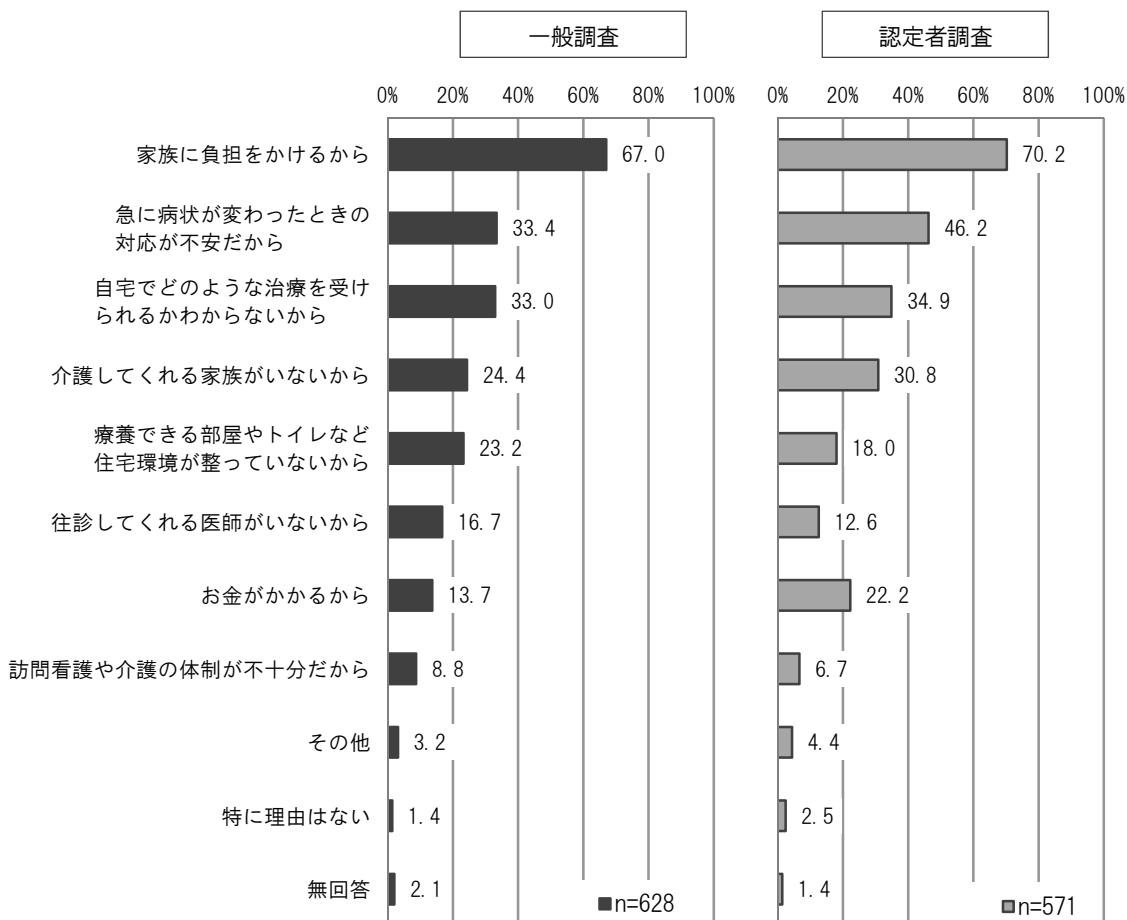
▶ 病気やけがで長期の療養が必要となり、通院が困難になった場合、在宅療養を「希望する」は、『一般調査』が28.3%、『認定者調査』は27.5%

図表 2-23 在宅療養の希望



▶ 在宅療養を「希望するが、難しいと思う」「希望しない」と回答した人のうち、その理由は「家族に負担をかけるから」が『一般調査』は67.0%、『認定者調査』は70.2%

図表 2-24 在宅療養を希望しない、または難しいと思う理由（3つまで）

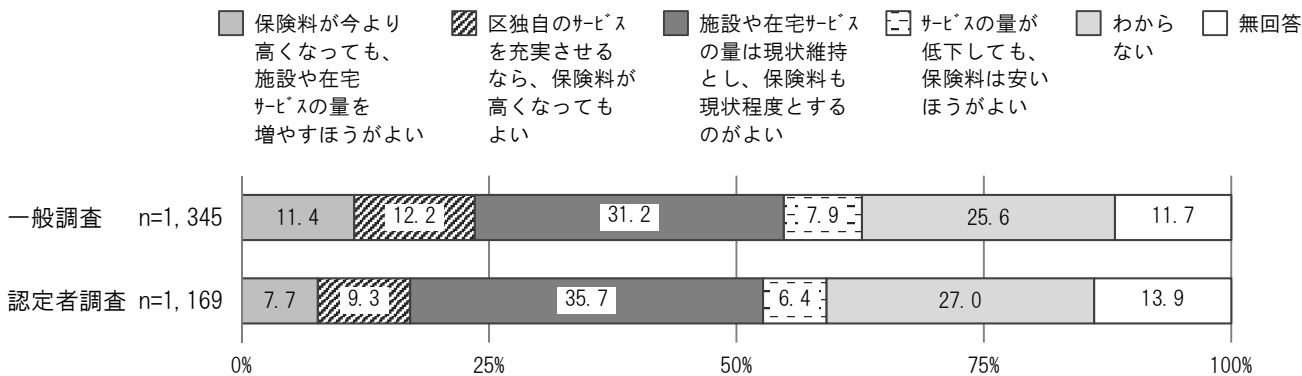


10 介護保険制度について

(1) 介護保険料とサービスについて

▶ 介護保険料とサービスは、「施設や在宅サービスの量は現状維持とし、保険料も現状程度とするのがよい」が最も高く、『一般調査』が31.2%、『認定者調査』は35.7%

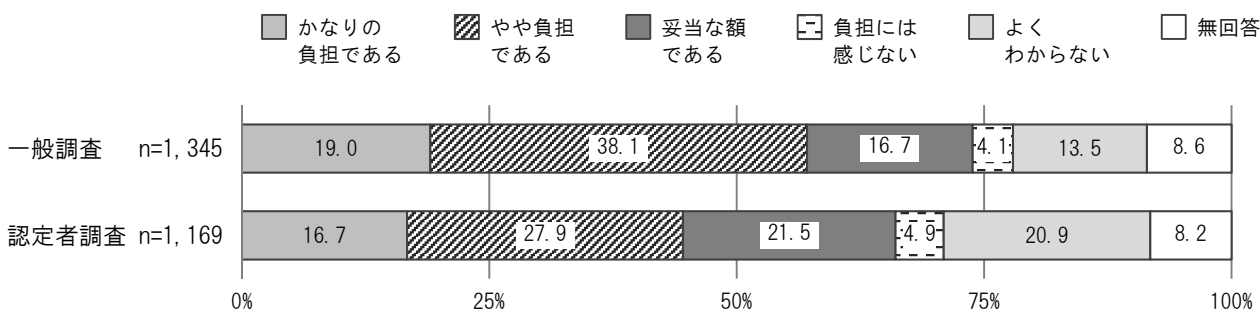
図表 2-25 介護保険料とサービスについて



(2) 介護保険料の額について

▶ 介護保険料の額について「やや負担である」が最も高く、『一般調査』が38.1%、『認定者調査』は27.9%

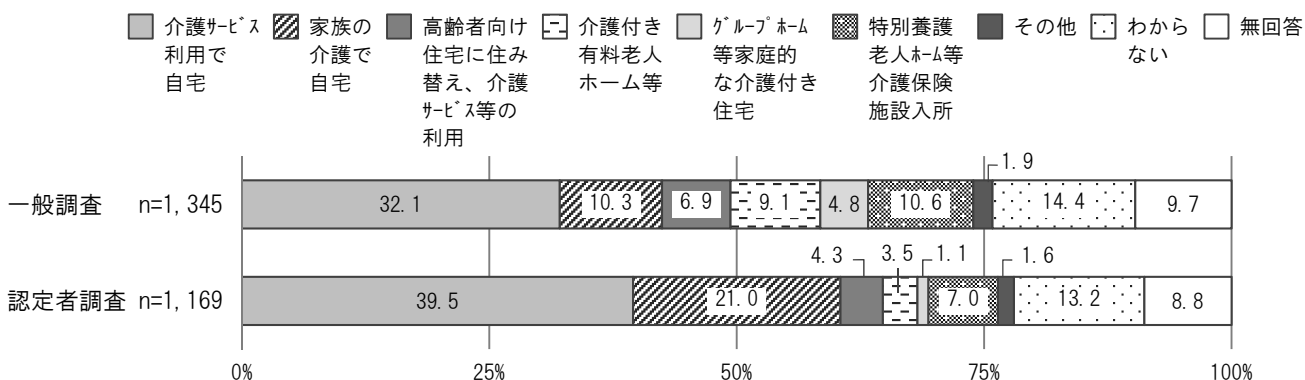
図表 2-26 介護保険料の額について



(3) 今後希望する暮らし方

▶ 今後介護が必要となった場合、希望する暮らし方は、「介護サービス利用で自宅」が最も高く、『一般調査』が32.1%、『認定者調査』は39.5%

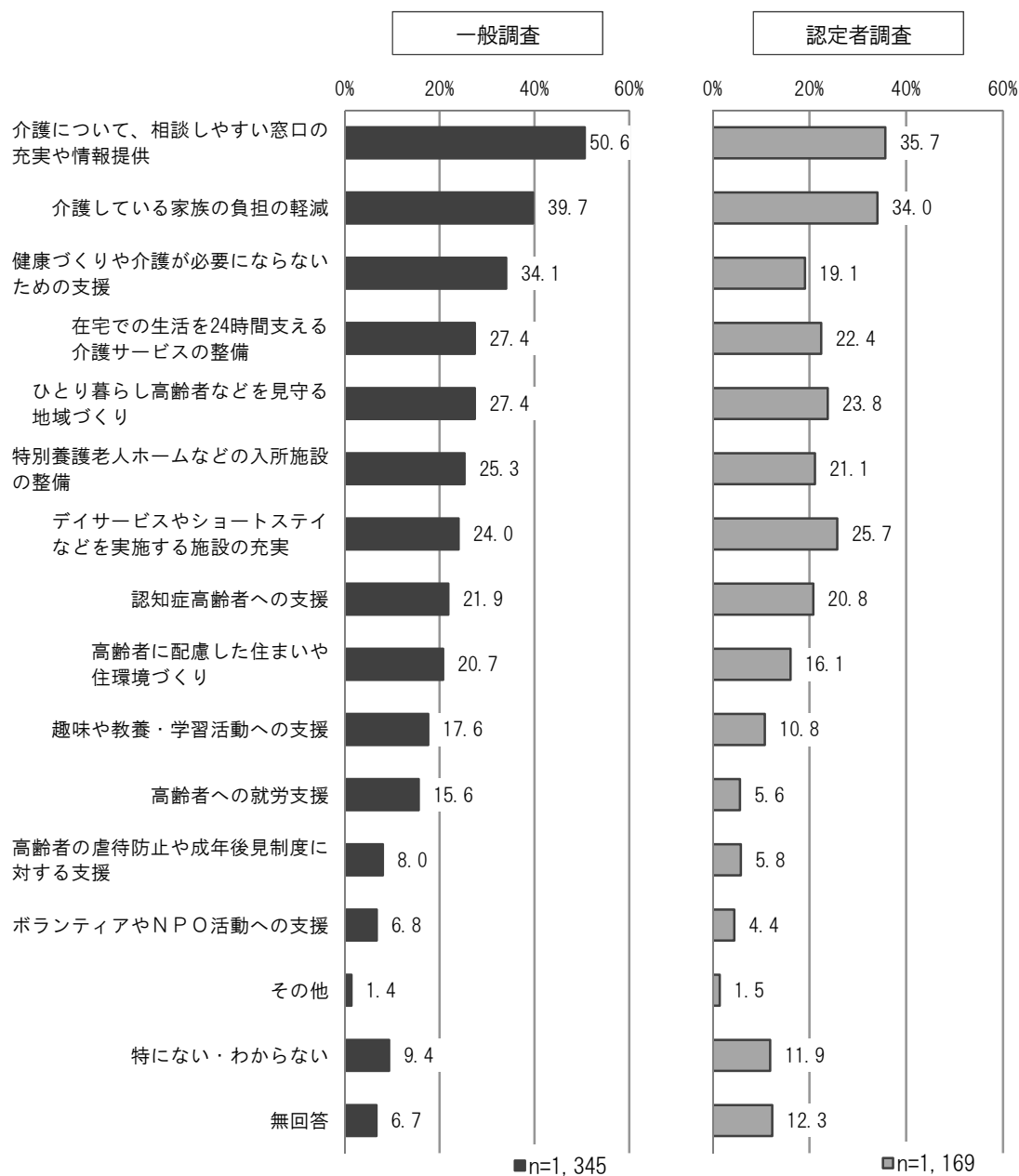
図表 2-27 今後希望する暮らし方



11 区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策

▶ 区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策は、「介護について、相談しやすい窓口の充実や情報提供」が最も高く、『一般調査』では50.6%、『認定者調査』では35.7%

図表 2-28 区に力を入れてもらいたい高齢者福祉施策（複数回答）



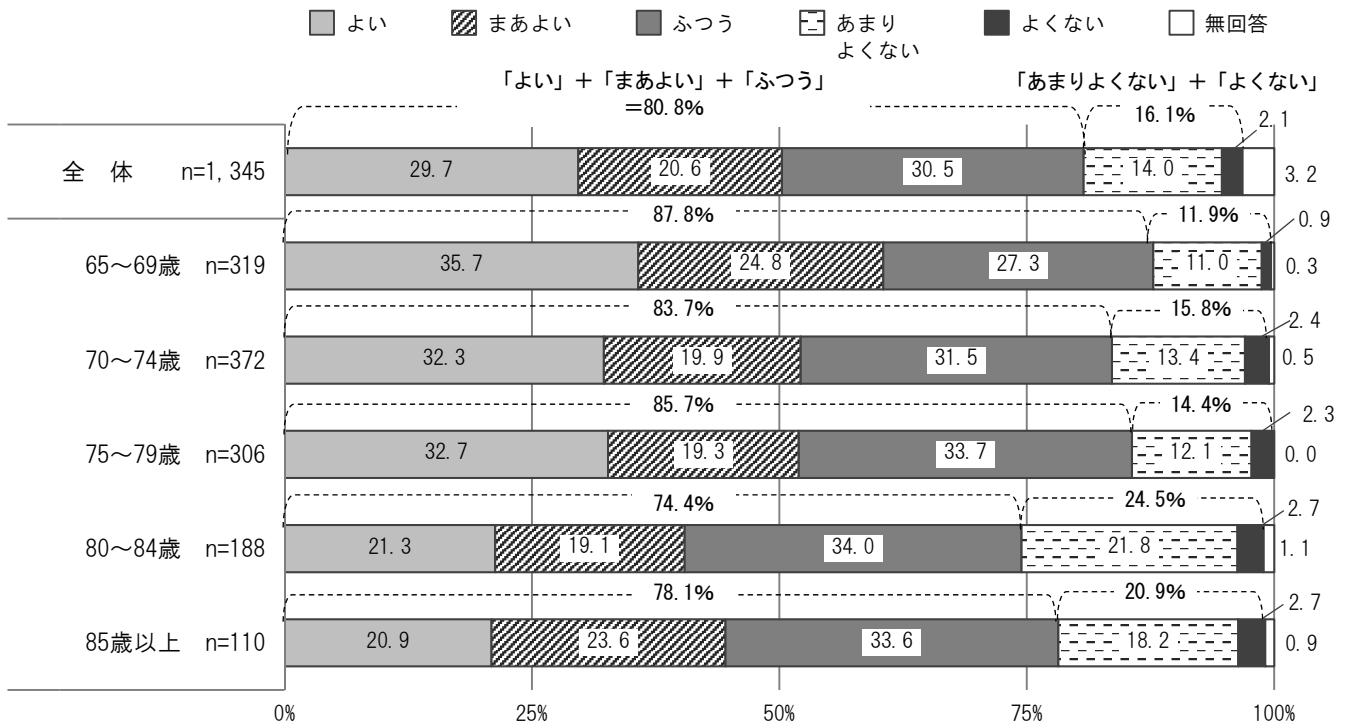
### III 一般高齢者調査

「n」は各設問に該当する回答者の総数（人）であり、回答率（%）の母数をあらわしている。

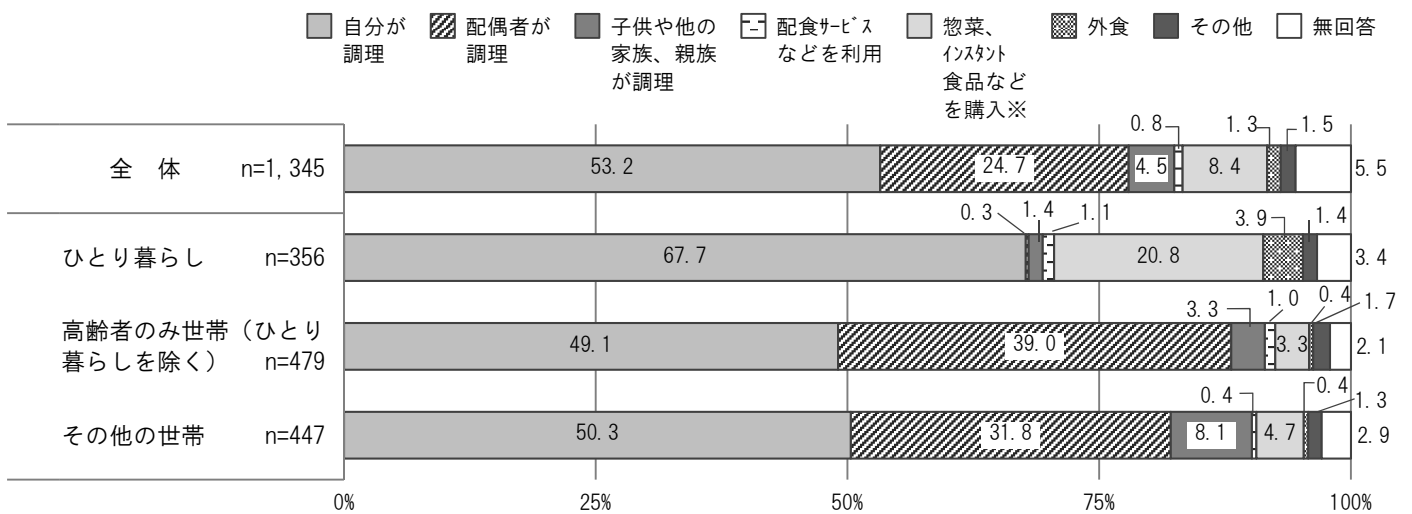
- ▶健康状態は、「よい」「まあよい」「ふつう」を合わせると 80.8%
- ▶ふだんの食事の用意は、「自分が調理」が 53.2%

- ・健康状態は、「よい」「まあよい」「ふつう」を合わせると、「65～69歳」で 87.8%、「75～79歳」で 85.7%となっている。[図表 2-29]
- ・ふだんの食事の用意は、『ひとり暮らし』では「自分が調理」67.7%、「惣菜、インスタント食品などを購入」が 20.8%となっている。[図表 2-30]

図表 2-29 健康状態／年齢別



図表 2-30 ふだんの食事の用意／家族構成別

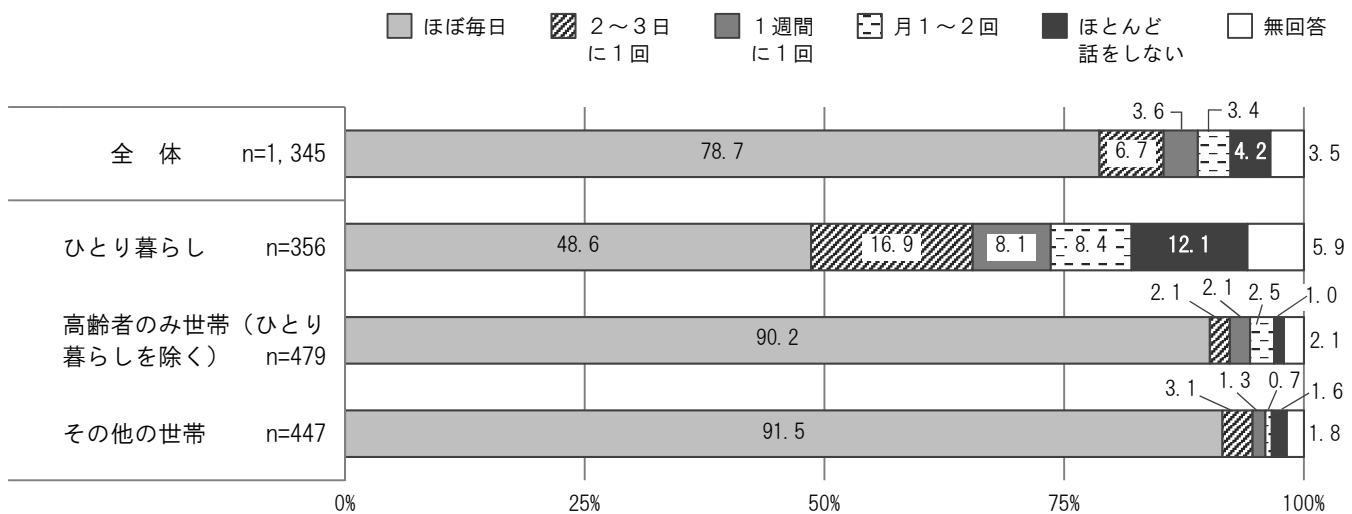


※「惣菜、インスタント食品などを購入」＝「スーパー・コンビニなどで惣菜、インスタント食品などを購入」

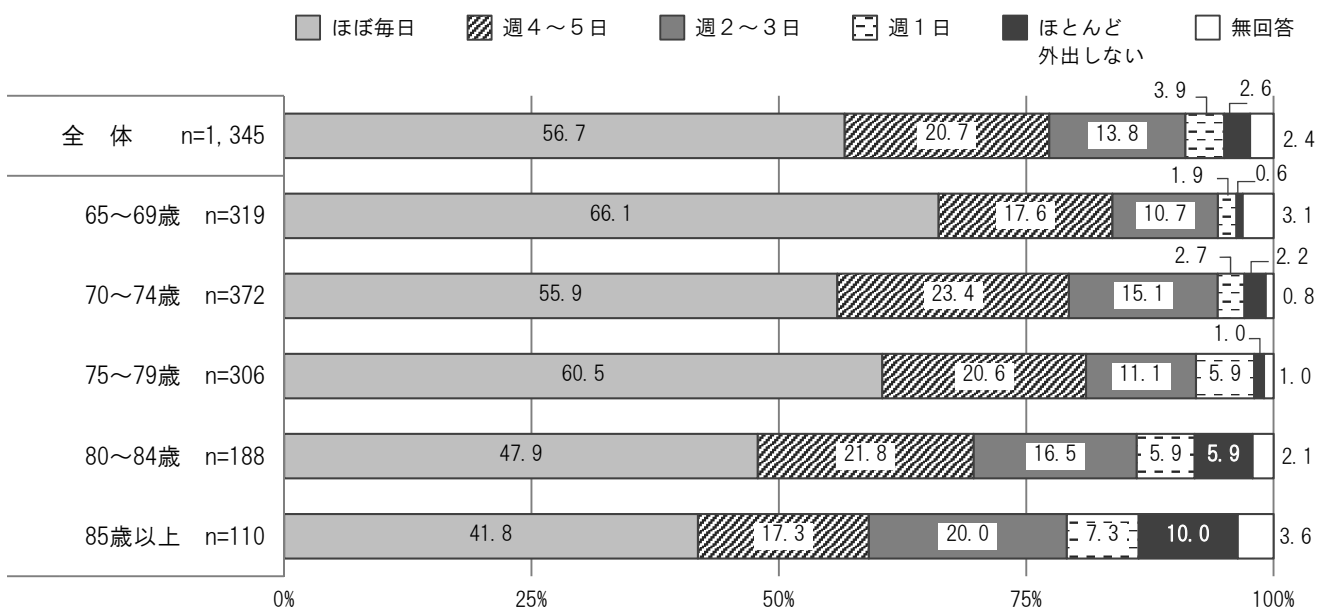
- ▶ コミュニケーションについて、家族・親族・知人等との会話は「ほぼ毎日」が全体では78.7%であるが、『ひとり暮らし』では48.6%
- ▶ 外出の頻度は、「ほぼ毎日」が56.7%

- ・家族・親族・知人等との会話は、『ひとり暮らし』では「2～3日に1回」が16.9%、「ほとんど話をしない」が12.1%となっている。[図表 2-31]
- ・外出の頻度は、「ほぼ毎日」が、年代により増減はあるものの、高齢になるにつれて低くなっている。[図表 2-32]

図表 2-31 家族・親族・知人等との会話／家族構成別



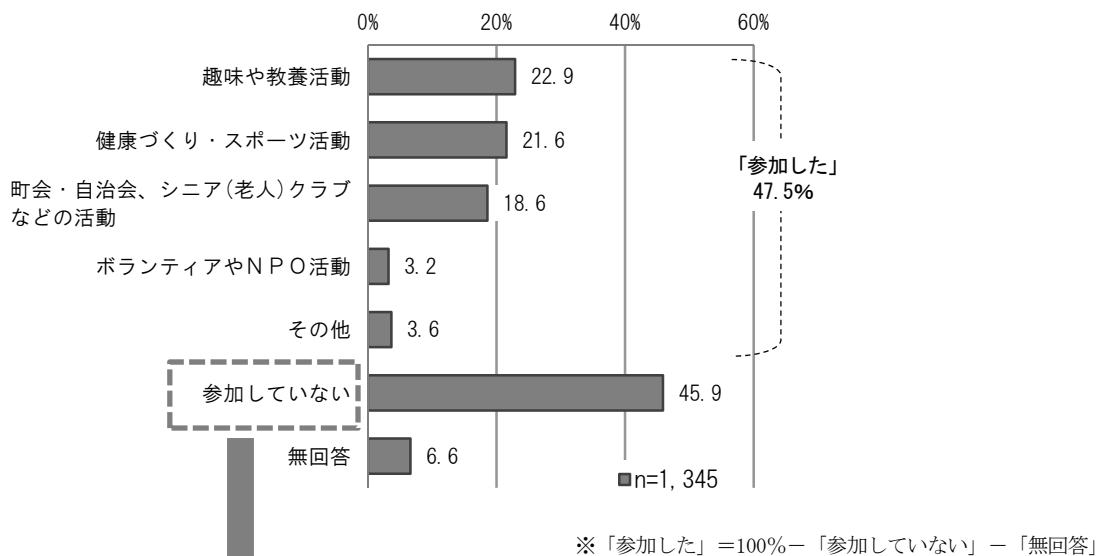
図表 2-32 1週間の外出頻度／年齢別



▶この1年間で地域活動等に「参加した」は47.5%、行った活動は「趣味や教養活動」が22.9%

- ・この1年間に行った趣味やスポーツ、地域活動などは「趣味や教養活動」が22.9%、「健康づくり・スポーツ活動」が21.6%、「町会・自治会、シニア(老人)クラブなどの活動」が18.6%となっている。[図表 2-33]
- ・地域活動等に参加していない理由は、『65～69 歳』『70～74 歳』では「仕事のために時間がない」が最も高く、『75～79 歳』以上の年代では「健康・体力に自信がない」が最も高くなっている。[図表 2-34]

図表 2-33 1年間に行った地域活動等（複数回答）



図表 2-34 地域活動等に参加していない理由／年齢別（複数回答）

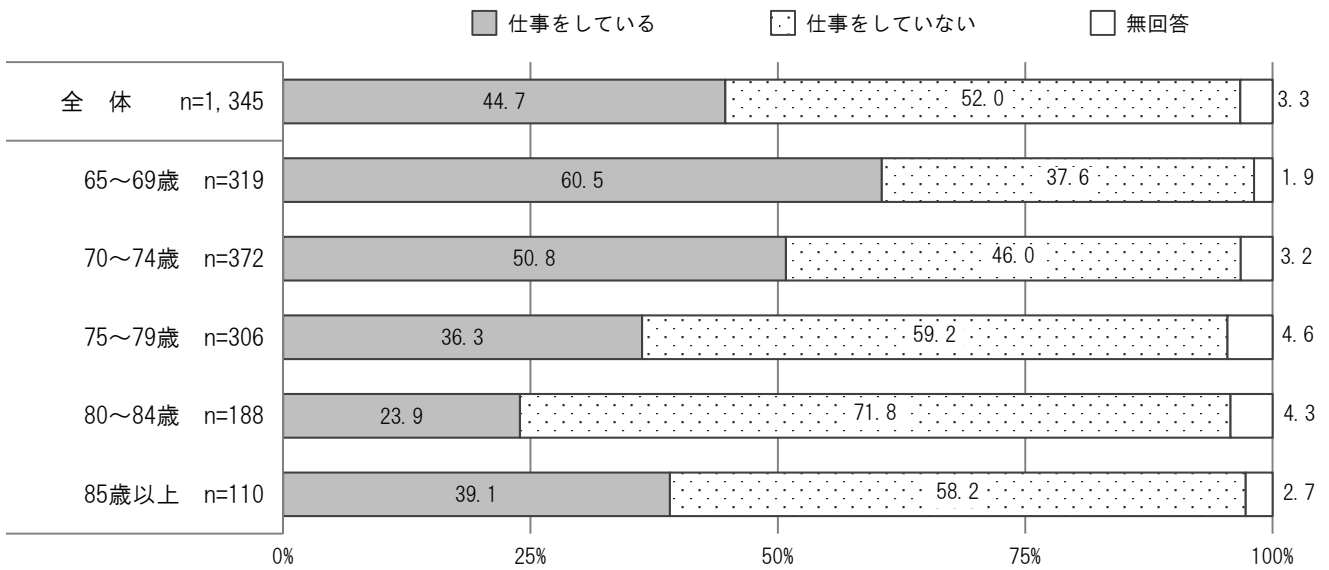
単位：%

項目	回答者数(人)	仕事のために時間がない	介護などで余裕がない	知っている人がいない	情報が入ってこない	きつかけがない	健康・体力に自信がない	興味・関心がない	わずらわしい	その他	特にない	無回答	
		全体	617	29.7	6.5	12.0	12.2	18.5	30.3	10.9	9.7	6.0	14.1
年齢	65～69 歳	147	42.2	8.8	12.9	17.0	19.0	22.4	17.0	15.0	8.2	9.5	-
	70～74 歳	169	36.1	4.1	18.3	15.4	26.0	23.7	11.2	10.1	4.7	10.7	0.6
	75～79 歳	139	26.6	7.9	9.4	8.6	19.4	30.9	7.9	6.5	5.0	17.3	1.4
	80～84 歳	90	11.1	7.8	10.0	8.9	12.2	47.8	5.6	5.6	2.2	18.9	1.1
	85 歳以上	47	12.8	2.1	2.1	4.3	6.4	42.6	10.6	12.8	10.6	23.4	6.4

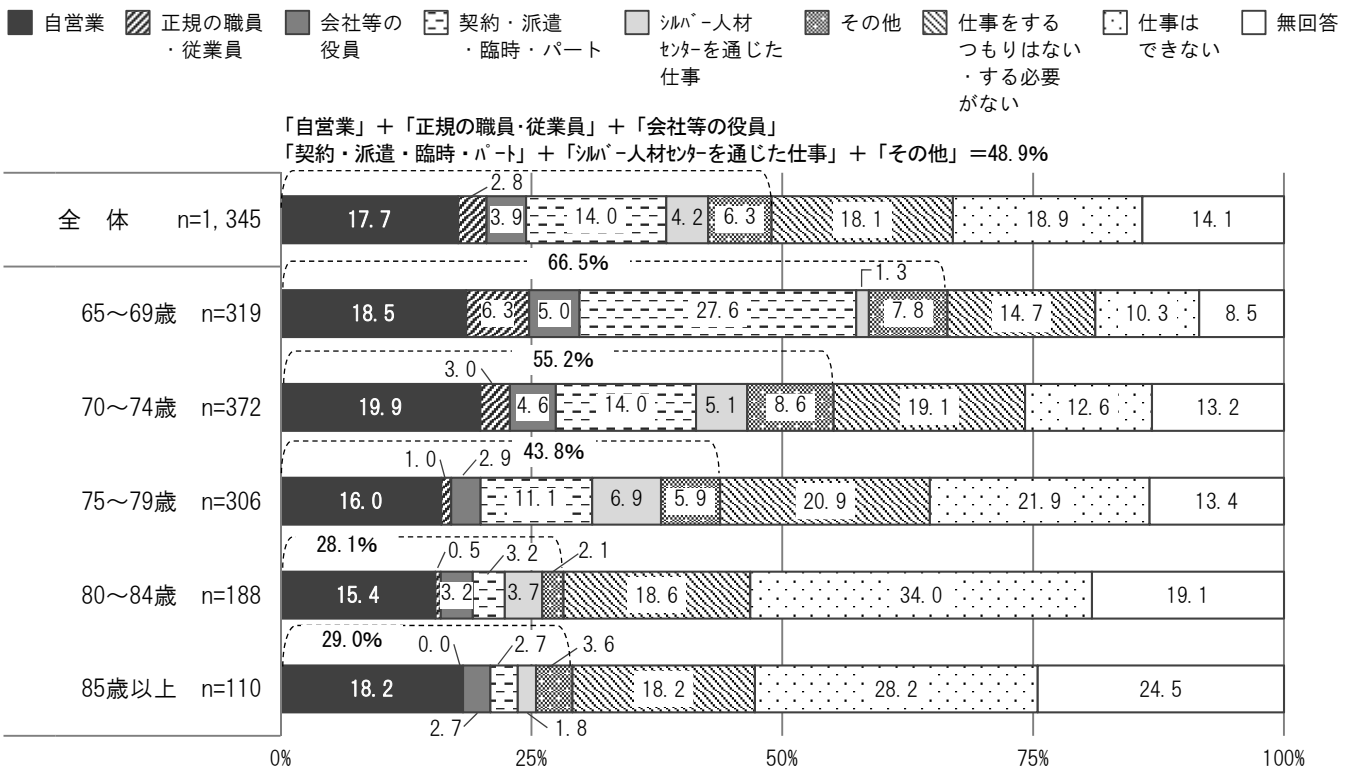
▶ 現在、収入のある「仕事をしている」が44.7%、年齢別では『65～69歳』が60.5%  
 ▶ 今後の就労意向は、「自営業」「正規の職員・従業員」「会社等の役員」「契約・派遣・臨時・パート」「シルバー人材センターを通じた仕事」「その他」を合わせると48.9%

- ・就労状況の「仕事をしている」は、『65～69歳』が60.5%で最も高く、『80～84歳』まで高齢になるにつれて低くなっている。[図表 2-35]
- ・今後の就労意向がある割合は、『65～69歳』が66.5%、『70～74歳』が55.2%、『75～79歳』が43.8%で、『65～69歳』では「契約・派遣・臨時・パート」、その他の年代では「自営業」が最も高い。[図表 2-36]

図表 2-35 就労状況／年齢別



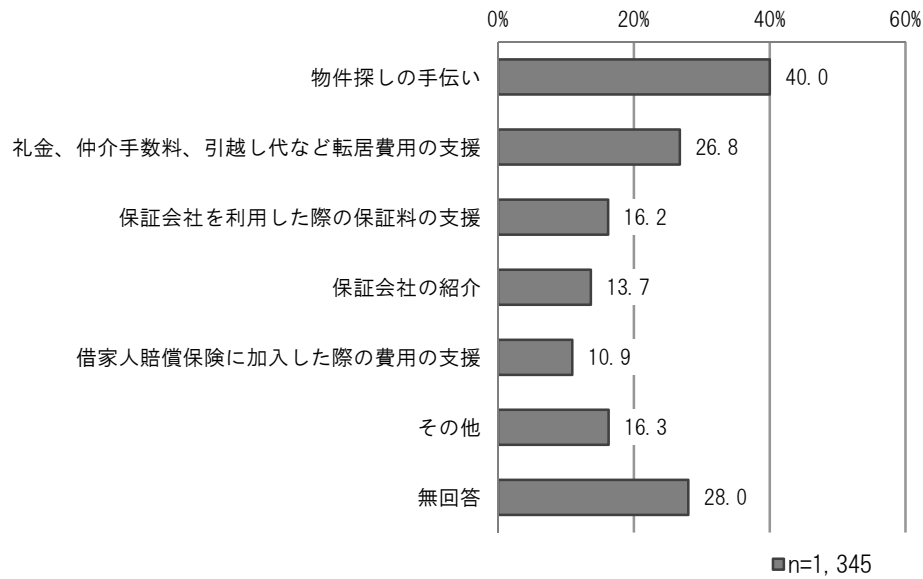
図表 2-36 今後の就労意向／年齢別





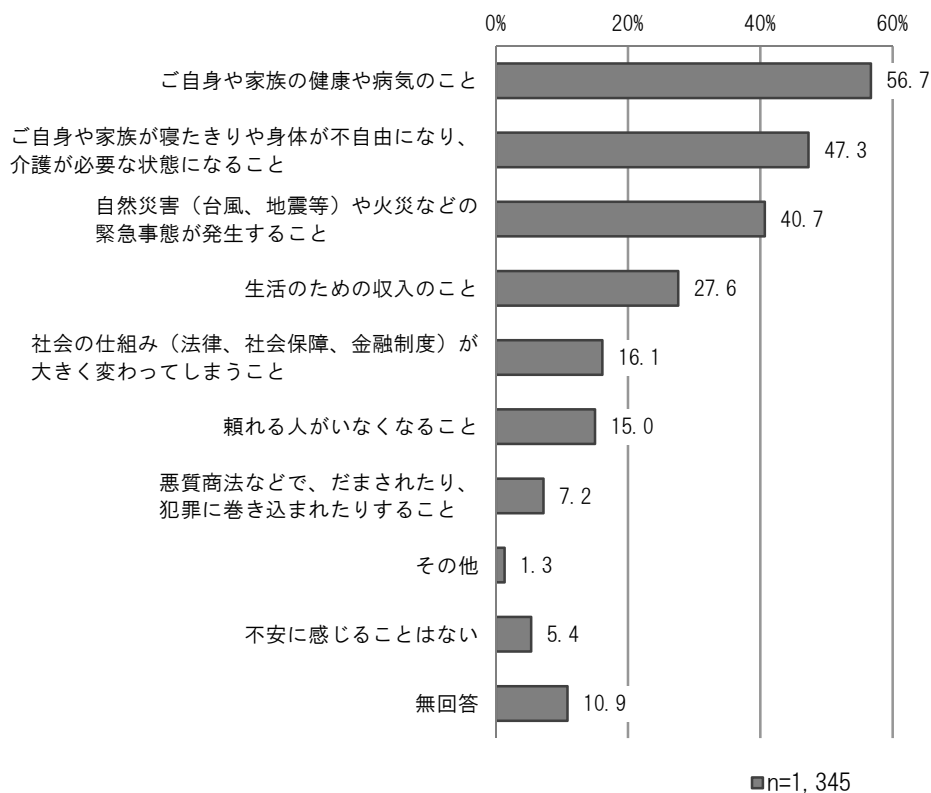
▶ 今後、住み替えが必要となった場合に望む支援は、「物件探しの手伝い」が40.0%

図表 2-37 住み替えが必要な場合に望む支援（複数回答）



▶ 日頃の生活で、不安に感じる点は、「ご自身や家族の健康や病気のこと」が56.7%、「ご自身や家族が寝たきりや身体が不自由になり、介護が必要な状態になること」が47.3%

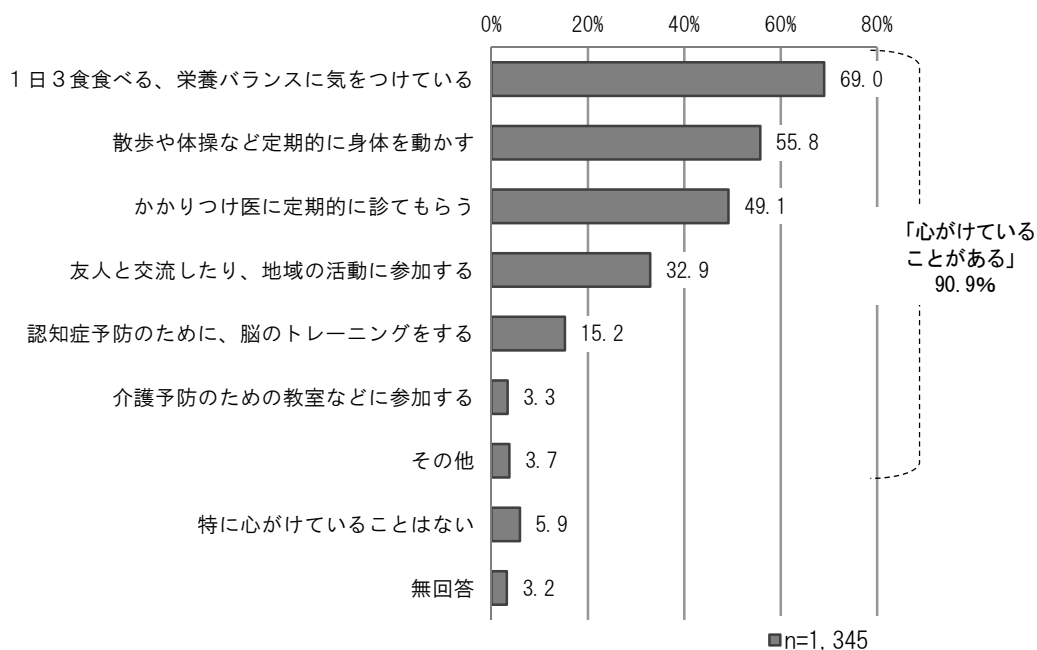
図表 2-38 日頃の生活で、不安に感じる点（複数回答）



- ▶ 介護が必要にならないために「心がけていることがある」が 90.9%
- ▶ 介護予防教室に「参加してみたい」は 63.5%

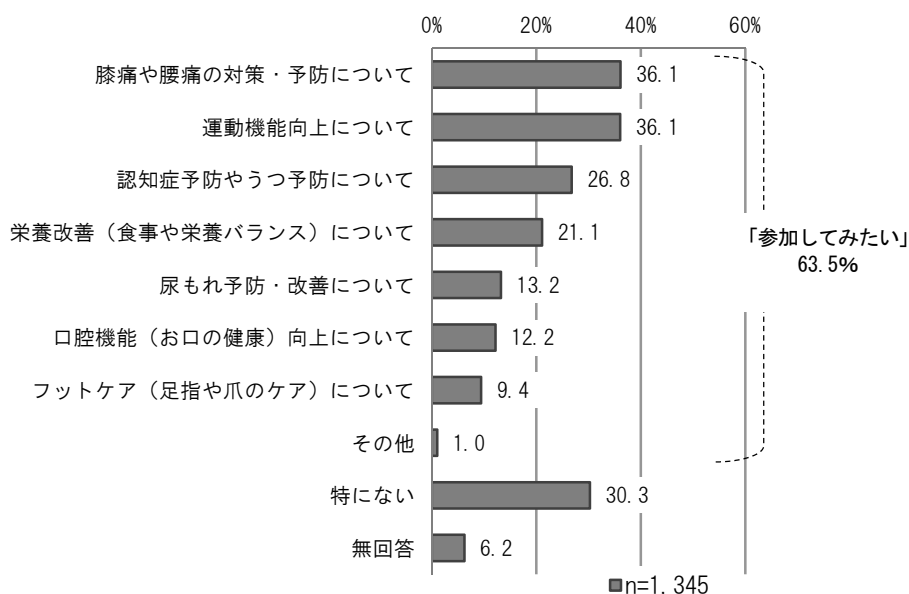
- ・ 介護が必要にならないために心がけていることは、「1日3食食べる、栄養バランスに気をつけている」が 69.0%で最も高く、次いで「散歩や体操など定期的に身体を動かす」が 55.8%、「かかりつけ医に定期的に診てもらおう」が 49.1%となっている。[図表 2-39]
- ・ 介護予防教室に参加してみたい人は 63.5%で、そのうち参加してみたい教室は「膝痛や腰痛の対策・予防について」「運動機能向上について」がともに 36.1%、「認知症予防やうつ予防について」が 26.8%となっている。[図表 2-40]

図表 2-39 介護が必要にならないために心がけていること（複数回答）



※「心がけていることがある」=100%−「特に心がけていることはない」−「無回答」

図表 2-40 参加してみたい介護予防教室（複数回答）

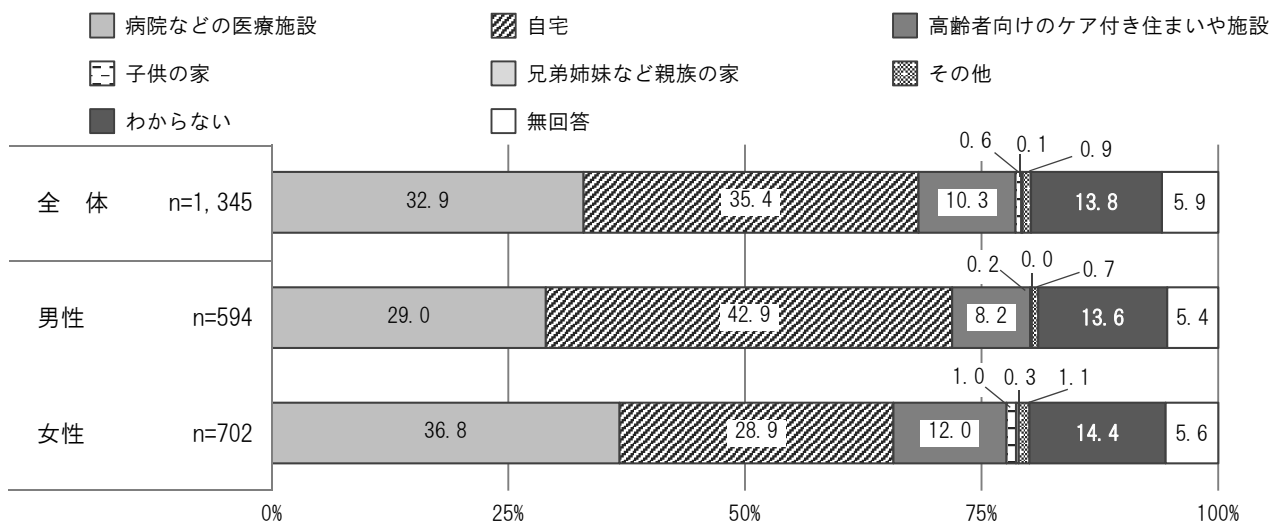


※「参加してみたい」=100%−「特にない」−「無回答」

▶ 病気などで人生の最期を迎えるときに過ごしたい場所は、「自宅」が35.4%、「病院などの医療施設」は32.9%

- ・病気などで人生の最期を迎えるときに過ごしたい場所は、「自宅」が35.4%で最も高く、次いで「病院などの医療施設」が32.9%、「高齢者向けのケア付き住まいや施設」が10.3%となっている。[図表 2-41]
- ・性別でみると、『男性』は「自宅」が42.9%、『女性』は「病院などの医療施設」が36.8%で最も高い。[図表 2-41]

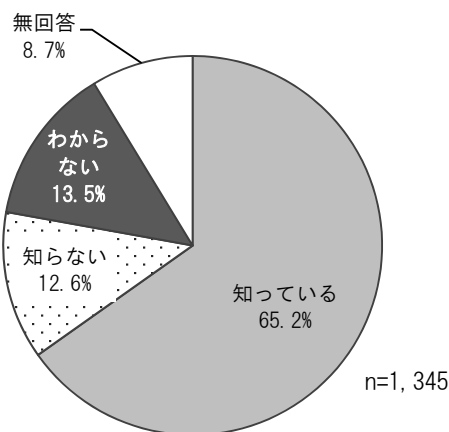
図表 2-41 病気などで人生の最期を迎えるときに過ごしたい場所／性別



▶ 介護保険制度のしくみを「知っている」は65.2%

- ・介護保険制度のしくみを「知っている」は65.2%、「知らない」が12.6%となっている。[図表 2-42]

図表 2-42 介護保険制度のしくみの認知度



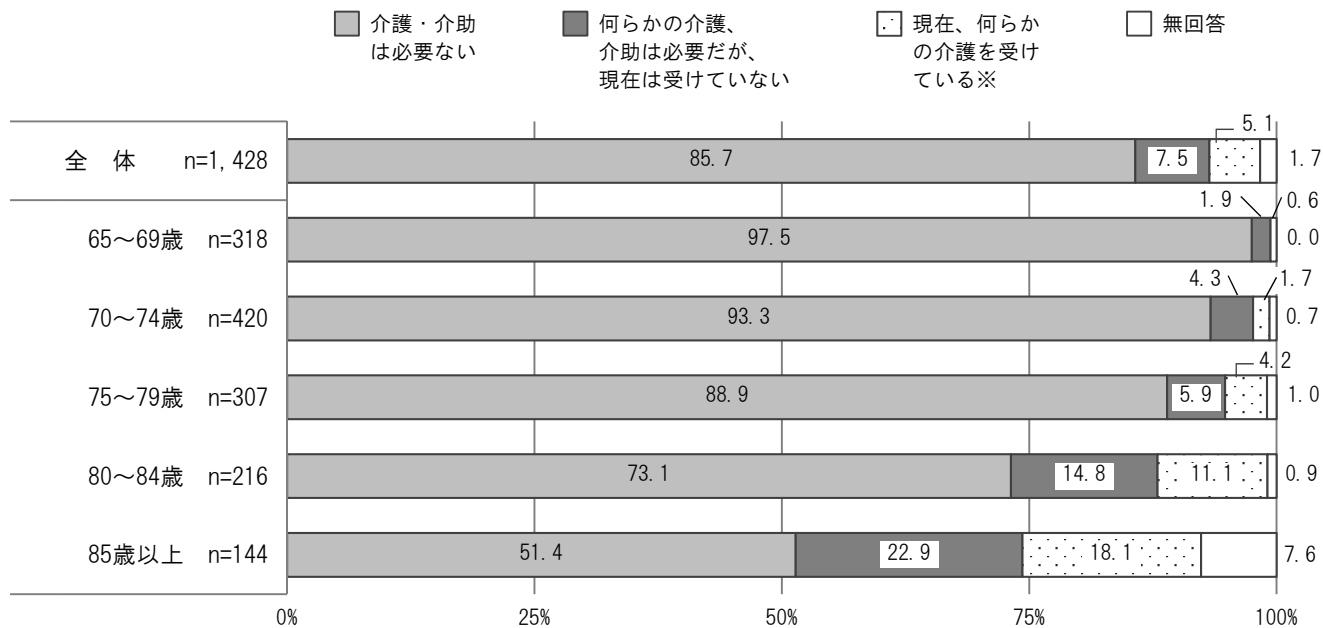
## IV 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

「n」は各設問に該当する回答者の総数(人)であり、回答率(%)の母数をあらわしている。

ニーズ調査は、地域の要支援認定者・総合事業対象者・一般高齢者の地域課題を把握するため、国が示す調査項目を用いて実施した。

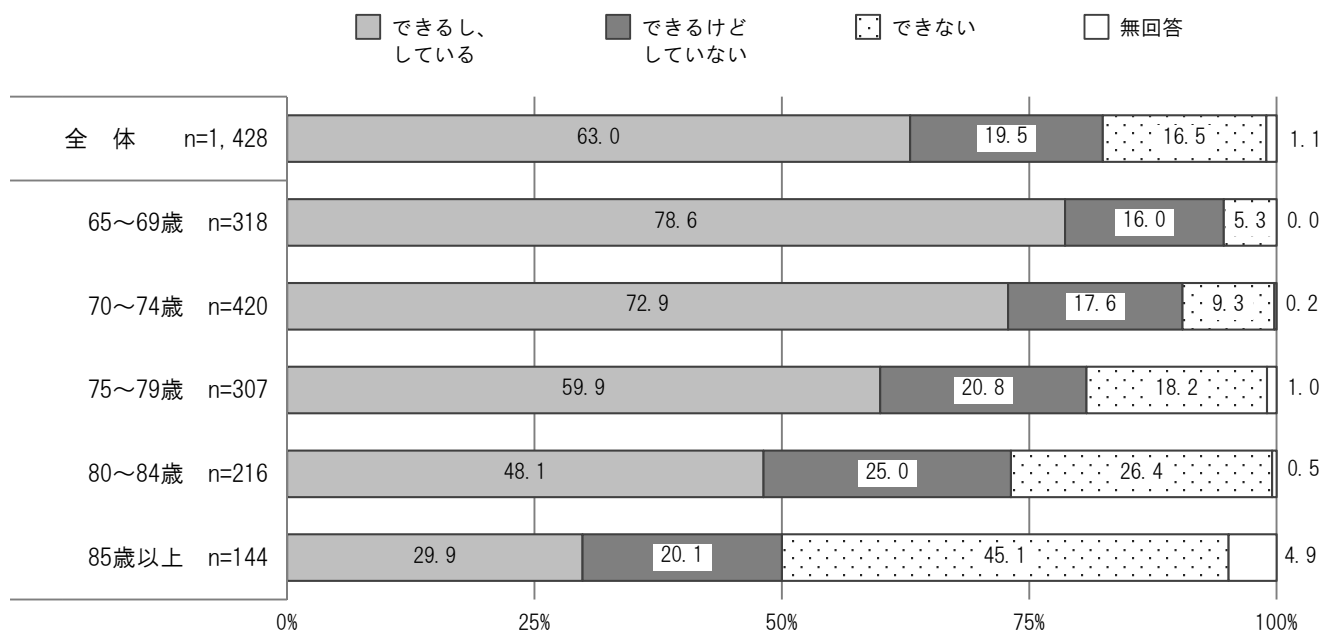
- ▶ 介護・介助の状況は、「介護・介助は必要ない」が85.7%
- ▶ 階段を手すりや壁をつたわずに昇ることが「できるし、している」は63.0%

図表 2-43 介護・介助の状況／年齢別



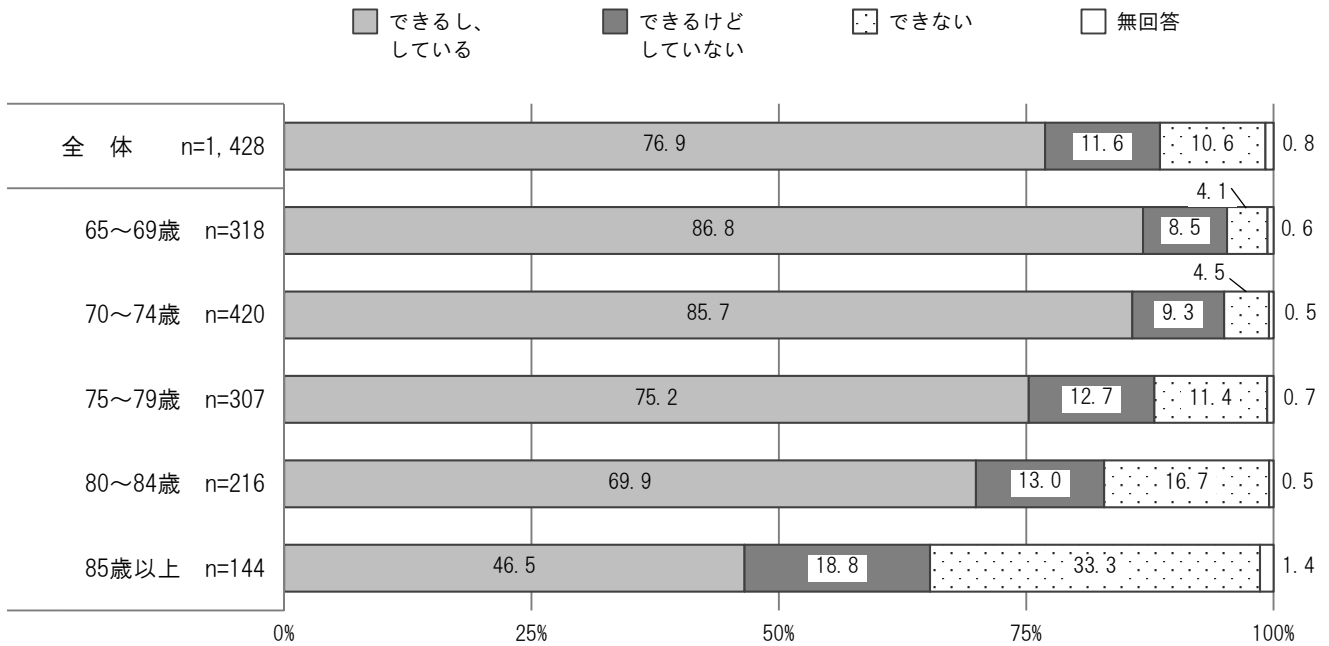
※現在、何らかの介護を受けている＝現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

図表 2-44 階段を手すりや壁をつたわずに昇る／年齢別

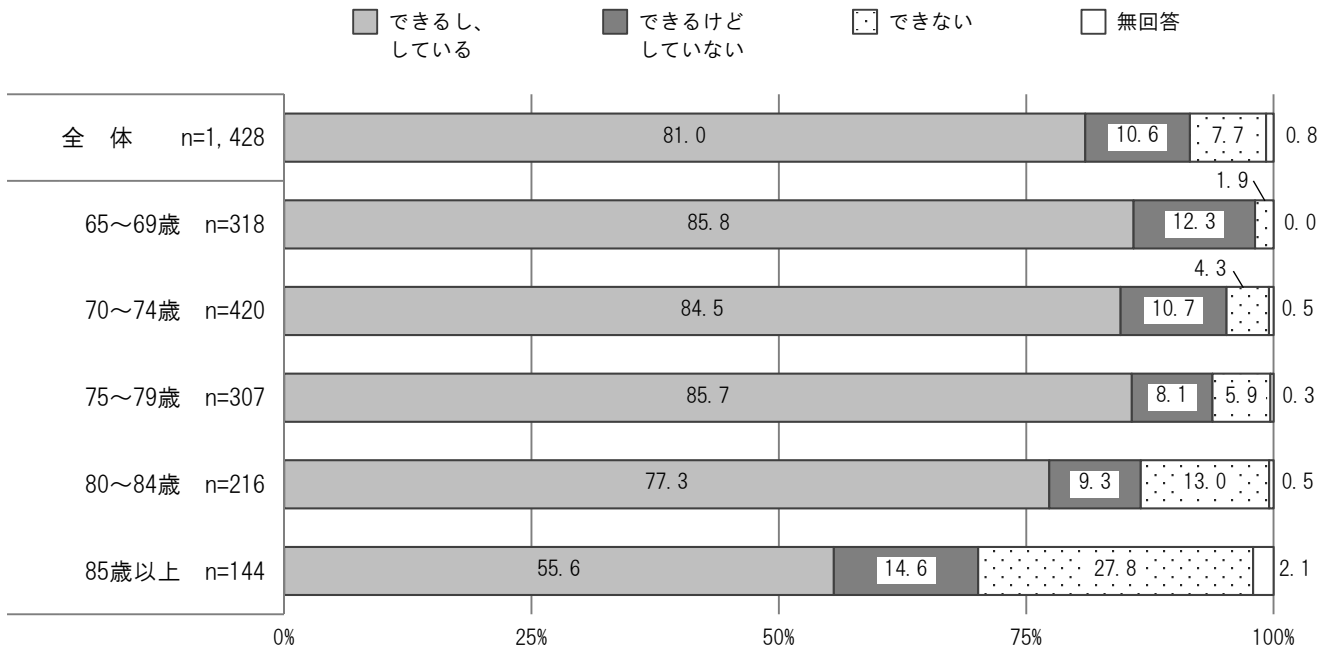


▶椅子から何もつかまらずに立ち上がることが「できるし、している」は76.9%  
 ▶15分位続けて歩くことが「できるし、している」は81.0%

図表 2-45 椅子から何もつかまらずに立ち上がる／年齢別

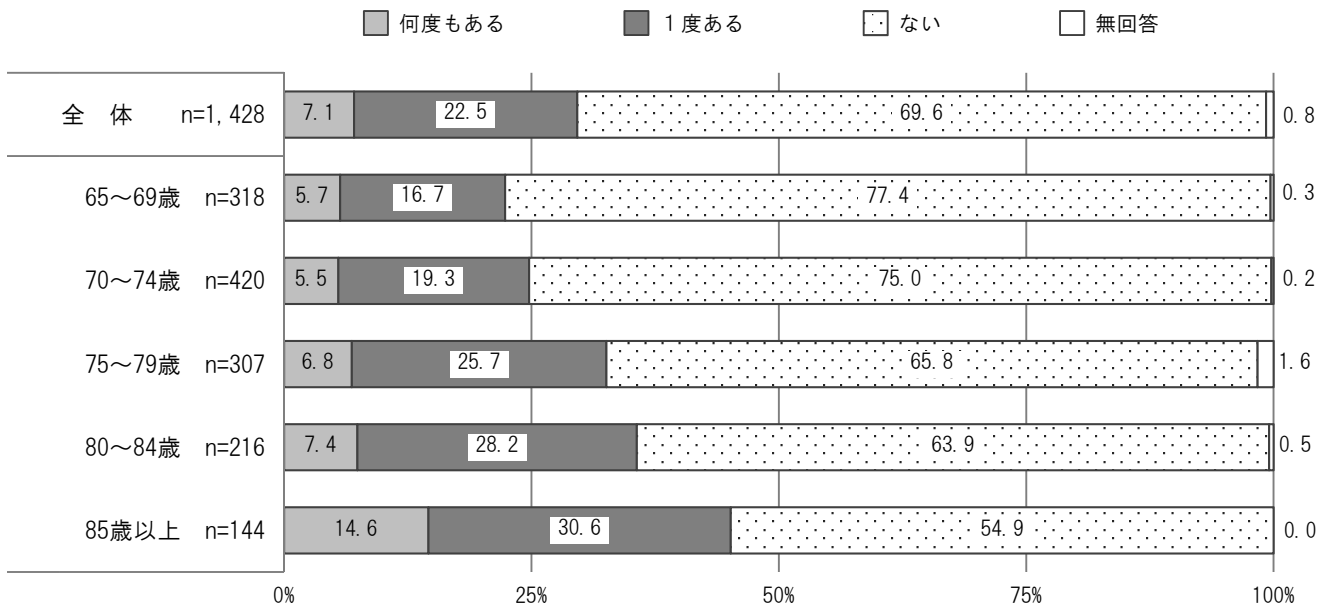


図表 2-46 15分位続けて歩く／年齢別

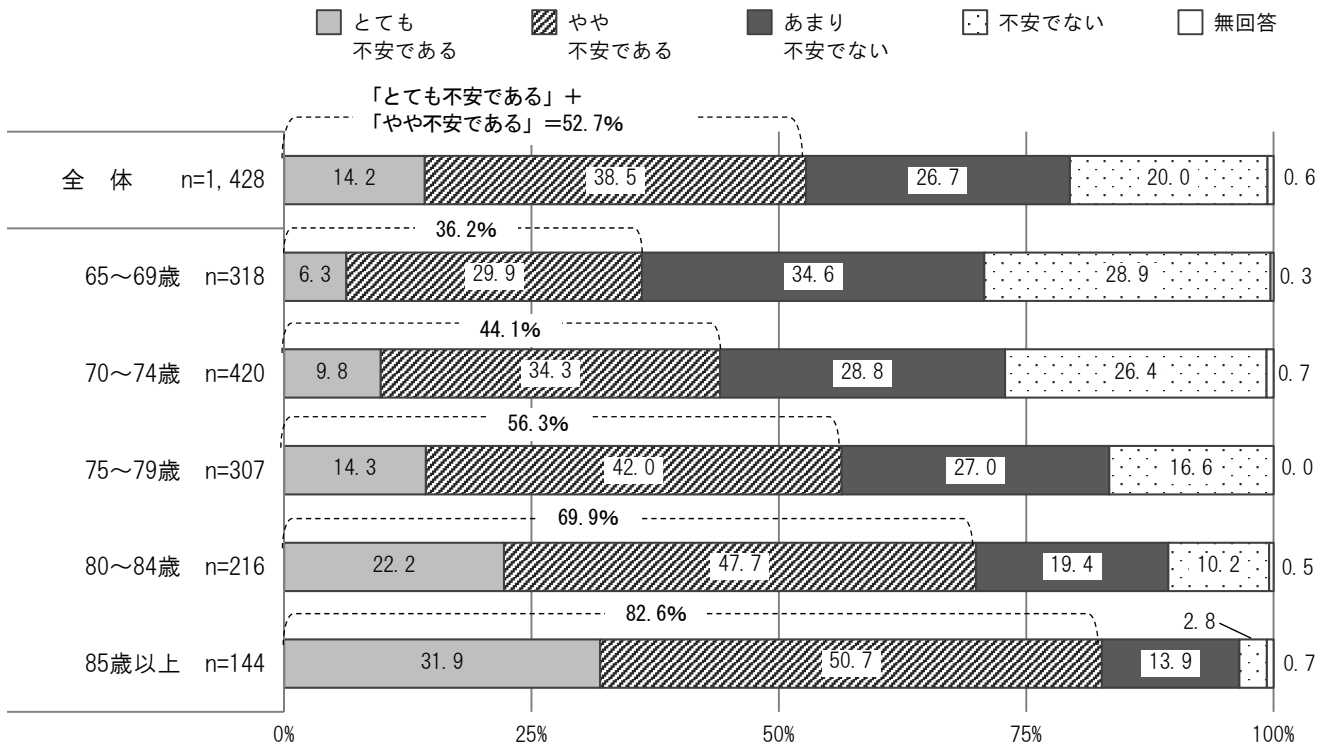


▶過去1年間に転んだ経験が「ない」は69.6%  
 ▶転倒に対する不安は「とても不安である」「やや不安である」を合わせると52.7%

図表 2-47 過去1年間に転んだ経験／年齢別

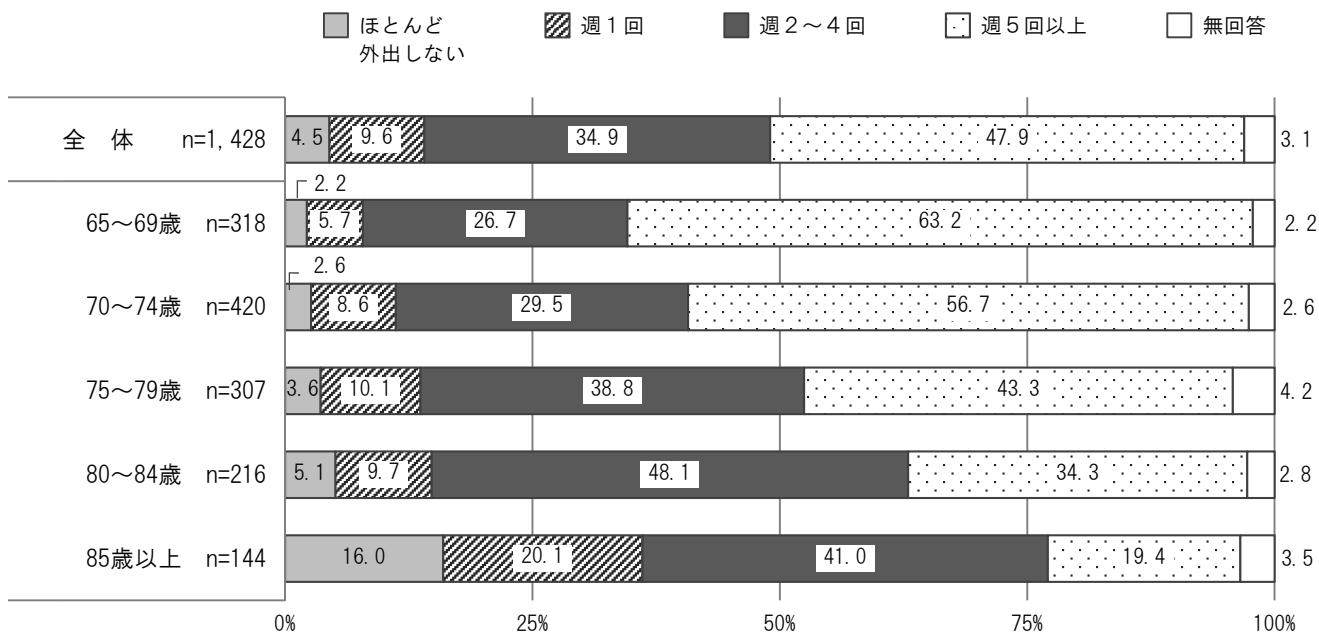


図表 2-48 転倒に対する不安が大きい／年齢別

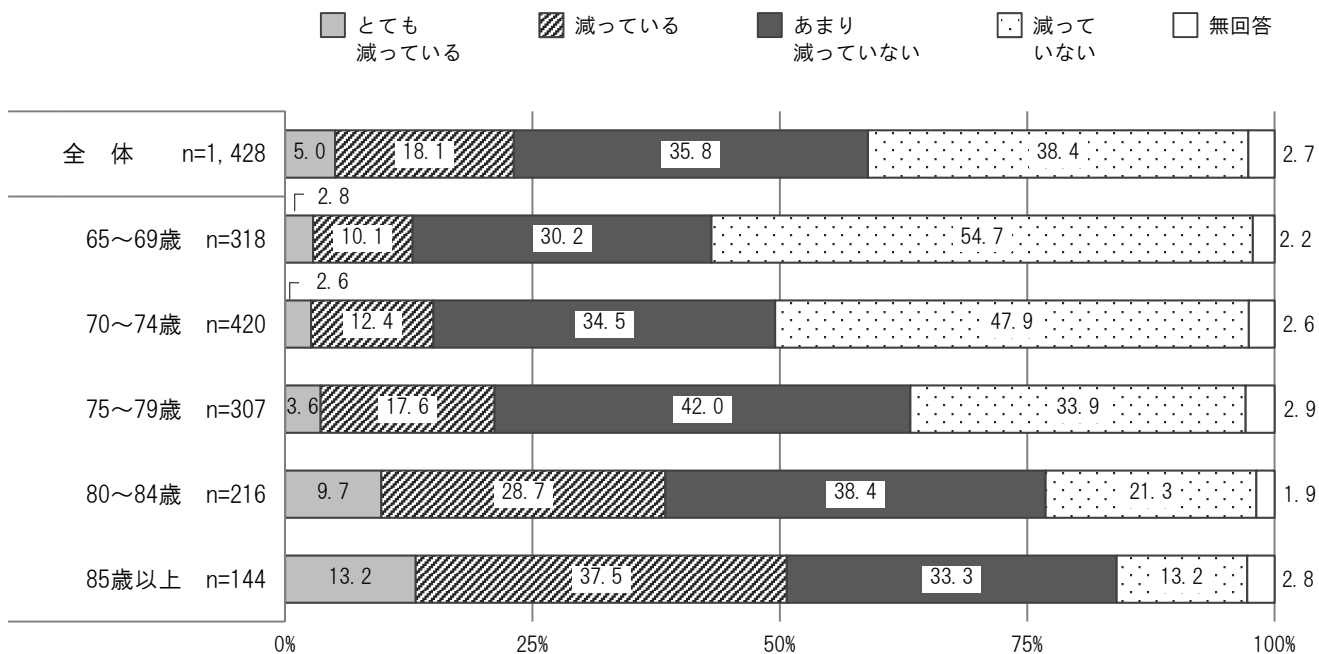


▶ 週の外出状況は、「週5回以上」が47.9%、「週2～4回」が34.9%  
 ▶ 昨年の外出回数と比べると「減っていない」が38.4%、「あまり減っていない」は35.8%

図表 2-49 週1回以上外出している／年齢別

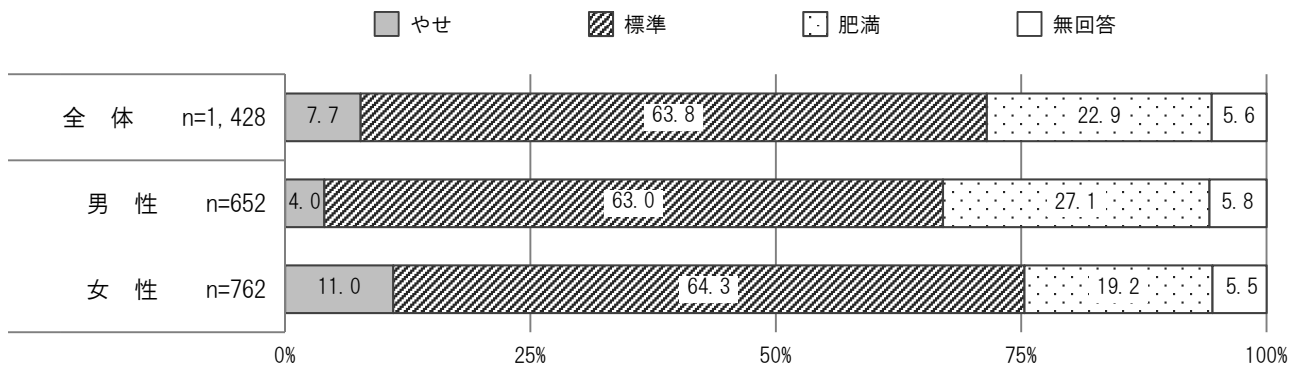


図表 2-50 昨年と比べて外出回数が減った／年齢別

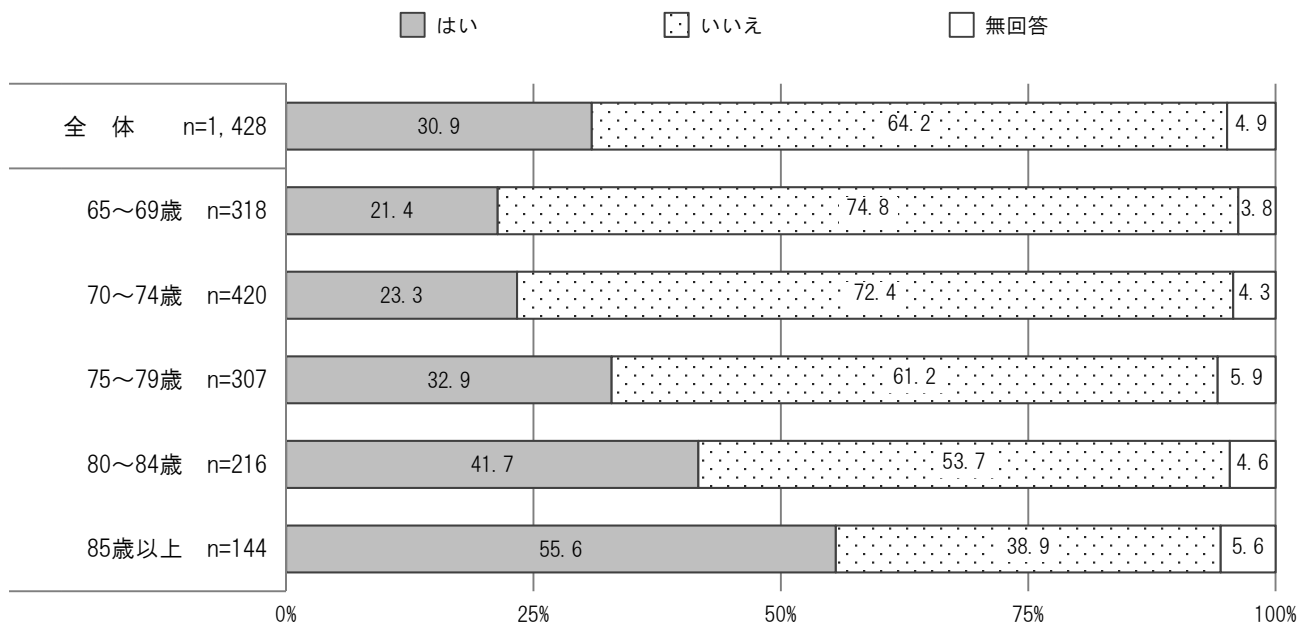


- ▶ 体格の判定は、「やせ」は『男性』が4.0%、『女性』は11.0%、「肥満」は、男性が27.1%、女性は19.2%
- ▶ 半年前より固いものが食べにくくなったかでは、「いいえ」が64.2%

図表 2-51 体格の判定／性別



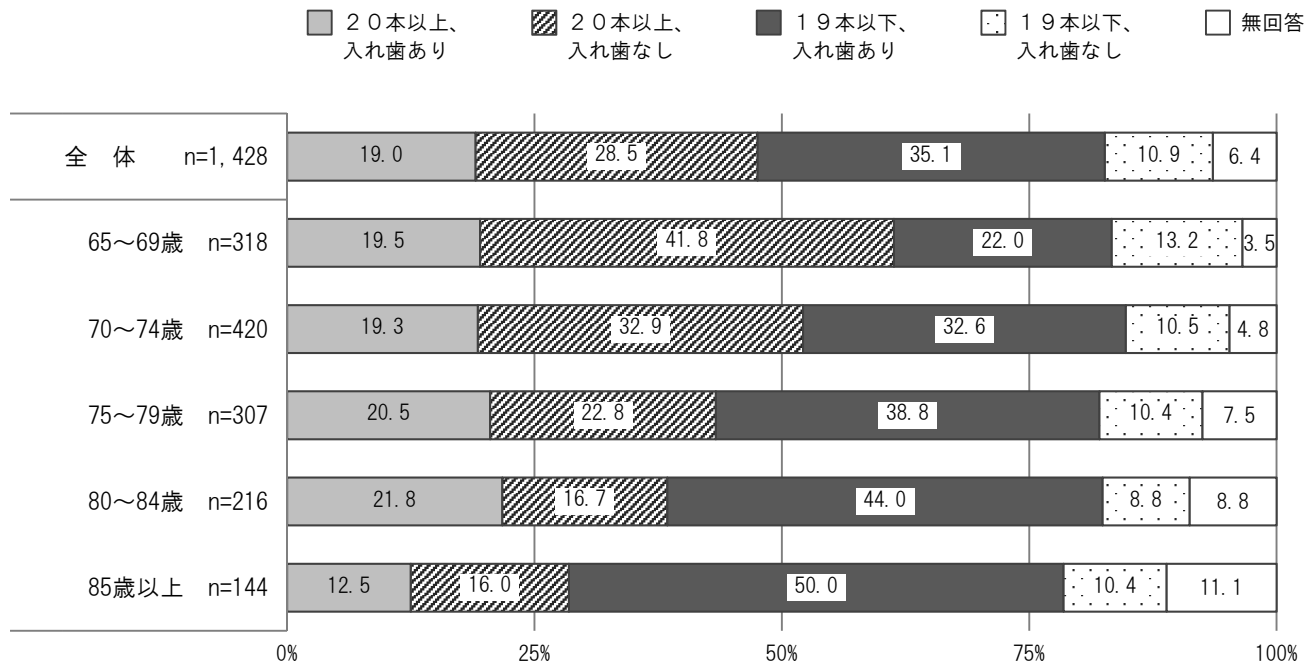
図表 2-52 半年前に比べて固いものが食べにくくなった／年齢別



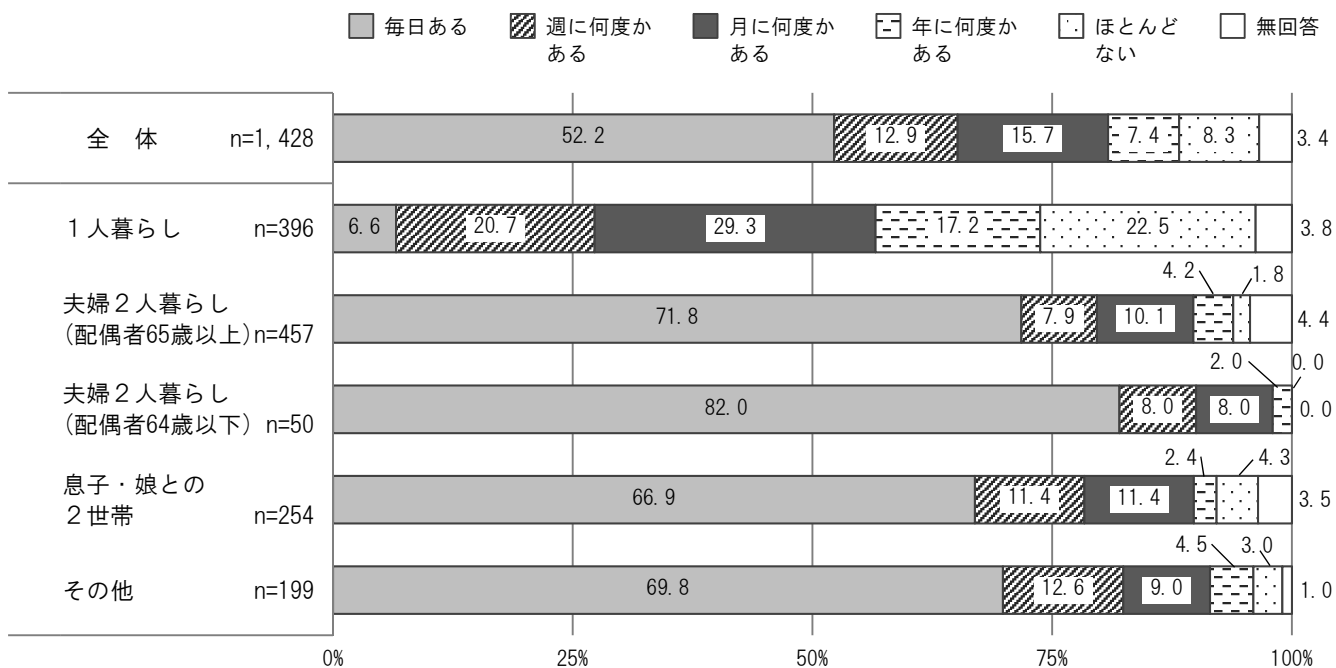


- ▶ 自分の歯の数と入れ歯の状況は、「19本以下、入れ歯あり」が35.1%、「20本以上、入れ歯なし」が28.5%
- ▶ どなたかと食事をとにもする機会は、「毎日ある」が52.2%、「ほとんどない」は8.3%

図表 2-53 自分の歯の数と入れ歯の利用状況／年齢別

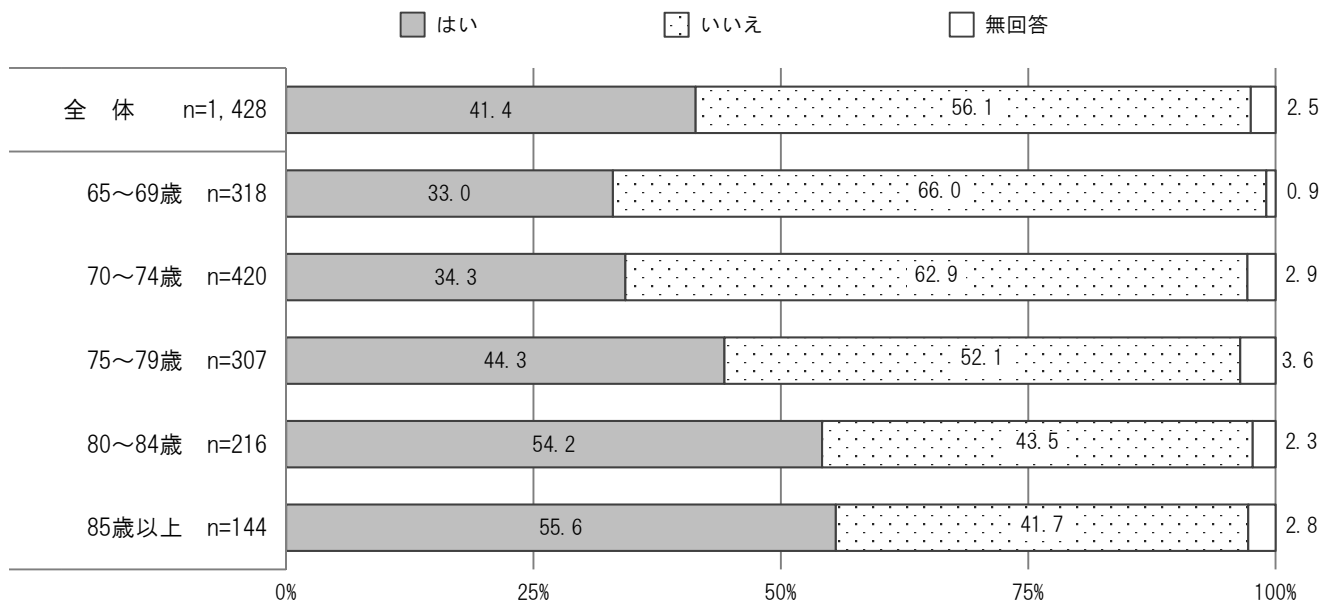


図表 2-54 どなたかと食事をとにもする機会／家族構成別

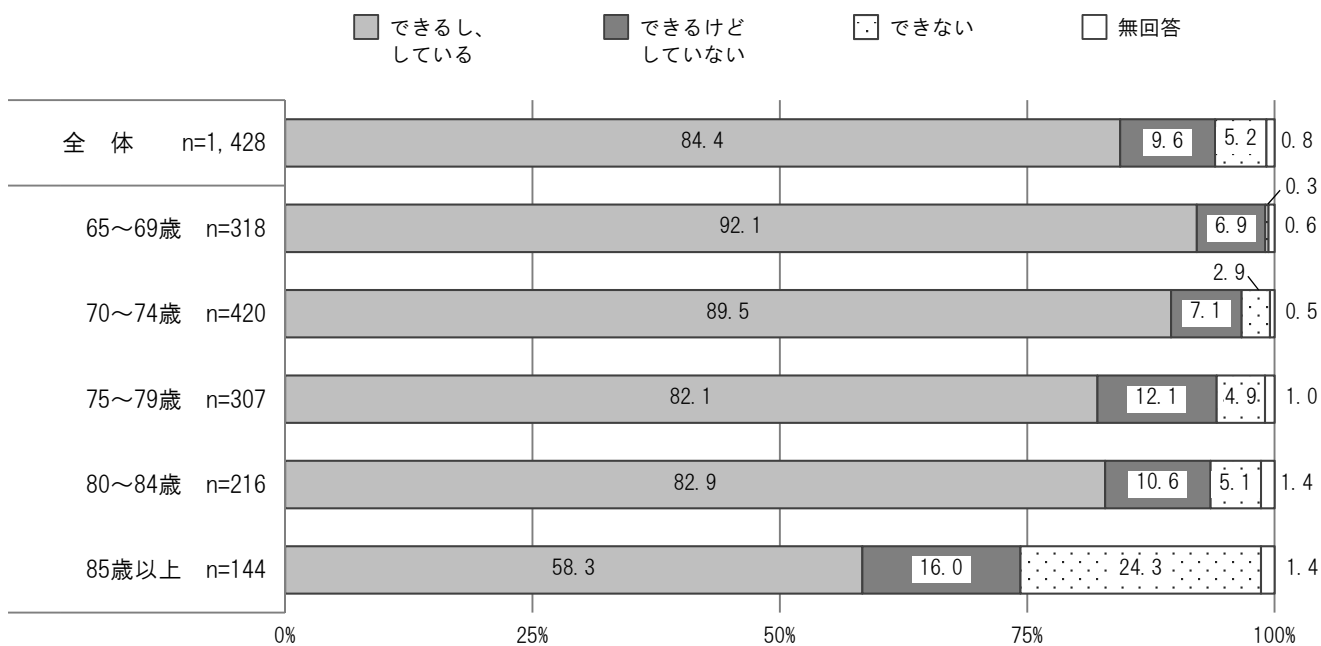


- ▶物忘れが多いと感じるかでは、「いいえ」が56.1%
- ▶バスや電車で1人での外出が「できるし、している」は84.4%、「できるけどしていない」は9.6%

図表 2-55 物忘れが多いと感じる／年齢別

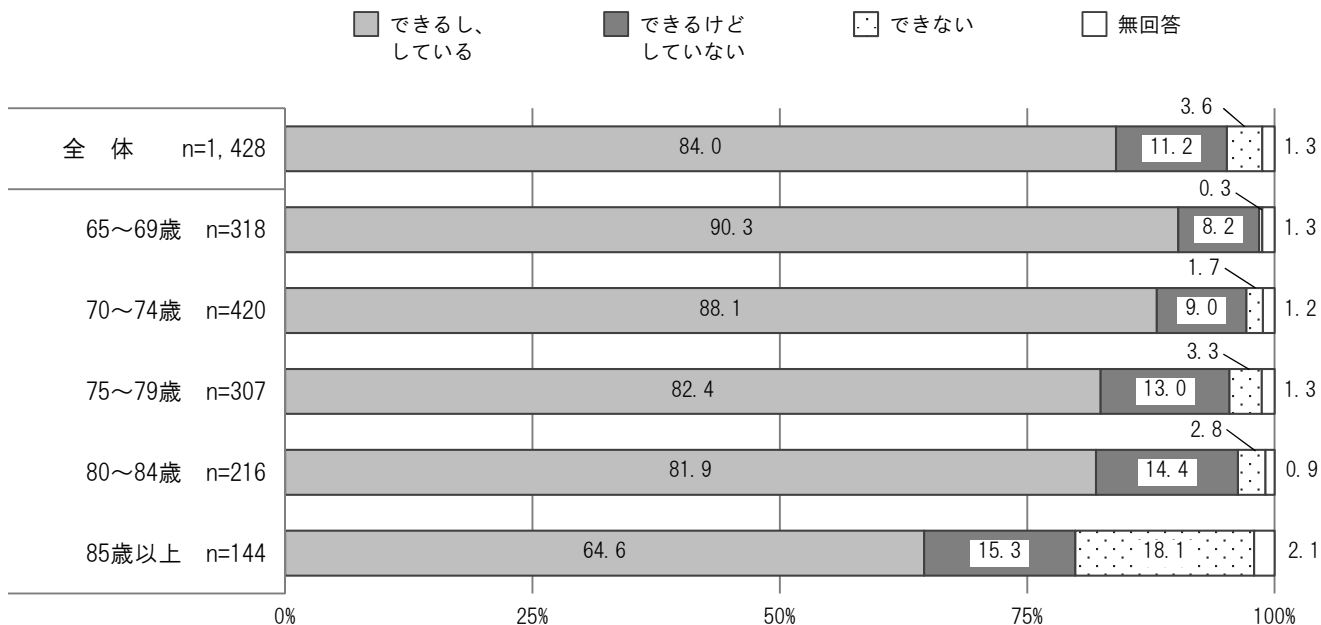


図表 2-56 バスや電車で1人で外出する／年齢別

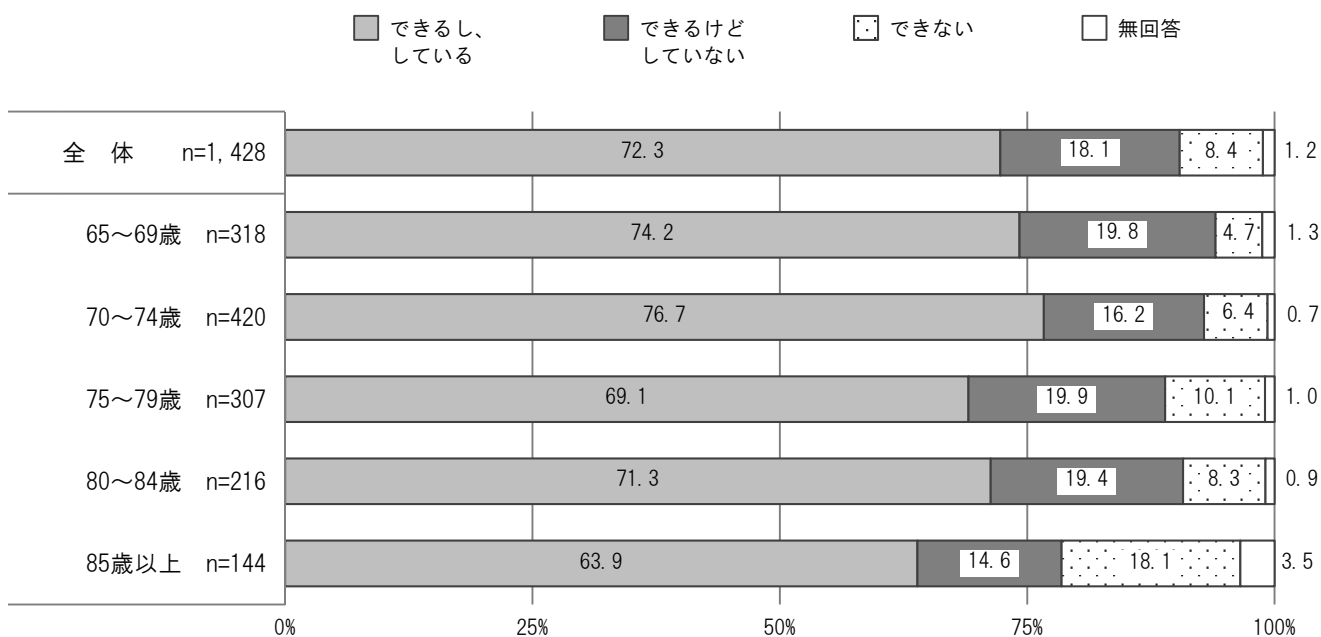


- ▶ 自分で食品・日用品の買い物が「できるし、している」は 84.0%、「できるけどしていない」は 11.2%
- ▶ 自分で食事の用意が「できるし、している」は 72.3%、「できるけどしていない」は 18.1%

図表 2-57 自分で食品・日用品の買い物をする／年齢別

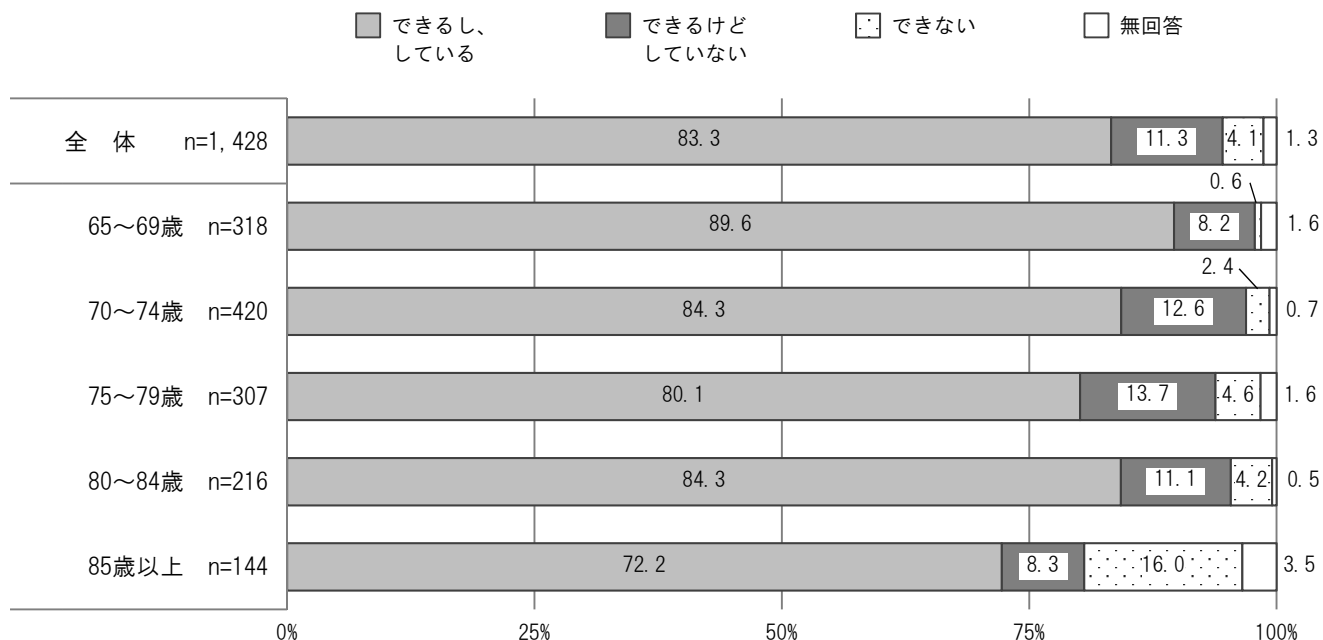


図表 2-58 自分で食事の用意をする／年齢別

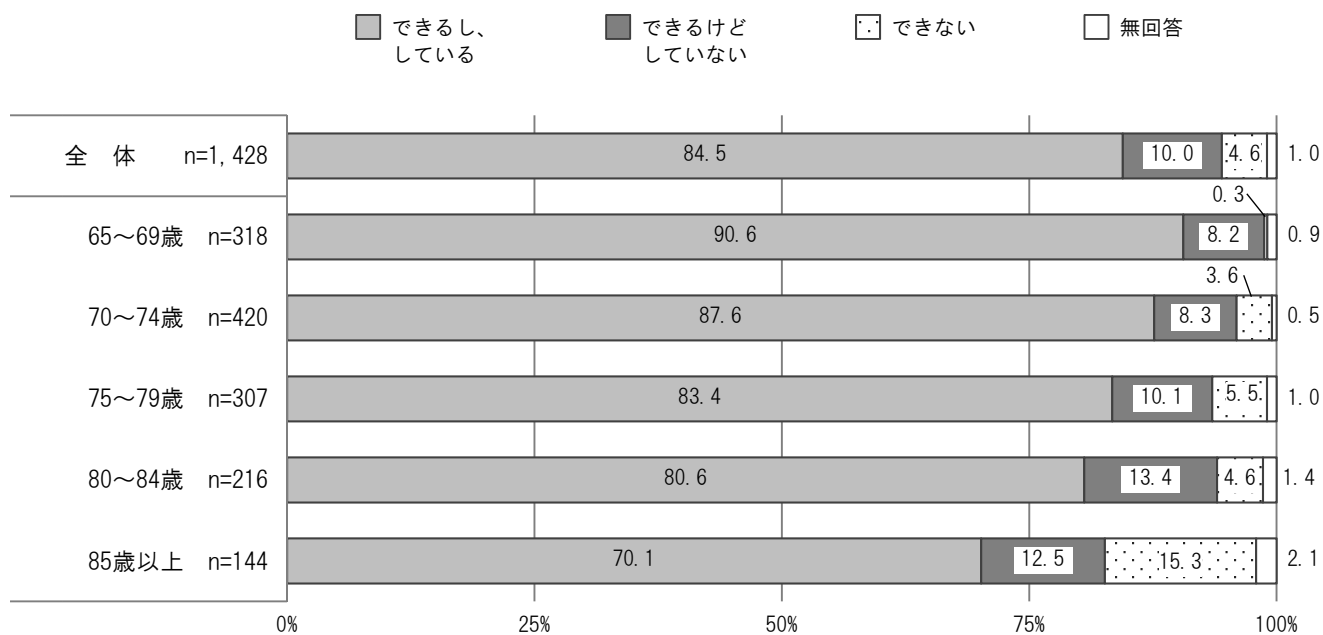


- ▶ 自分で請求書の支払いが「できるし、している」は 83.3%、「できるけどしていない」は 11.3%
- ▶ 自分で預貯金の出し入れが「できるし、している」は 84.5%、「できるけどしていない」は 10.0%

図表 2-59 自分で請求書の支払いをする／年齢別

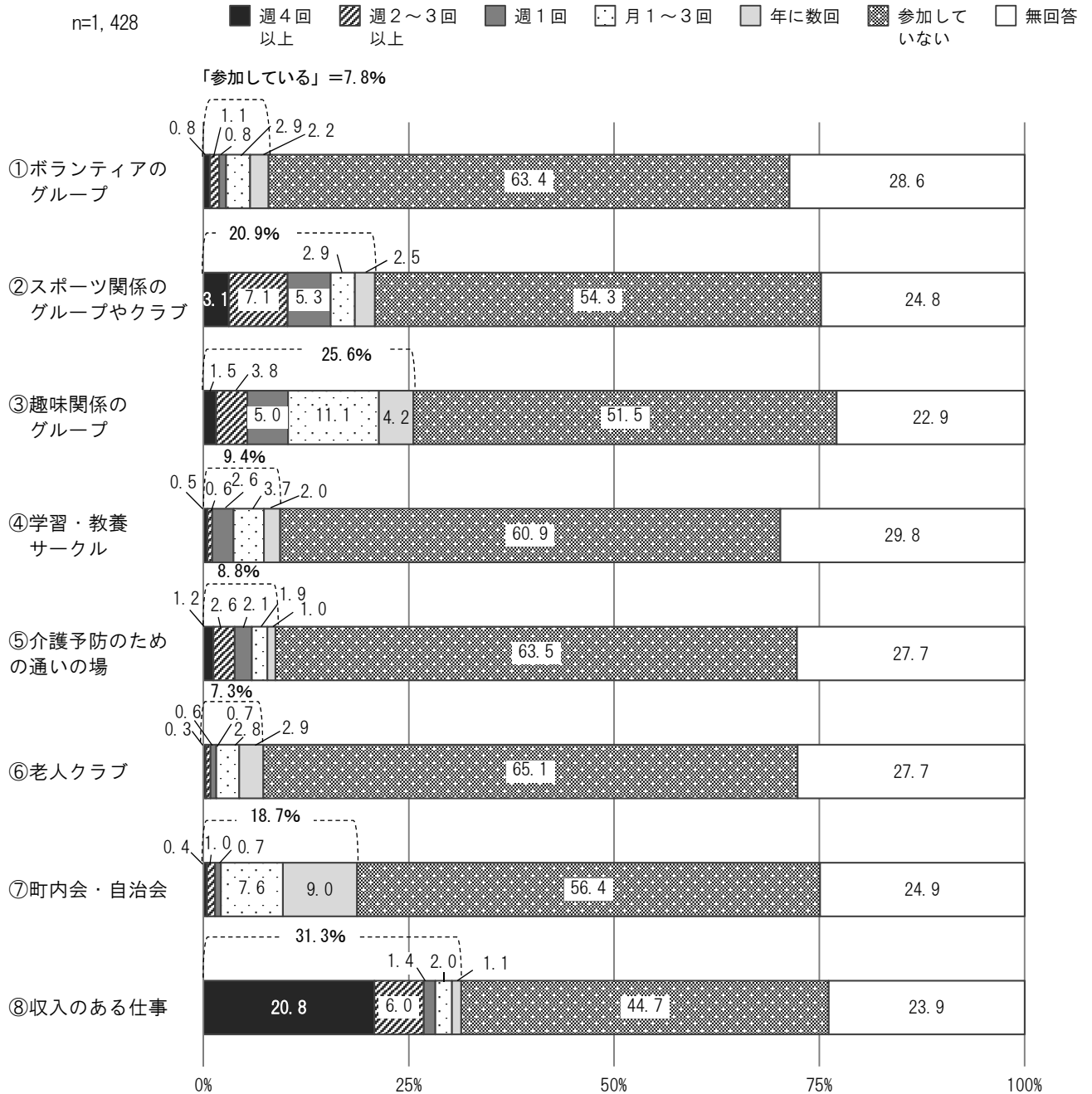


図表 2-60 自分で預貯金の出し入れをする／年齢別



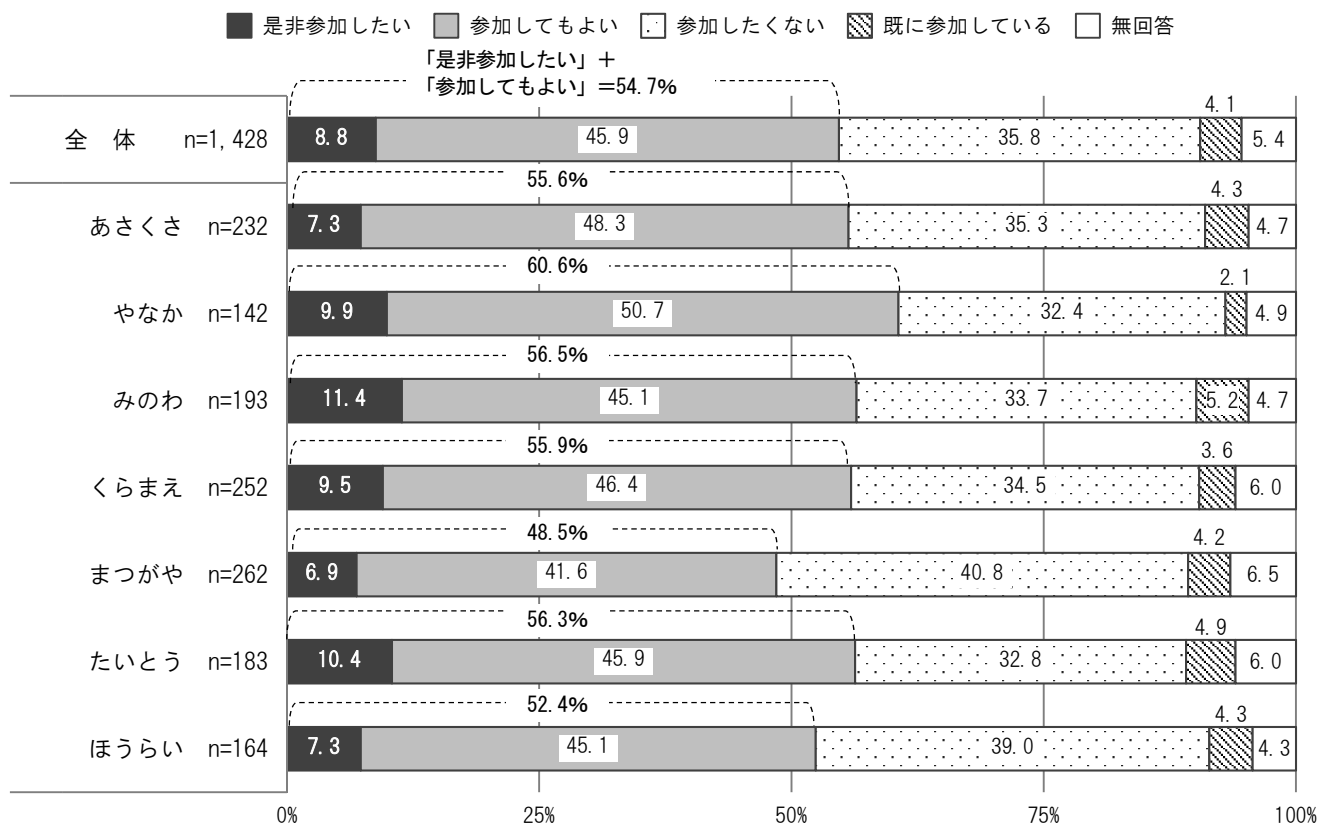
▶地域での活動で参加している会・グループ等は「ボランティアのグループ」が7.8%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が20.9%、「趣味関係のグループ」が25.6%、「学習・教養サークル」が9.4%、「介護予防のための通いの場」が8.8%、「老人クラブ」が7.3%、「町内会・自治会」が18.7%、「収入のある仕事」が31.3%

図表 2-61 会・グループ等への参加頻度



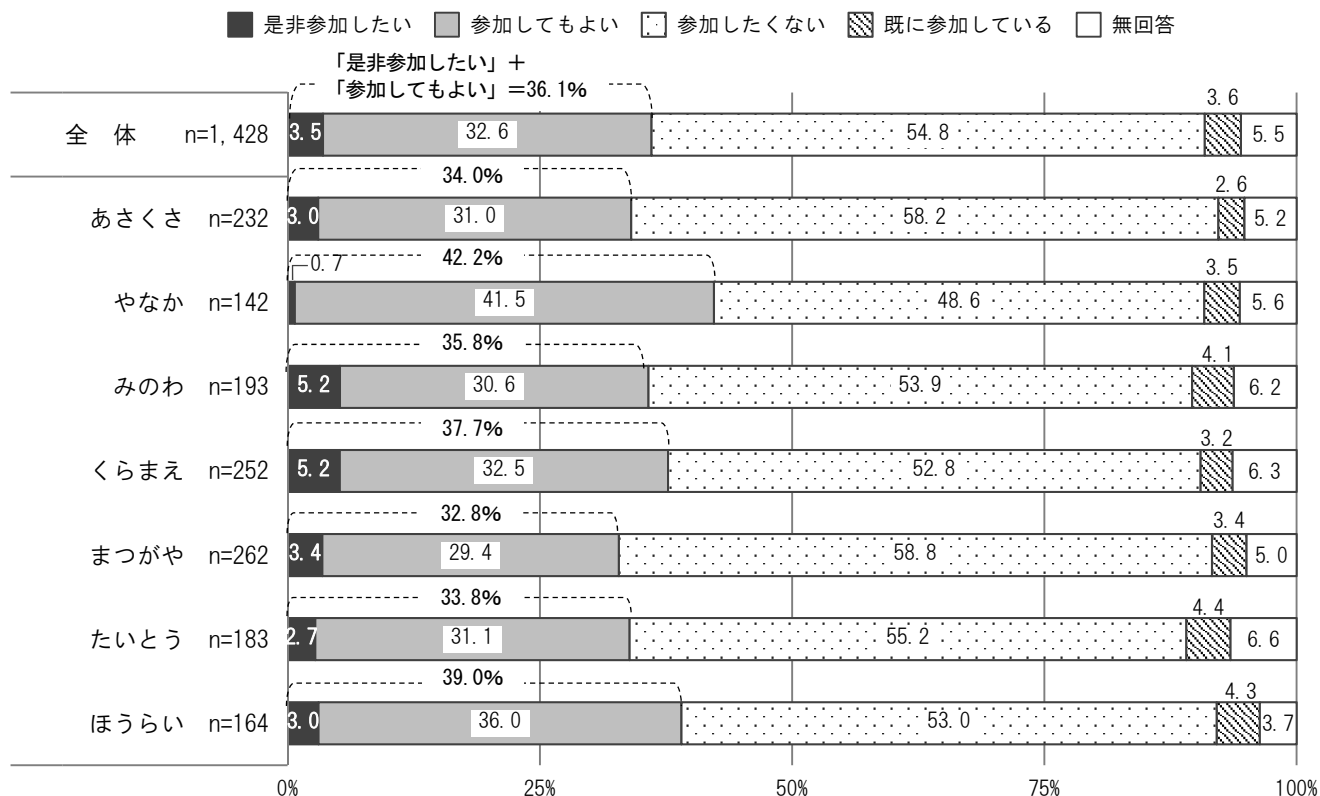
▶地域活動への参加者としての参加意向は、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると54.7%

図表 2-62 地域活動の参加者としての参加意向／地域包括支援センター別



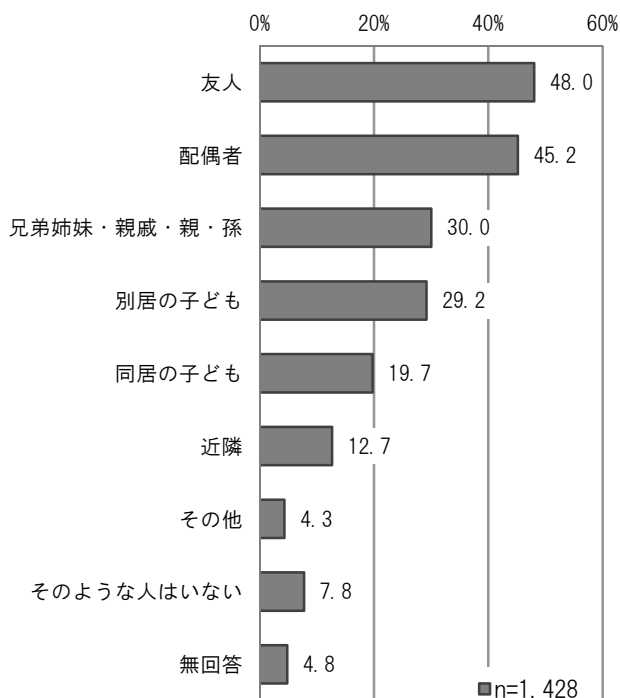
▶地域活動の企画・運営（世話役）としての参加意向は、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせると36.1%、「既に参加している」は3.6%

図表 2-63 地域活動の企画・運営（世話役）としての参加意向／地域包括支援センター別

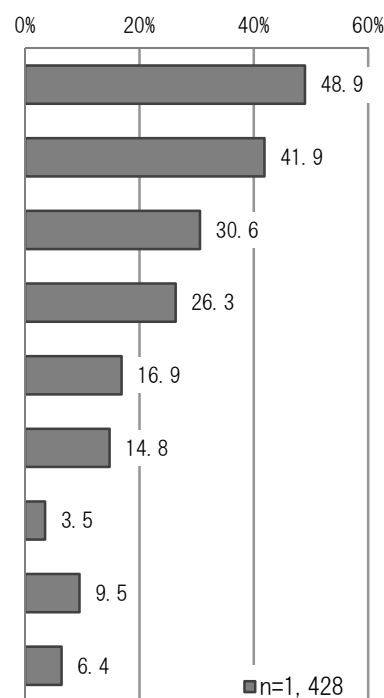


- ▶ 心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「友人」が48.0%、「そのような人はいない」は7.8%
- ▶ 心配事や愚痴を聞いてあげる人は、「友人」が48.9%、「そのような人はいない」は9.5%

図表 2-64 心配事や愚痴を聞いてくれる人  
(複数回答)

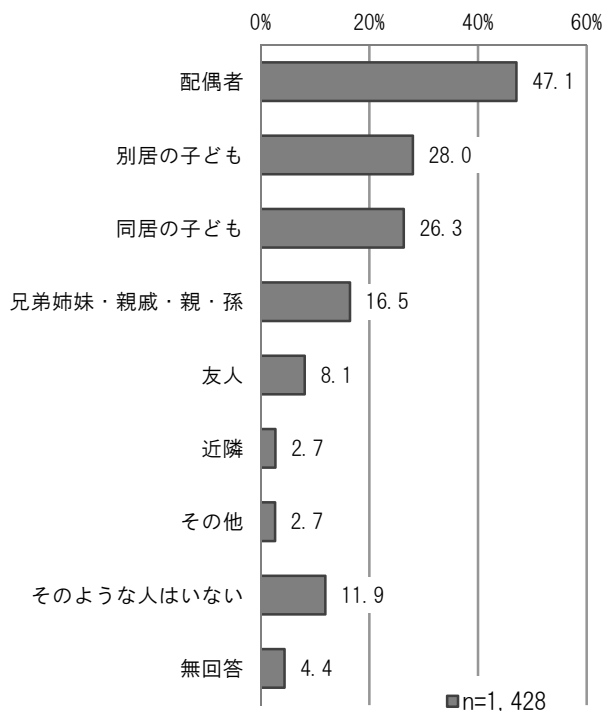


図表 2-65 心配事や愚痴を聞いてあげる人  
(複数回答)

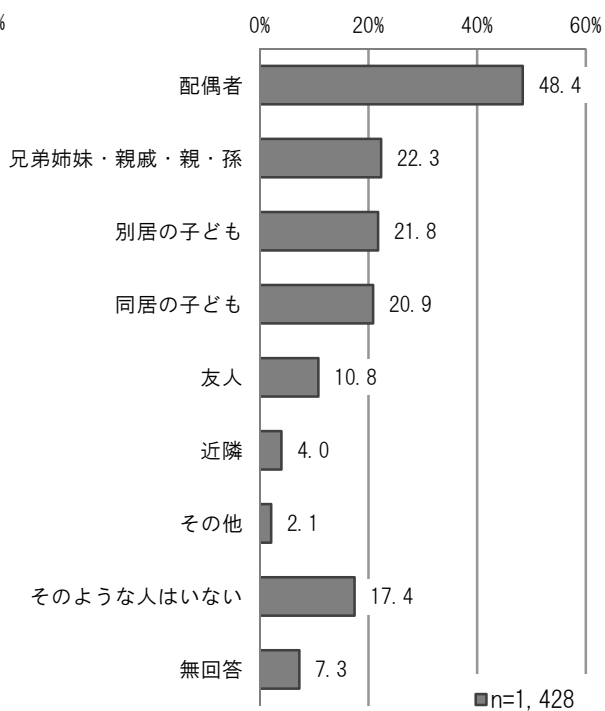


- ▶ 看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」が47.1%、「そのような人はいない」は11.9%
- ▶ 看病や世話をしてあげる人は、「配偶者」が48.4%、「そのような人はいない」は17.4%

図表 2-66 看病や世話をしてくれる人  
(複数回答)

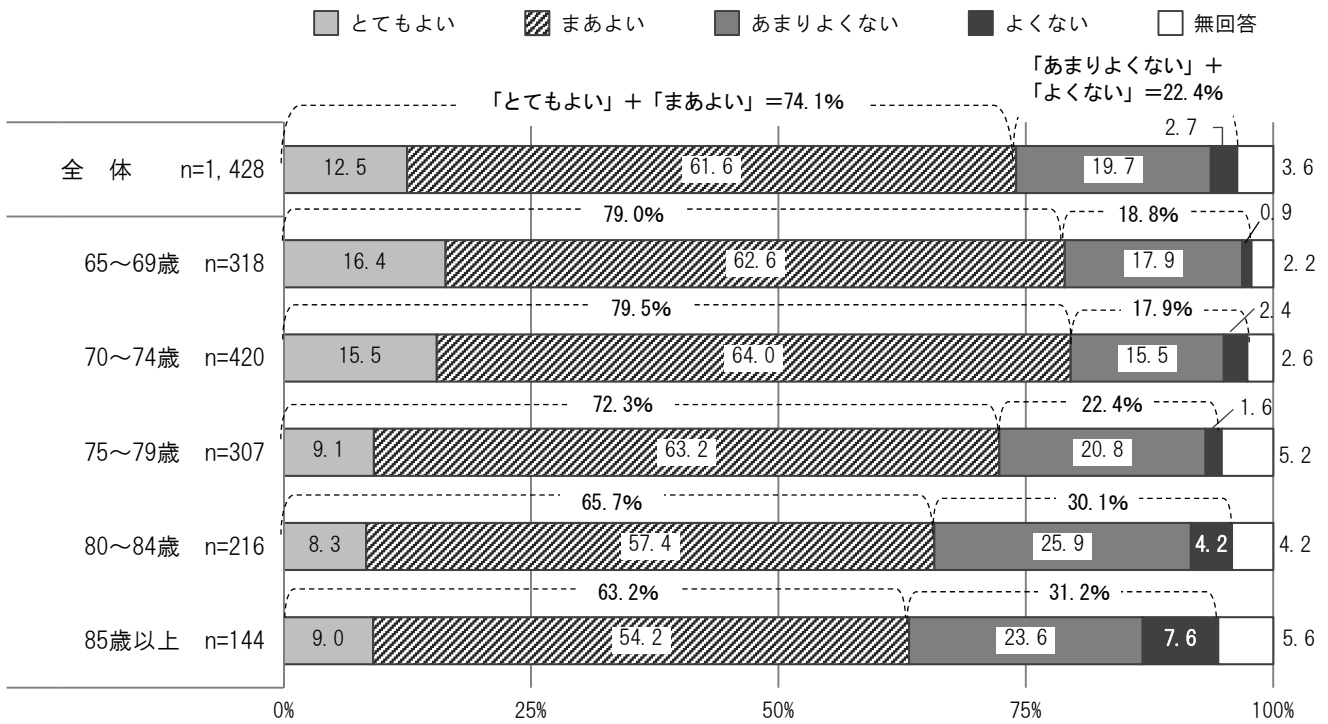


図表 2-67 看病や世話をしてあげる人  
(複数回答)



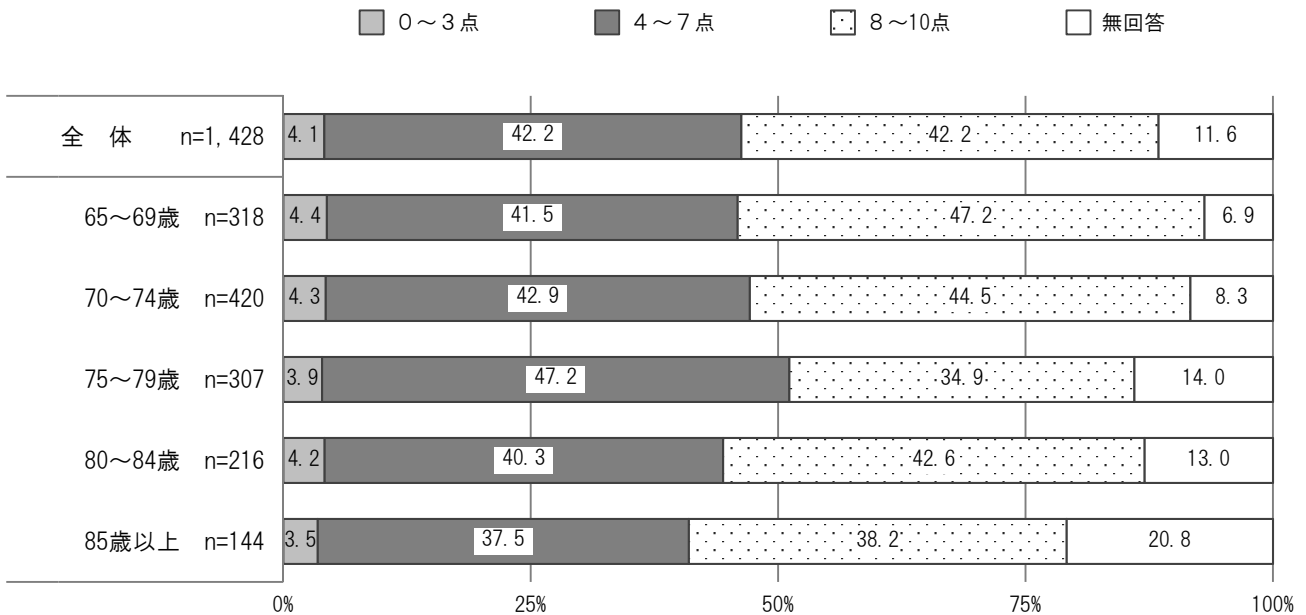
▶健康状態は、「とてもよい」「まあよい」を合わせると74.1%

図表 2-68 健康状態／年齢別



▶幸福感（10点満点）は、「4～7点」「8～10点」がともに42.2%

図表 2-69 幸福感（10点満点）／年齢別





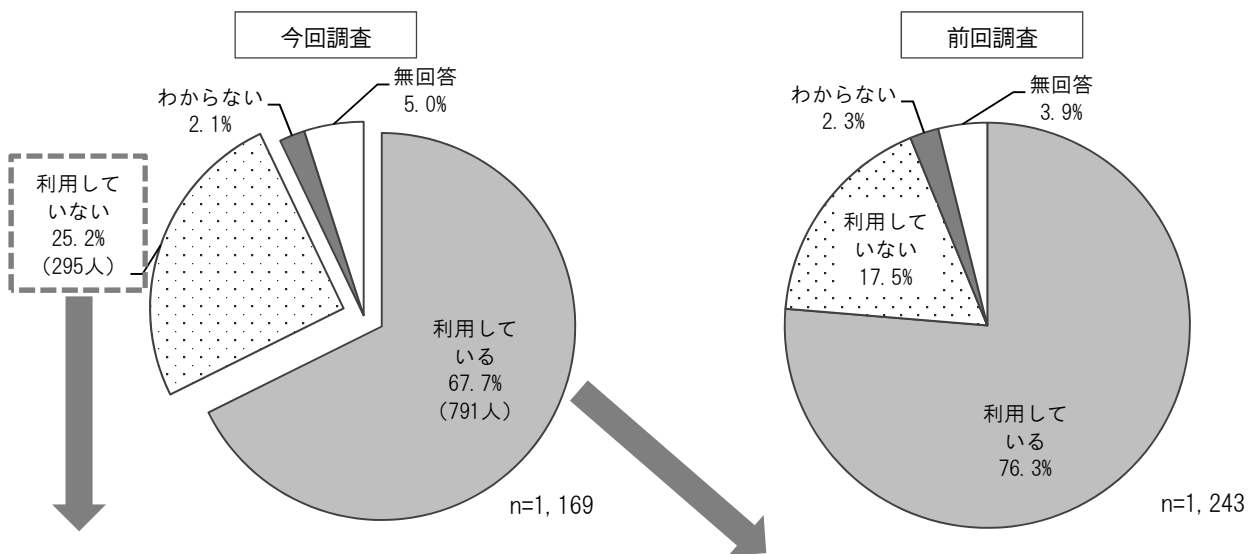
V 要支援・要介護認定者調査

「n」は各設問に該当する回答者の総数(人)であり、回答率(%)の母数をあらわしている。

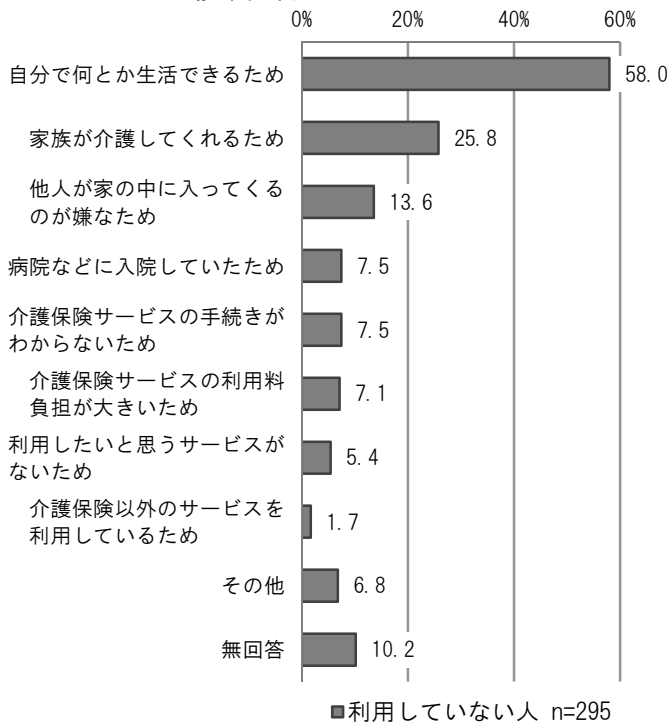
- ▶ 介護保険サービスの利用状況は、「利用している」が67.7%
- ▶ 利用していない人の理由は、「自分で何とか生活できるため」が58.0%
- ▶ 利用している人のケアプランの満足度は、「満足している」「ほぼ満足している」を合わせると76.4%
- ▶ 希望どおりのサービスの利用は、「ほぼ希望どおりに利用できている」が72.8%

・介護保険サービスの利用状況は、「利用している」が67.7%で、前回調査より8.6ポイント低くなっている。[図表2-70]

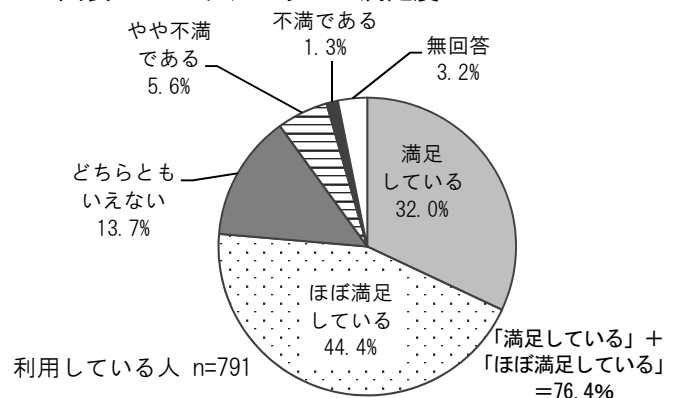
図表2-70 介護保険サービスの利用状況



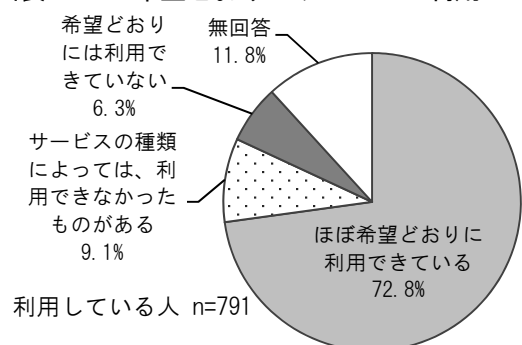
図表2-71 介護保険サービスを利用していない理由 (複数回答)



図表2-72 ケアプランの満足度



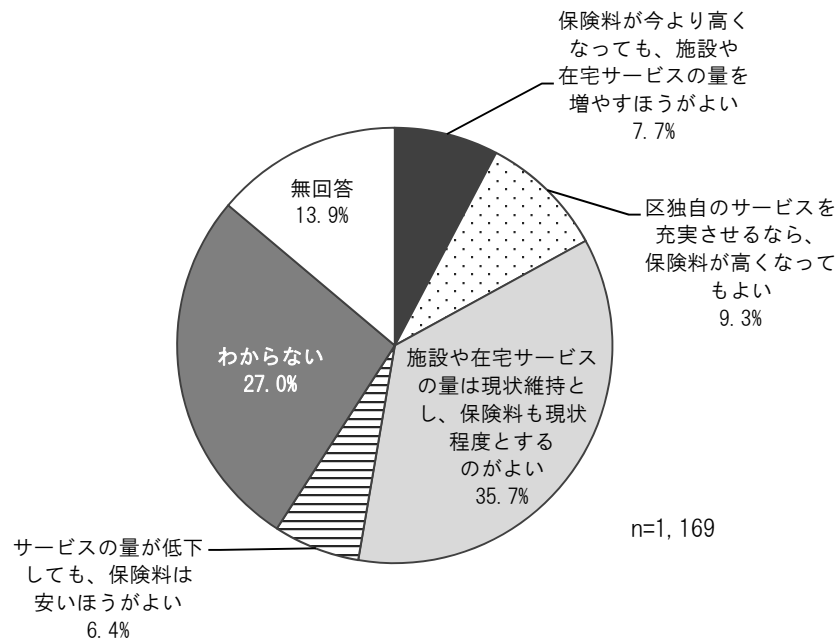
図表2-73 希望どおりのサービスの利用



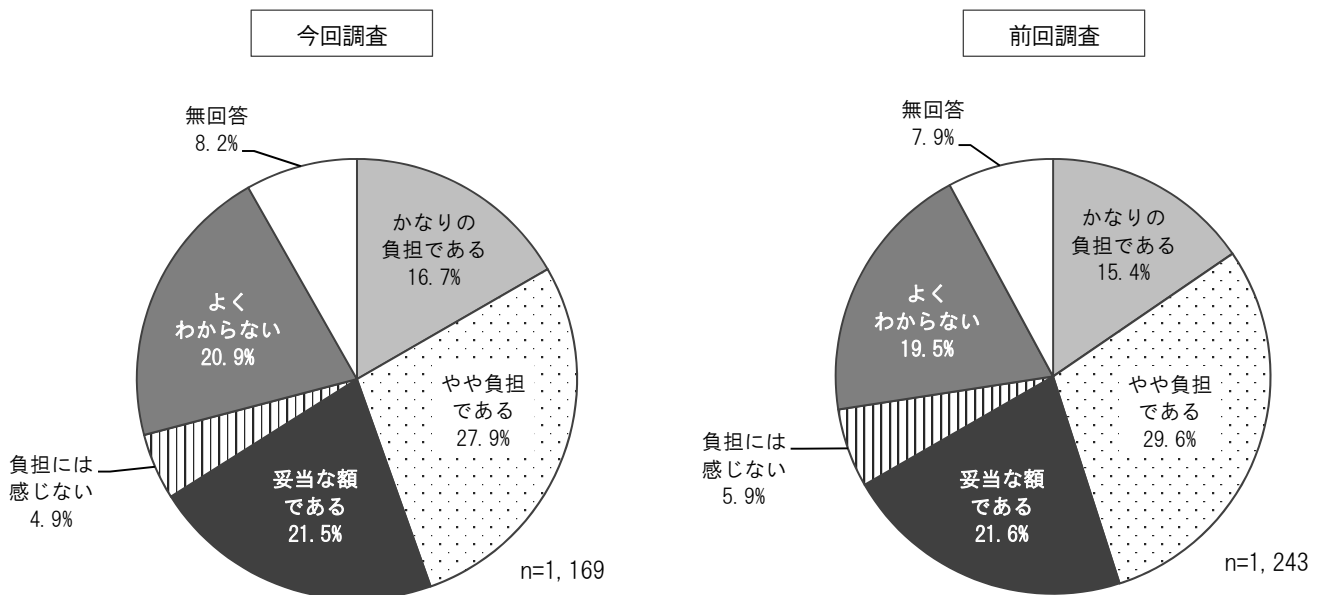
- ▶介護保険料とサービスについては、「施設や在宅サービスの量は現状維持とし、保険料も現状程度とするのがよい」が35.7%
- ▶介護保険料の額については、「やや負担である」が27.9%、「妥当な額である」が21.5%

・介護保険料の額については、「やや負担である」が27.9%で前回調査と同様最も高く、次いで「妥当な額である」が21.5%、「かなりの負担である」が16.7%となっている。[図表2-75]

図表2-74 介護保険料とサービスについて



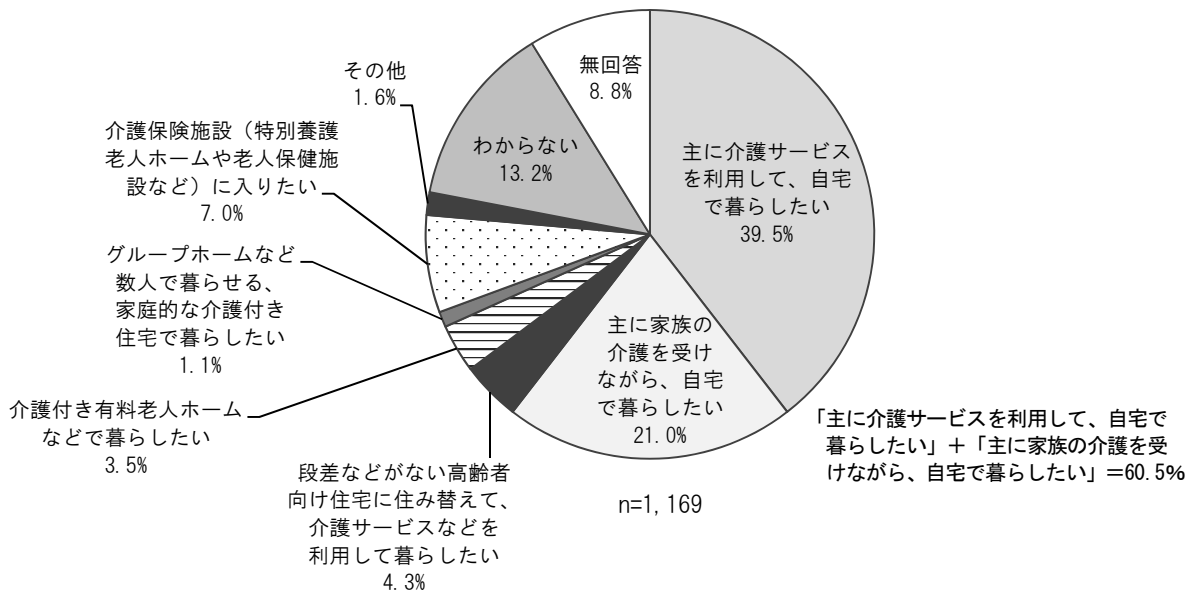
図表2-75 介護保険料の額について



▶ 今後希望する暮らし方は、「介護サービスを利用して自宅」が39.5%、「家族の介護を受けて自宅」が21.0%で、合わせると「自宅」を希望する人が60.5%

- ・ 今後希望する暮らし方は、「自宅」を希望する人が60.5%、一方、「介護保険施設に入りたい」と回答した人は7.0%となっている。[図表2-76]
- ・ 要介護度別にみると、要介護度にかかわらず「主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい」が最も高く、次いで「主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい」となっている。また、要介護4、5の人は「介護保険施設に入りたい」が10%を超えている。[図表2-77]

図表 2-76 今後希望する暮らし方



図表 2-77 今後希望する暮らし方／要介護度別

単位：%

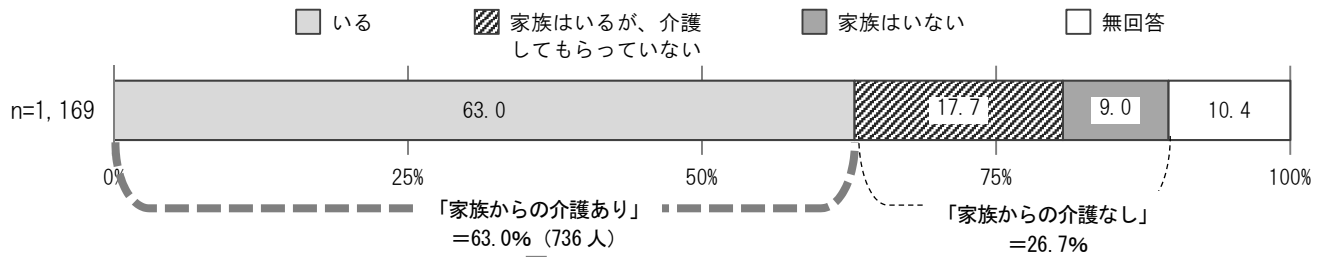
項目	回答者数(人)	主に介護サービスを利用して、自宅で暮らしたい	主に家族の介護を受けながら、自宅で暮らしたい	段差などがない高齢者向け住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用して暮らしたい	介護付き有料老人ホームなどで暮らしたい	グループホームなど数人で暮らせる、家庭的な介護付き住宅で暮らしたい	介護保険施設（特別養護老人ホームや老人保健施設など）に入りたい	その他	わからない	無回答	
		全体	1,169	39.5	21.0	4.3	3.5	1.1	7.0	1.6	13.2
要介護度	要支援1	300	43.0	13.7	6.3	6.0	2.0	4.0	3.3	13.0	8.7
	要支援2	229	45.9	14.4	5.2	0.9	0.9	9.2	0.4	12.7	10.5
	要介護1	206	37.4	29.6	3.4	3.9	1.0	3.9	1.5	15.5	3.9
	要介護2	158	39.2	27.8	3.8	3.2	1.3	7.6	1.9	10.8	4.4
	要介護3	86	34.9	27.9	4.7	2.3	1.2	8.1	-	11.6	9.3
	要介護4	56	30.4	19.6	3.6	3.6	-	17.9	1.8	14.3	8.9
	要介護5	42	35.7	19.0	-	2.4	-	11.9	2.4	14.3	14.3

■介護者に対する設問

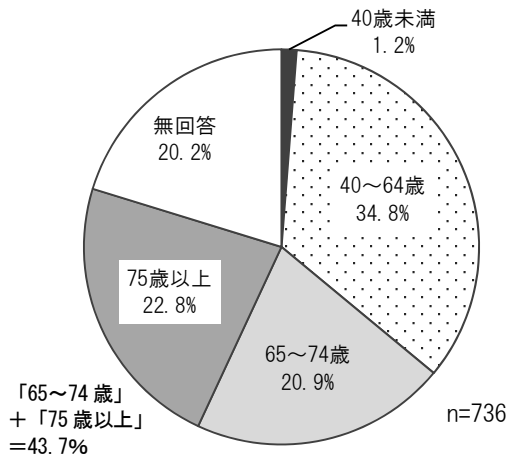
▶介護してくれる家族が「いる」は63.0%、「家族はいるが、介護してもらっていない」「家族はいない」を合わせると26.7%  
 ▶主な介護者の年齢は65歳以上が43.7%、健康状態は「健康」「持病はあるがおおむね健康」を合わせると66.3%、仕事の有無は「あり」が44.5%

・主な介護者で仕事をしている人は44.5%で、前回調査より4.6ポイント低くなっている。[図表2-81]

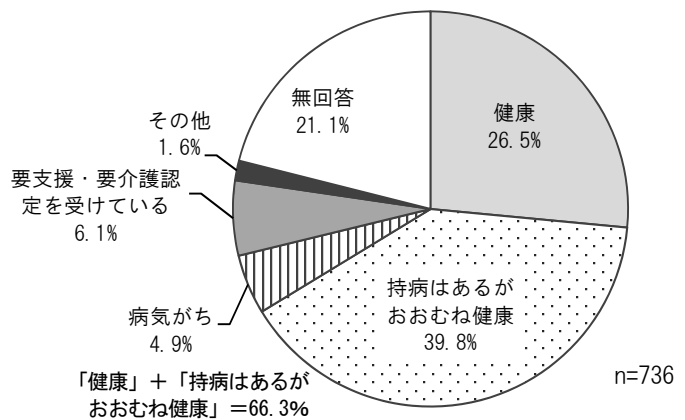
図表 2-78 介護してくれる家族の有無



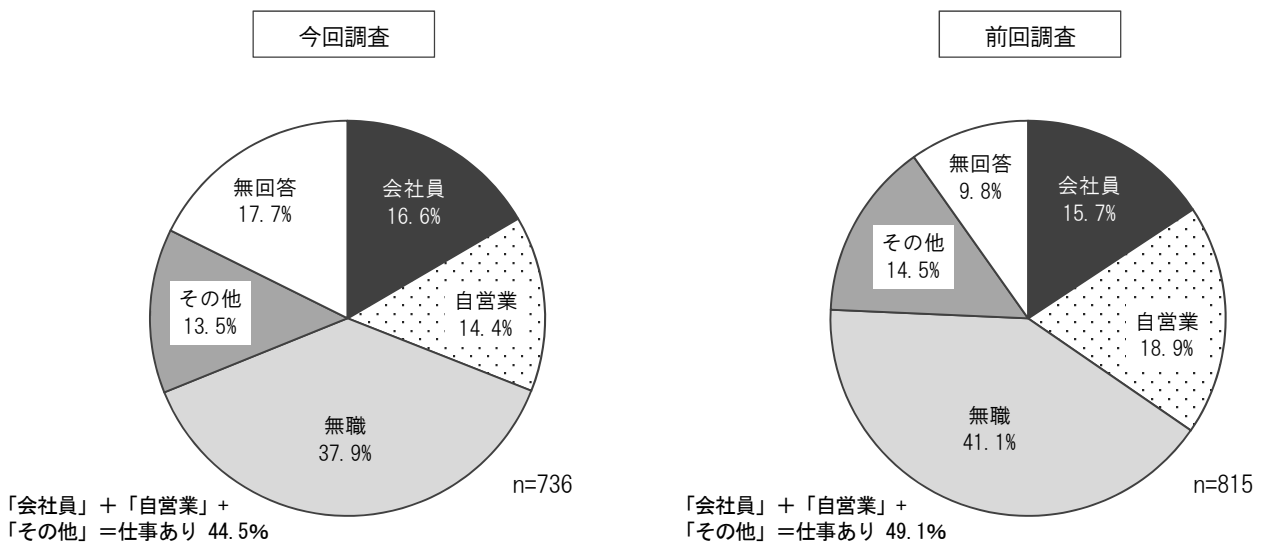
図表 2-79 主な介護者の年齢



図表 2-80 主な介護者の健康状態



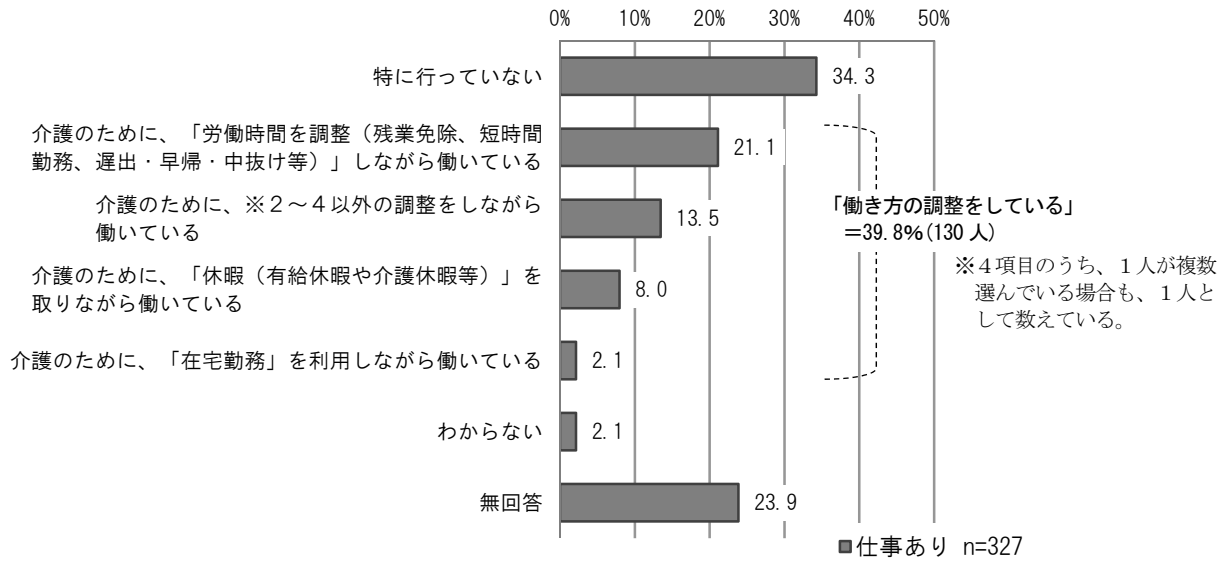
図表 2-81 主な介護者の就労状況及び仕事の有無



- ▶ 仕事をしている介護者の働き方の調整は、「特に行っていない」が34.3%、「労働時間を調整しながら働いている」が21.1%
- ▶ 介護離職者の有無は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が39.9%

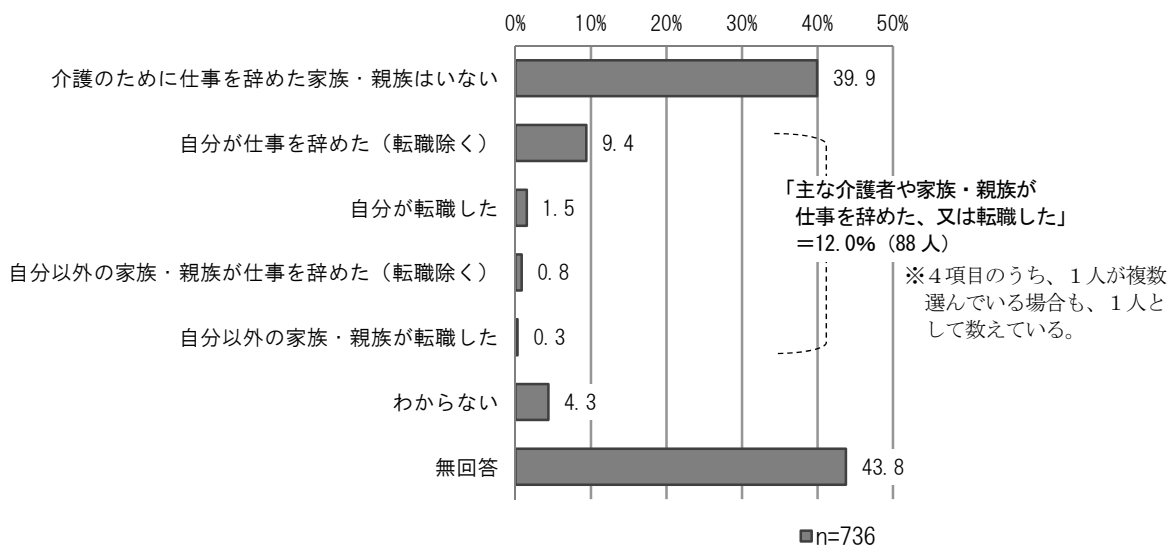
- ・労働時間、休暇取得、在宅勤務など何らかの「働き方の調整をしている」が39.8%となっている。[図表 2-82]
- ・介護離職者の有無は、「主な介護者や家族・親族が仕事を辞めた、又は転職した」が12.0%となっている。[図表 2-83]

図表 2-82 介護者の働き方の調整（複数回答）



※「2～4」：「2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら働いている」「3. 介護のために、「休暇（有給休暇や介護休暇等）」を取りながら働いている」「4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら働いている」

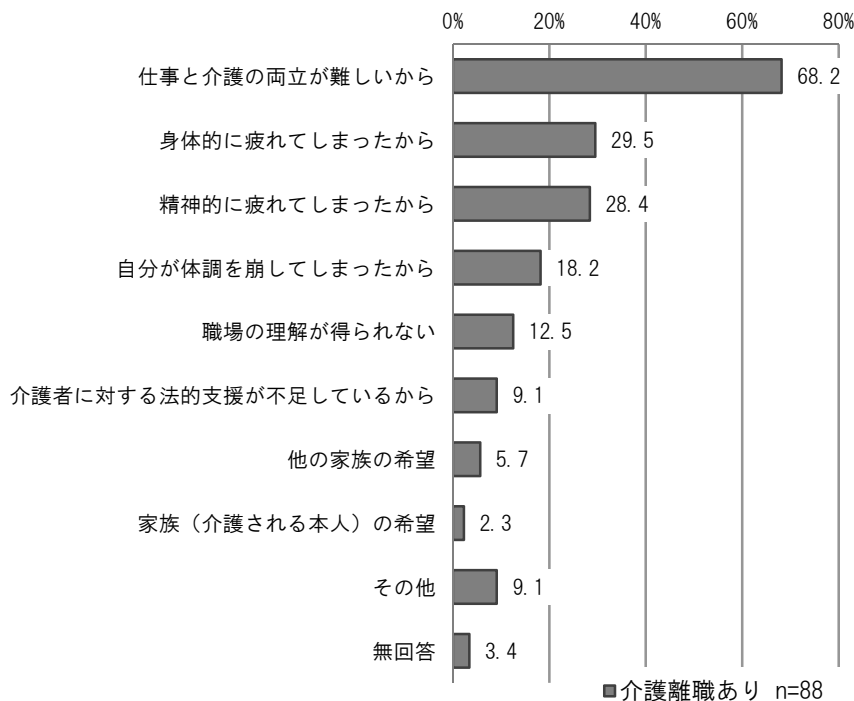
図表 2-83 介護離職者の有無（複数回答）



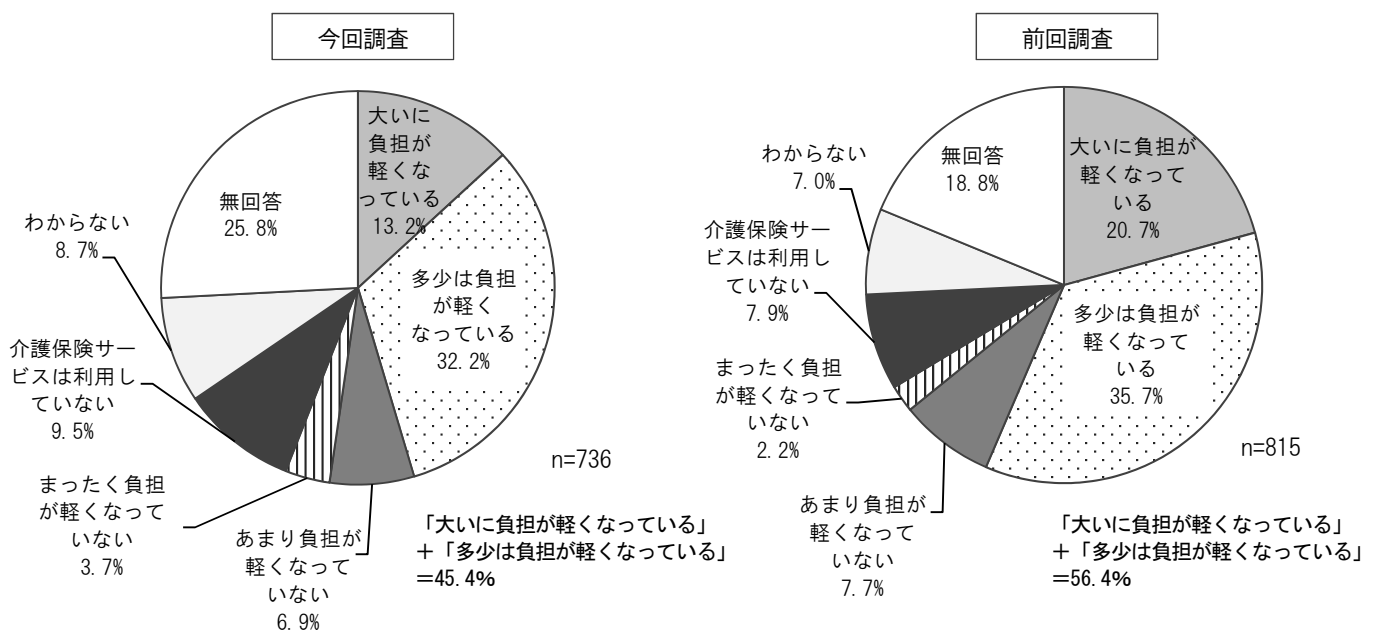
- ▶ 介護離職の理由は、「仕事と介護の両立が難しいから」が 68.2%
- ▶ 介護保険サービスの利用による介護者の負担は、「大いに負担が軽くなっている」「多少は負担が軽くなっている」を合わせると 45.4%

- ・主な介護者や家族、親族が介護離職・転職をした理由は、「仕事と介護の両立が難しいから」が 68.2%で最も高く、次いで「身体的に疲れてしまったから」が 29.5%、「精神的に疲れてしまったから」が 28.4%となっている。[図表 2-84]
- ・介護保険サービスを利用することにより、介護者の負担が軽くなっていると回答した人の割合は、前回調査より 11.0 ポイント低くなっている。[図表 2-85]

図表 2-84 介護離職の理由（複数回答）



図表 2-85 介護保険サービスの利用による介護者の負担

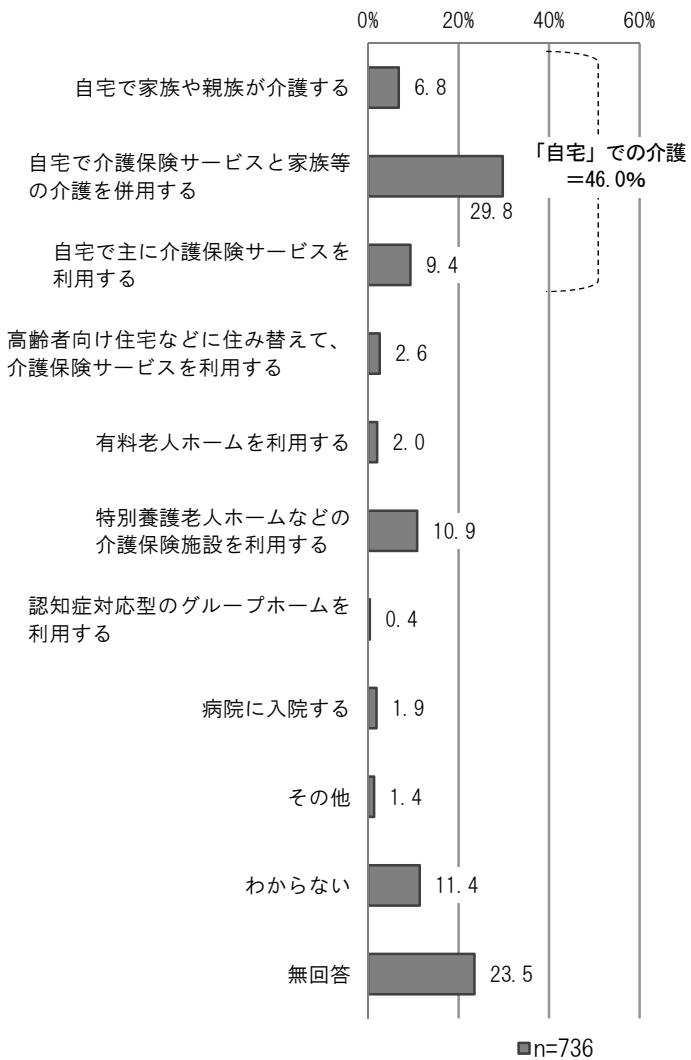


▶ 介護者が望む介護の形態は、「自宅で介護保険サービスと家族等の介護を併用する」が 29.8%

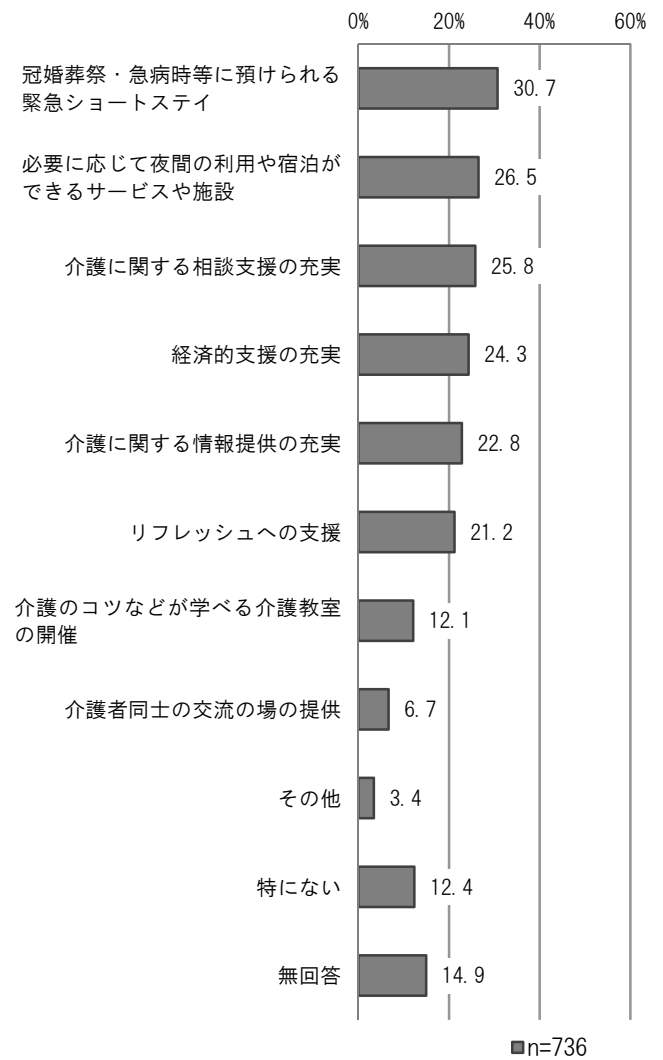
▶ 介護者が望む支援やサービスは、「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急ショートステイ」が 30.7%

- ・ 介護者が望む介護の形態は、「自宅で介護保険サービスと家族等の介護を併用する」「自宅で主に介護保険サービスを利用する」「自宅で家族や親族が介護する」を合わせた「自宅」での介護を望む人が 46.0%となっている。[図表 2-86]
- ・ 介護者が望む支援やサービスは、「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急ショートステイ」が 30.7%で最も高く、次いで「必要に応じて夜間の利用や宿泊ができるサービスや施設」が 26.5%、「介護に関する相談支援の充実」が 25.8%となっている。[図表 2-87]

図表 2-86 介護者が望む介護形態



図表 2-87 介護者が望む支援やサービス (複数回答)

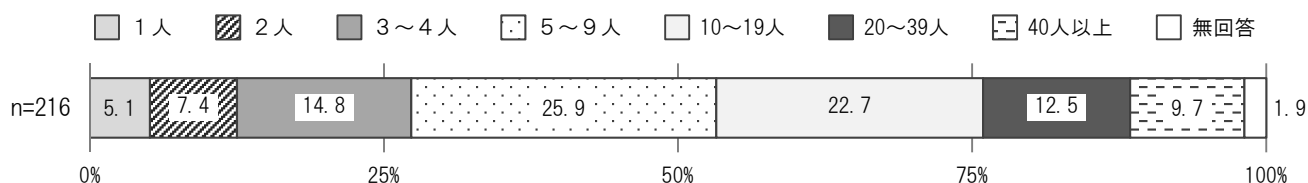


## VI 介護サービス事業者調査

「n」は各設問に該当する回答者の総数（事業所）であり、回答率（%）の母数をあらわしている。

▶ 介護サービス事業者の1事業所あたりの従業員数は、「5～9人」が最も多い

図表 2-88 従業員数



図表 2-89 従業員数／提供サービス別

単位：%

項目	回答者数 (事業所)	1人	2人	3 ～ 4人	5 ～ 9人	10 ～ 19人	20 ～ 39人	40 人 以上	無回答	
		全体	216	5.1	7.4	14.8	25.9	22.7	12.5	9.7
提供サービス	居宅介護支援	55	20.0	29.1	30.9	18.2	-	-	-	1.8
	訪問（福祉）系サービス	50	-	-	4.0	26.0	36.0	24.0	6.0	4.0
	訪問（医療）系サービス	19	-	-	15.8	47.4	21.1	10.5	5.3	-
	通所系サービス	20	-	-	-	20.0	50.0	20.0	10.0	-
	短期入所系サービス	10	-	-	10.0	-	20.0	20.0	50.0	-
	福祉用具貸与・ 特定福祉用具販売	11	-	-	63.6	18.2	9.1	9.1	-	-
	地域密着型サービス	38	-	-	5.3	47.4	36.8	7.9	-	2.6
	施設・居住系サービス	13	-	-	-	-	-	23.1	76.9	-

図表 2-90 提供サービスの区分

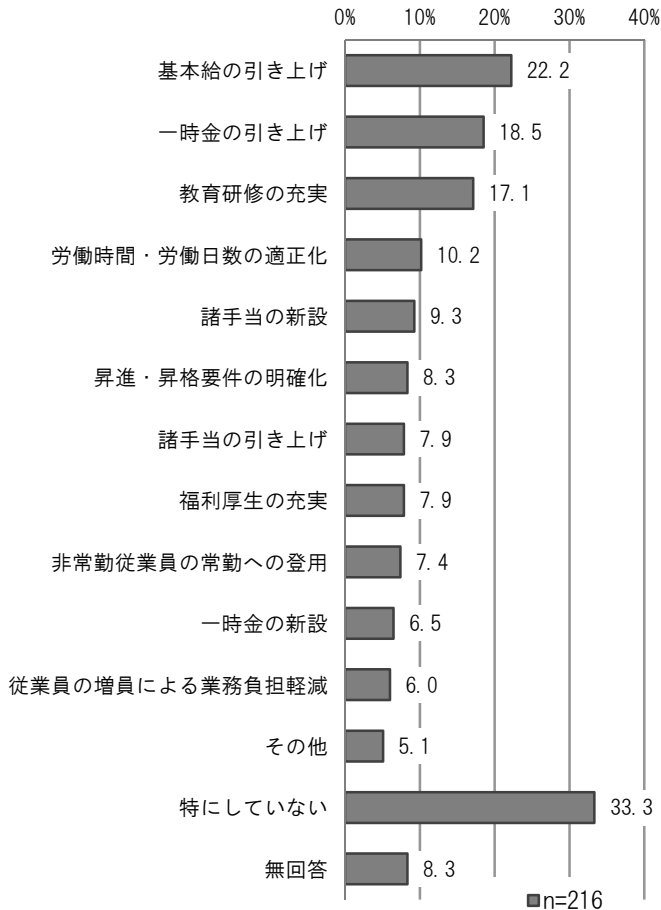
区分	提供サービス
居宅介護支援	居宅介護支援
訪問（福祉）系サービス	訪問介護、訪問入浴介護
訪問（医療）系サービス	訪問看護、訪問リハビリテーション
通所系サービス	通所介護、通所リハビリテーション
短期入所系サービス	短期入所生活介護、短期入所療養介護
福祉用具貸与・特定福祉用具販売	福祉用具貸与、特定福祉用具販売
地域密着型サービス	地域密着型通所介護、認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
施設・居住系サービス	特定施設入居者生活介護、介護老人福祉施設、介護老人保健施設



- ▶ 従業員の処遇改善で実施したことは、「基本給の引き上げ」が22.2%、「一時金の引き上げ」が18.5%
- ▶ 人材定着のための取り組みは、「職場内の仕事上のコミュニケーションの円滑化」が64.4%

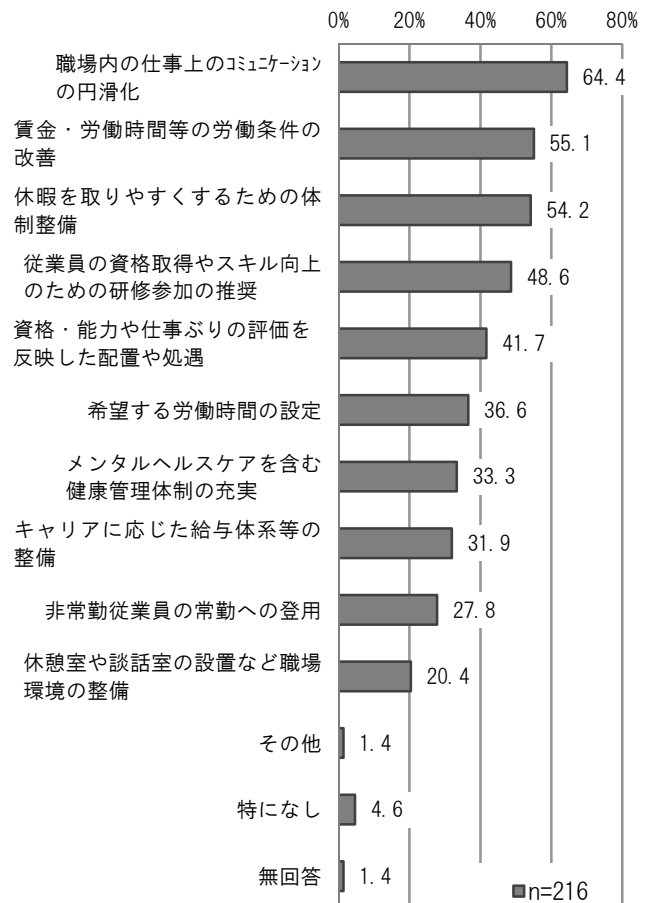
図表 2-91 従業員の処遇改善の実施状況

(複数回答)



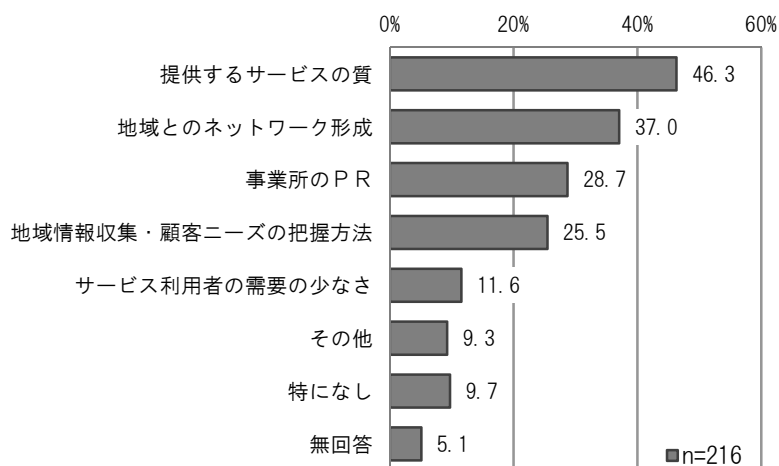
図表 2-92 人材定着のための取り組み

(複数回答)



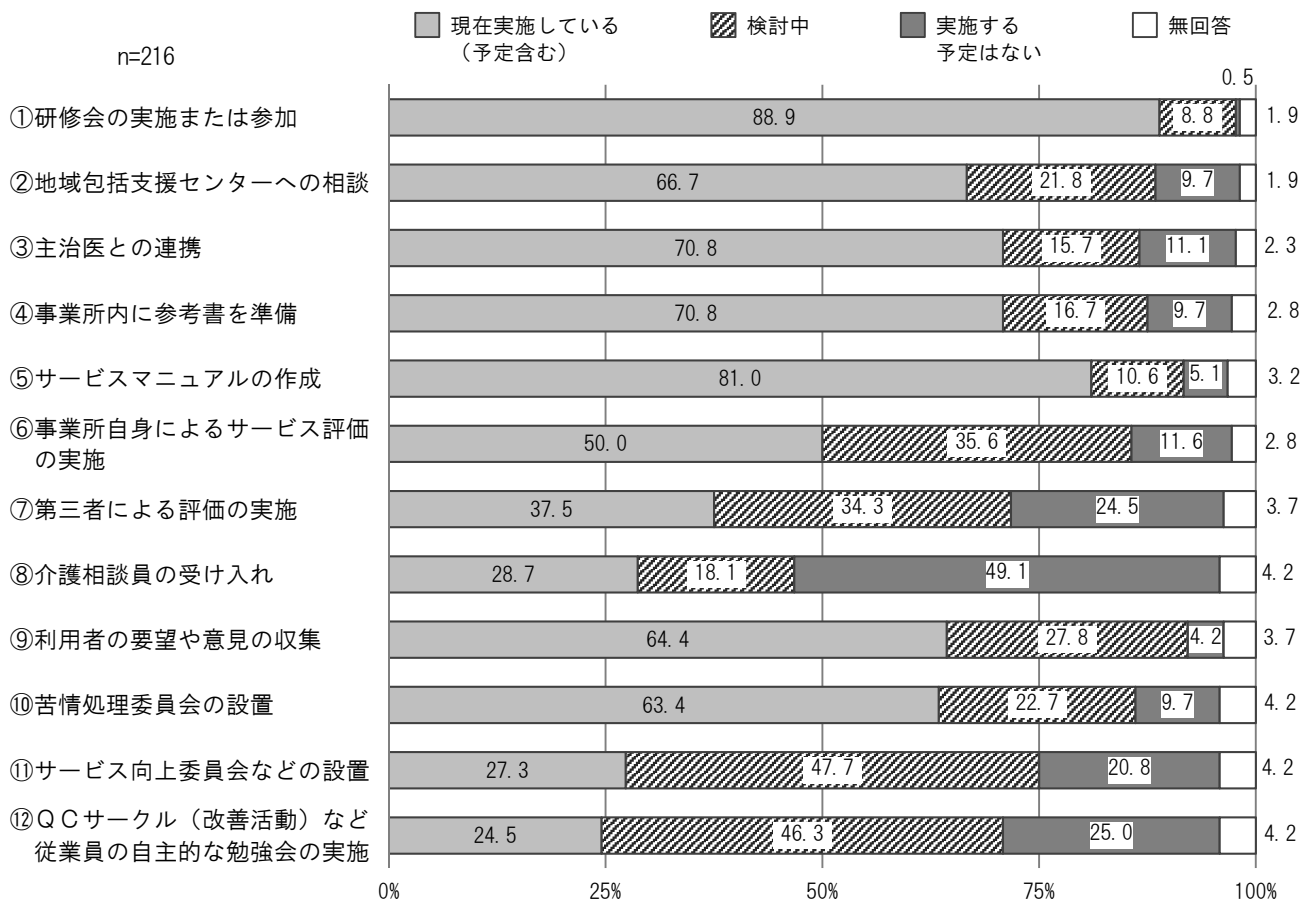
- ▶ 現在課題と感じていることは、「提供するサービスの質」が46.3%

図表 2-93 課題と感じていること (複数回答)



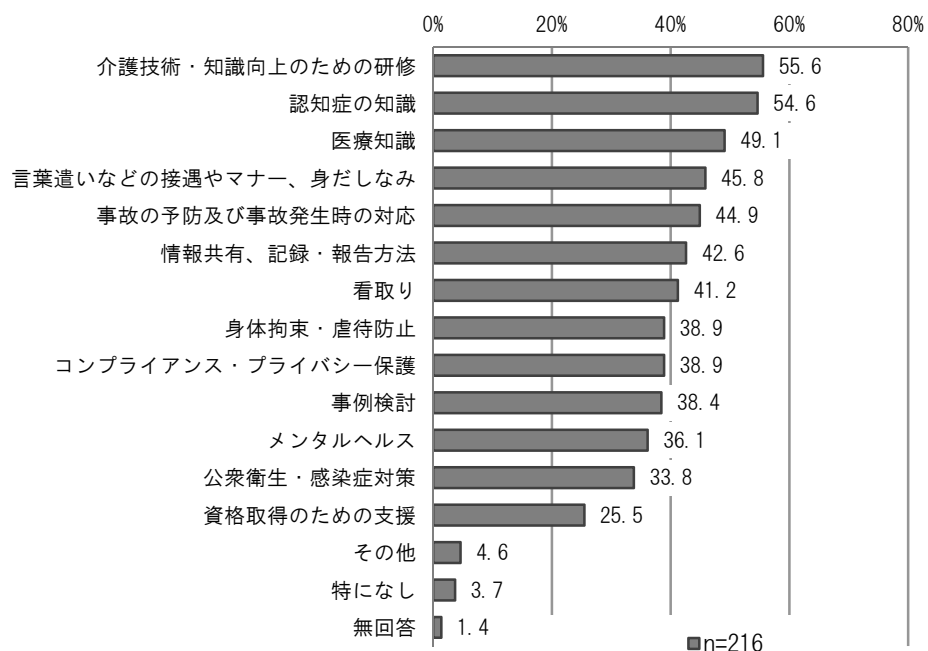
▶サービスの質の向上に関して実施している（予定含む）取り組みは、「研修会の実施または参加」が88.9%

図表 2-94 サービスの質の向上に関して実施している（予定含む）取り組み



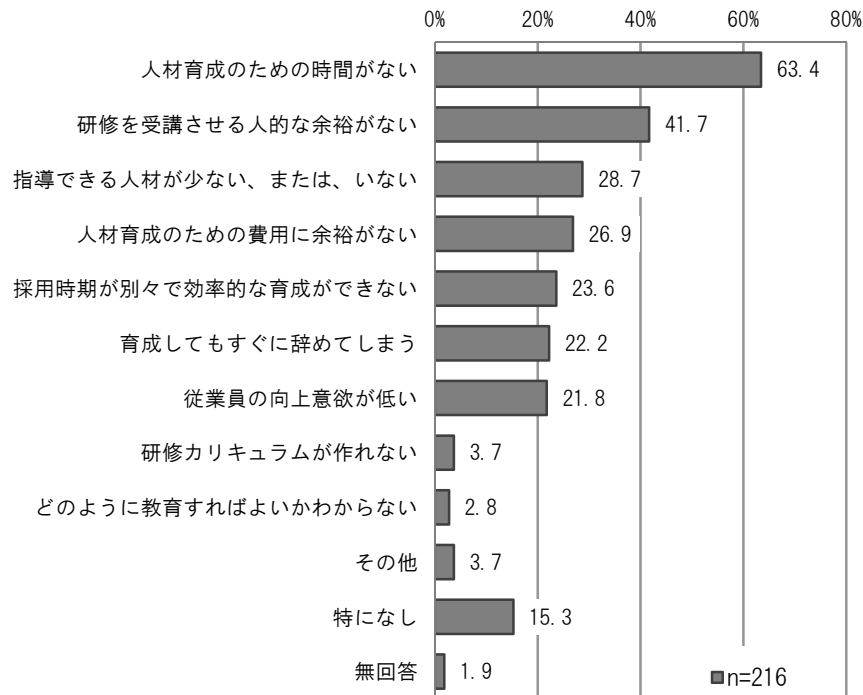
▶教育や研修で力を入れて取り組みたいものは、「介護技術・知識向上のための研修」が55.6%、「認知症の知識」が54.6%

図表 2-95 教育や研修で力を入れて取り組みたいもの（複数回答）



▶ 従業員を教育する上で困っていることは、「人材育成のための時間がない」が63.4%

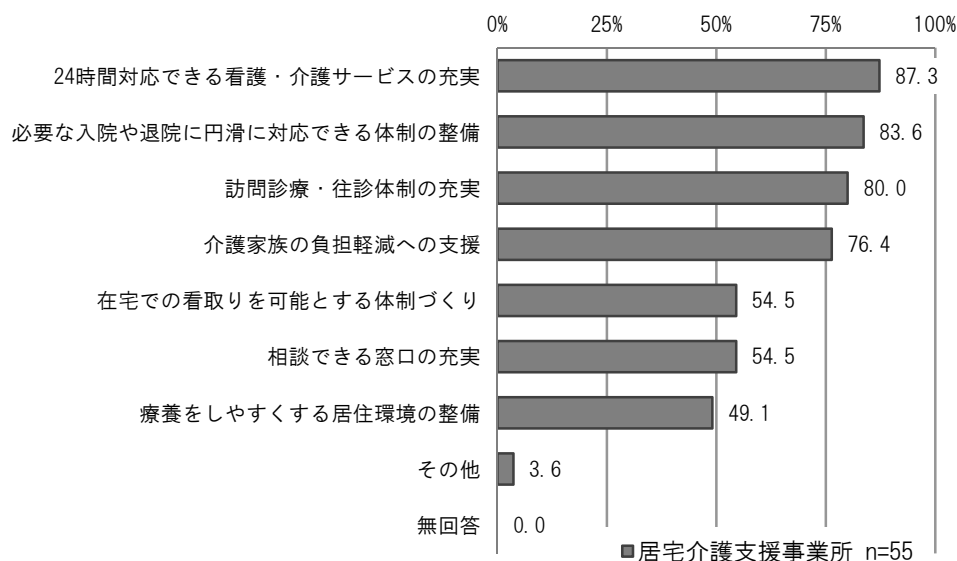
図表 2-96 従業員を教育する上で困っていること（複数回答）



■ 居宅介護支援事業所に対する設問

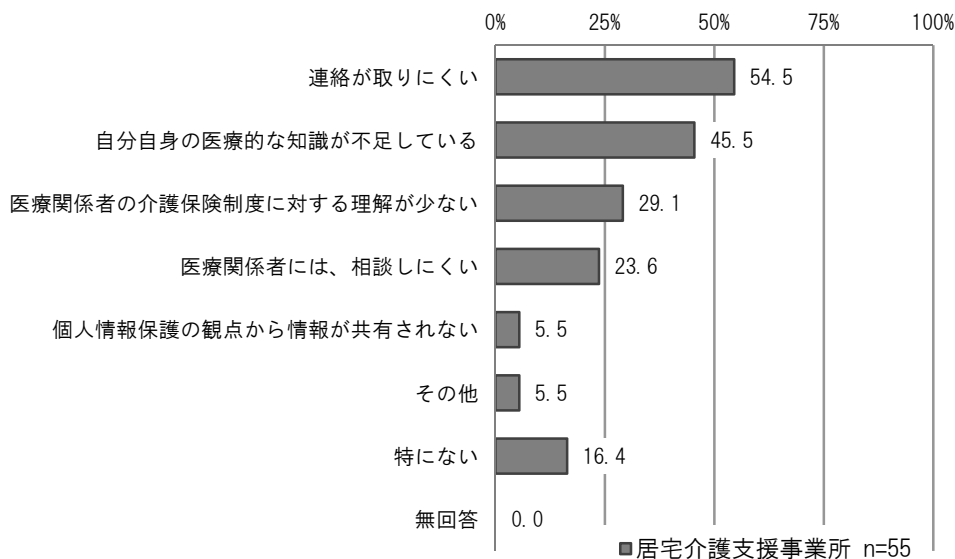
▶ 医療依存度の高い利用者に必要な支援は、「24時間対応できる看護・介護サービスの充実」が87.3%、「必要な入院や退院に円滑に対応できる体制の整備」が83.6%

図表 2-97 医療依存度の高い利用者に必要な支援（複数回答）



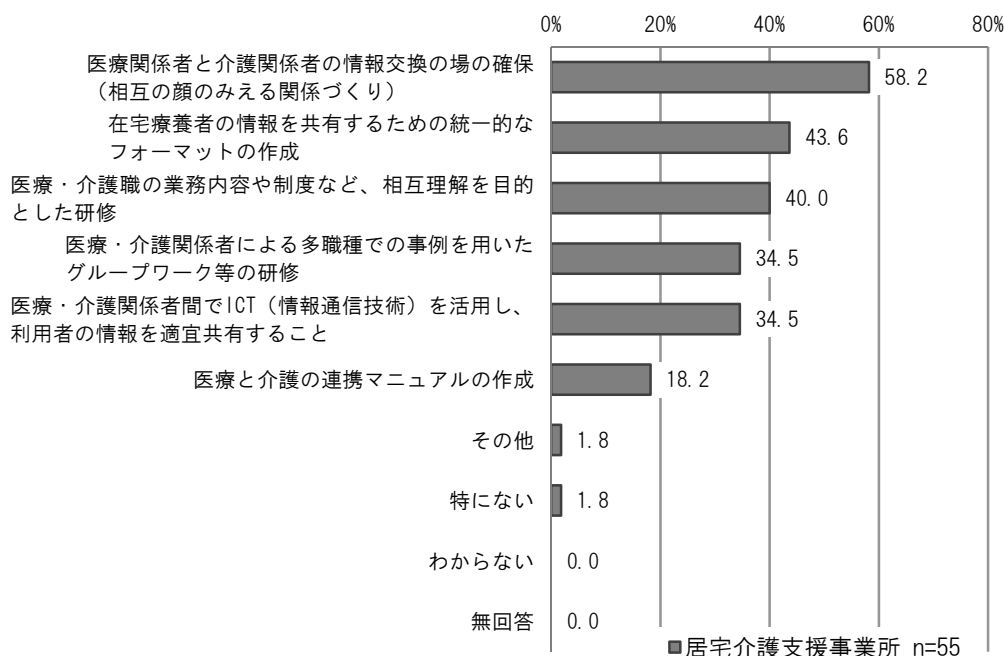
▶ 医師との連携について、課題・困難に感じることは、「連絡が取りにくい」が54.5%

図表 2-98 医師との連携について、課題・困難に感じること（複数回答）



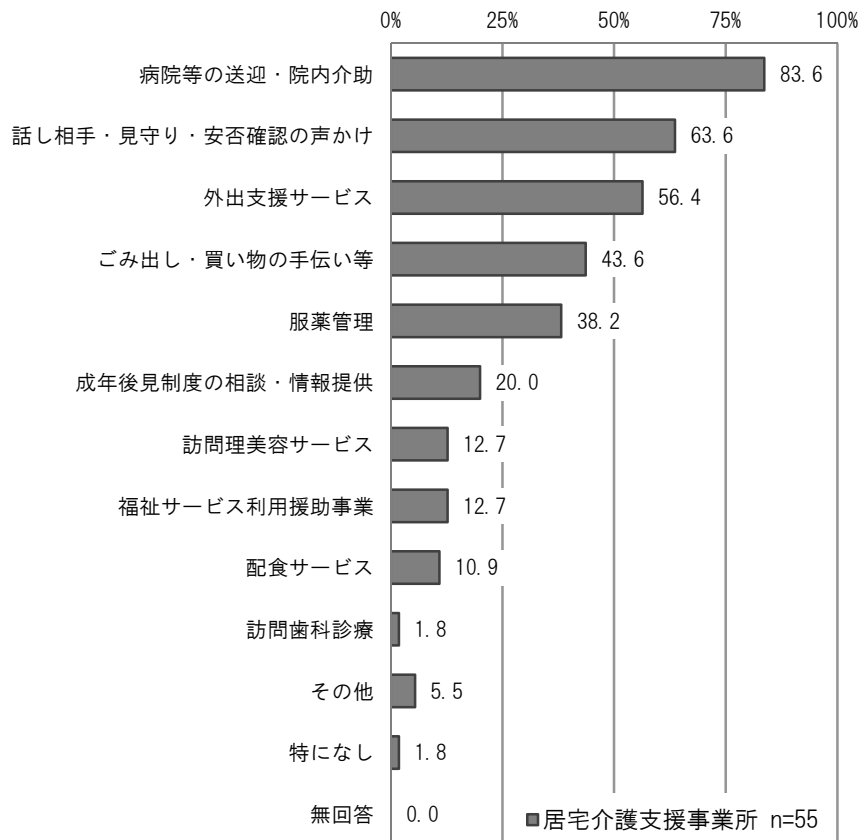
▶ 医療連携の充実のために必要なことは、「医療関係者と介護関係者の情報交換の場の確保」が58.2%

図表 2-99 医療連携の充実のために必要なこと（複数回答）



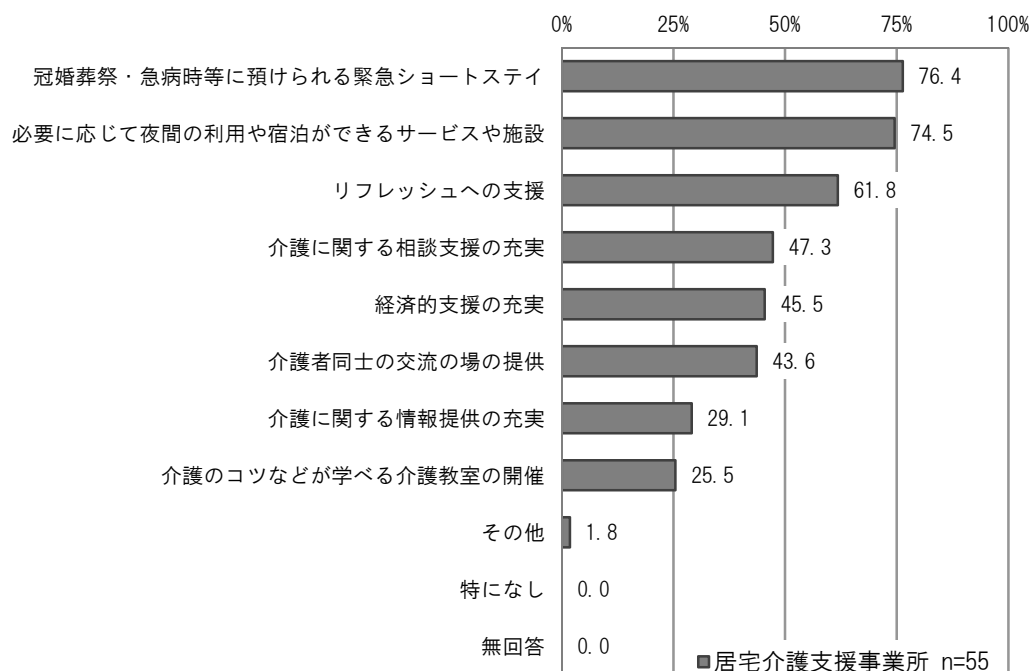
▶ 今後、充実が必要だと思う介護保険以外のサービスは、「病院等の送迎・院内介助」が 83.6%

図表 2-100 今後、充実が必要だと思う介護保険以外のサービス（複数回答）



▶ 在宅介護家族への支援やサービスであると思うものは、「冠婚葬祭・急病時等に預けられる緊急ショートステイ」が 76.4%、「必要に応じて夜間の利用や宿泊ができるサービスや施設」が 74.5%

図表 2-101 在宅で介護している家族に対する支援やサービス（複数回答）





**台東区高齢者実態調査報告書 概要版**

令和2年2月発行（平成31年度登録第13号）

台東区福祉部高齢福祉課・介護保険課  
〒110-8615 台東区東上野4-5-6  
電話 03-5246-1221